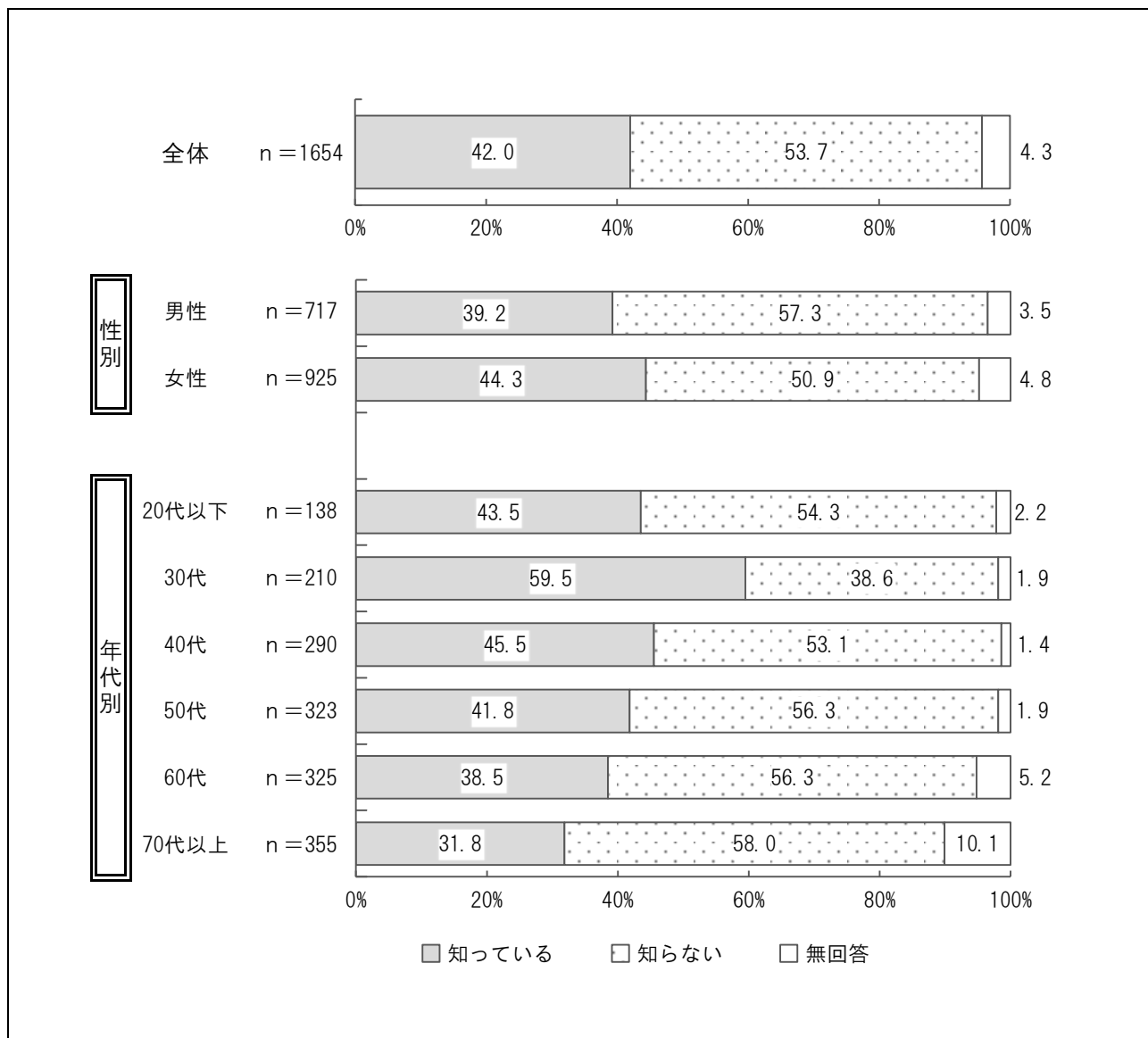


■ブランドメッセージについて

(1) ブランドメッセージの認知度

問1 富士市ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり 富士市」を知っていますか。



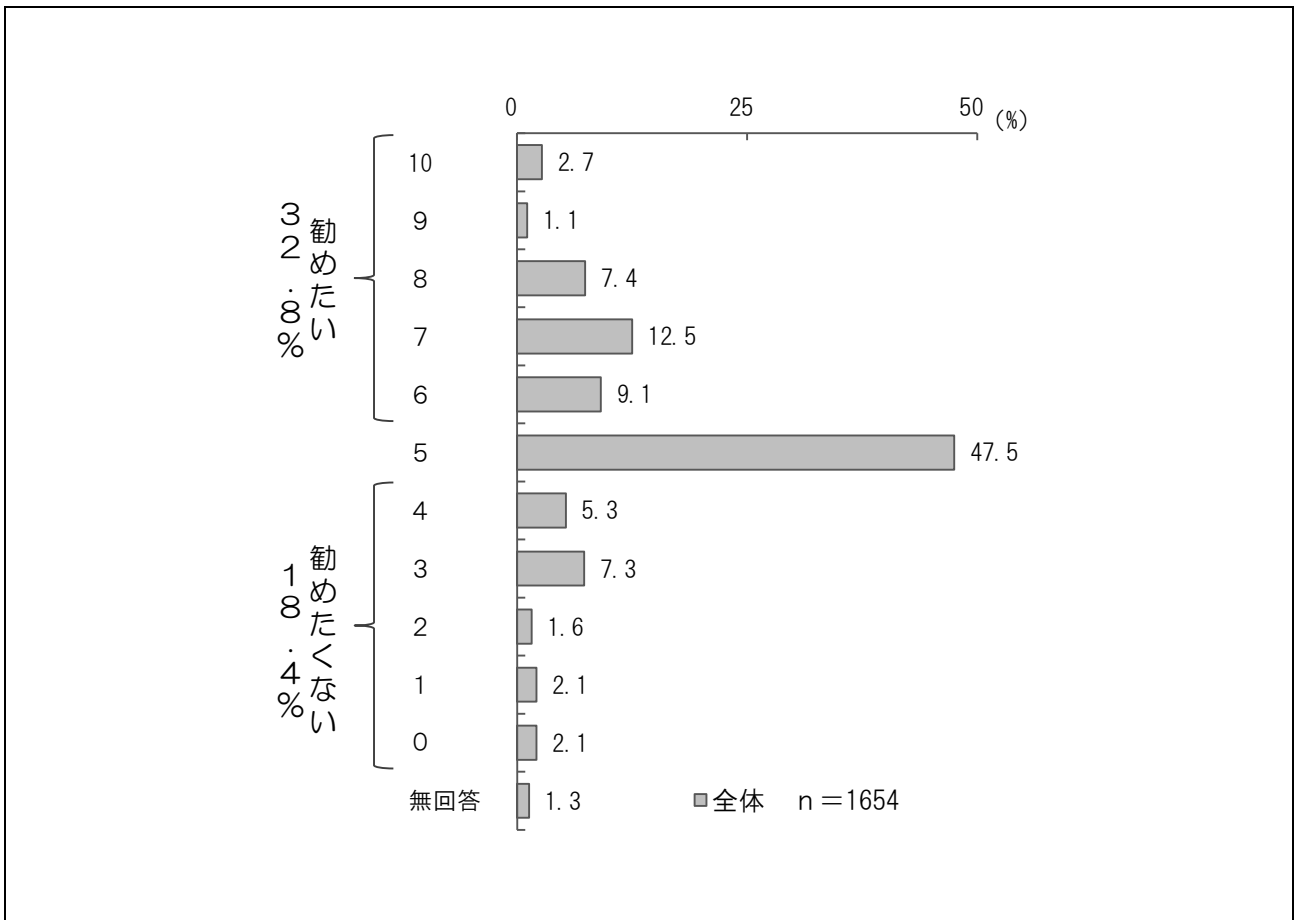
ブランドメッセージの認知度については、「知っている」が42.0%、「知らない」が53.7%となっている。

性別で見ると、女性において「知っている」が44.3%と多くなっている。

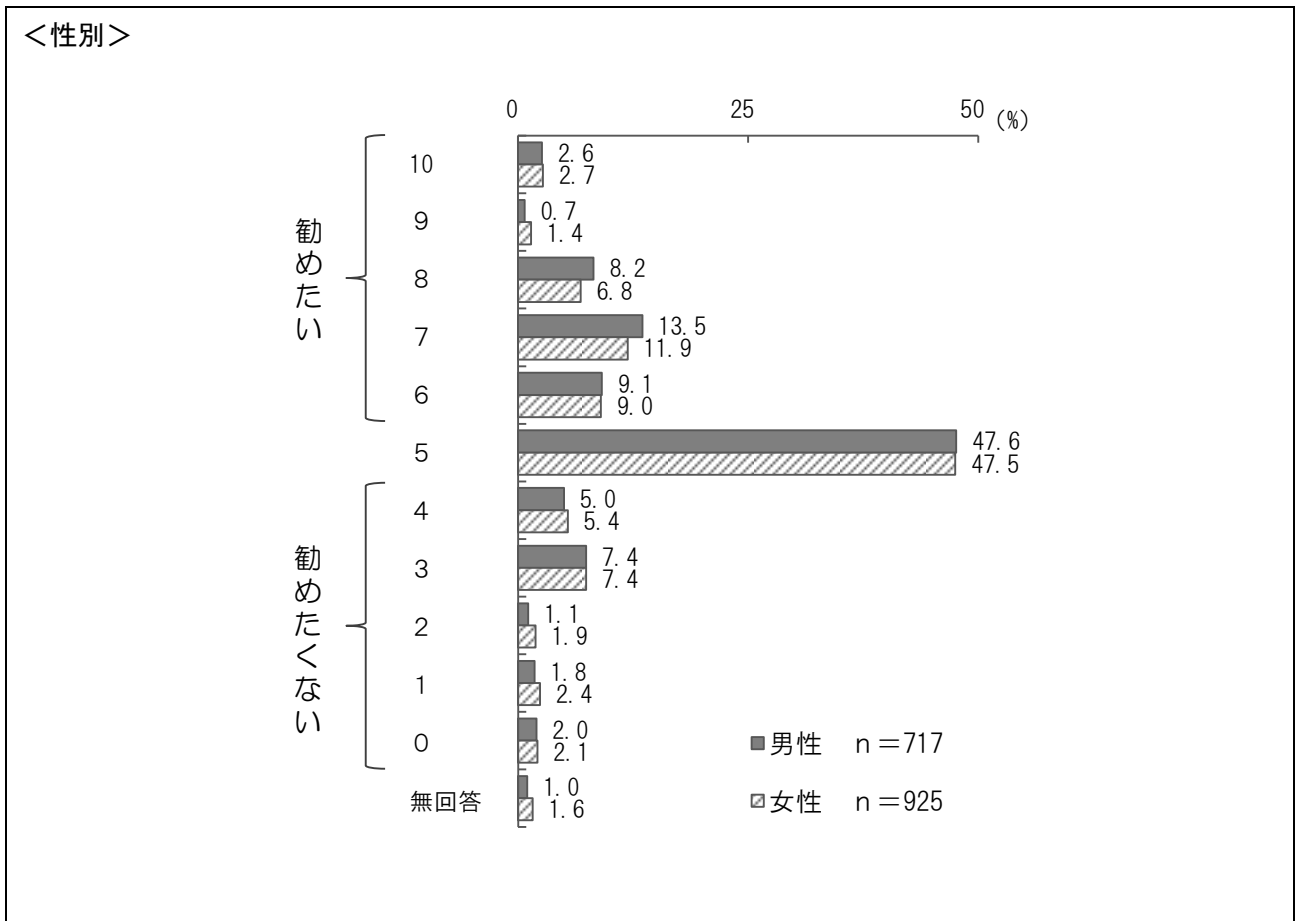
年代別で見ると、30代において「知っている」が59.5%と多くなっている。70代以上においては「知っている」が31.8%と少なくなっている。

(2) 地域の魅力の推奨度 (10点評価)

問2 あなたは、地域(まち)の魅力を、どの程度の気持ちで友人にお勧めしたいと思いますか。
次の気持ちを表した数字(10から0まで)から1つだけ選んで○をつけてください。

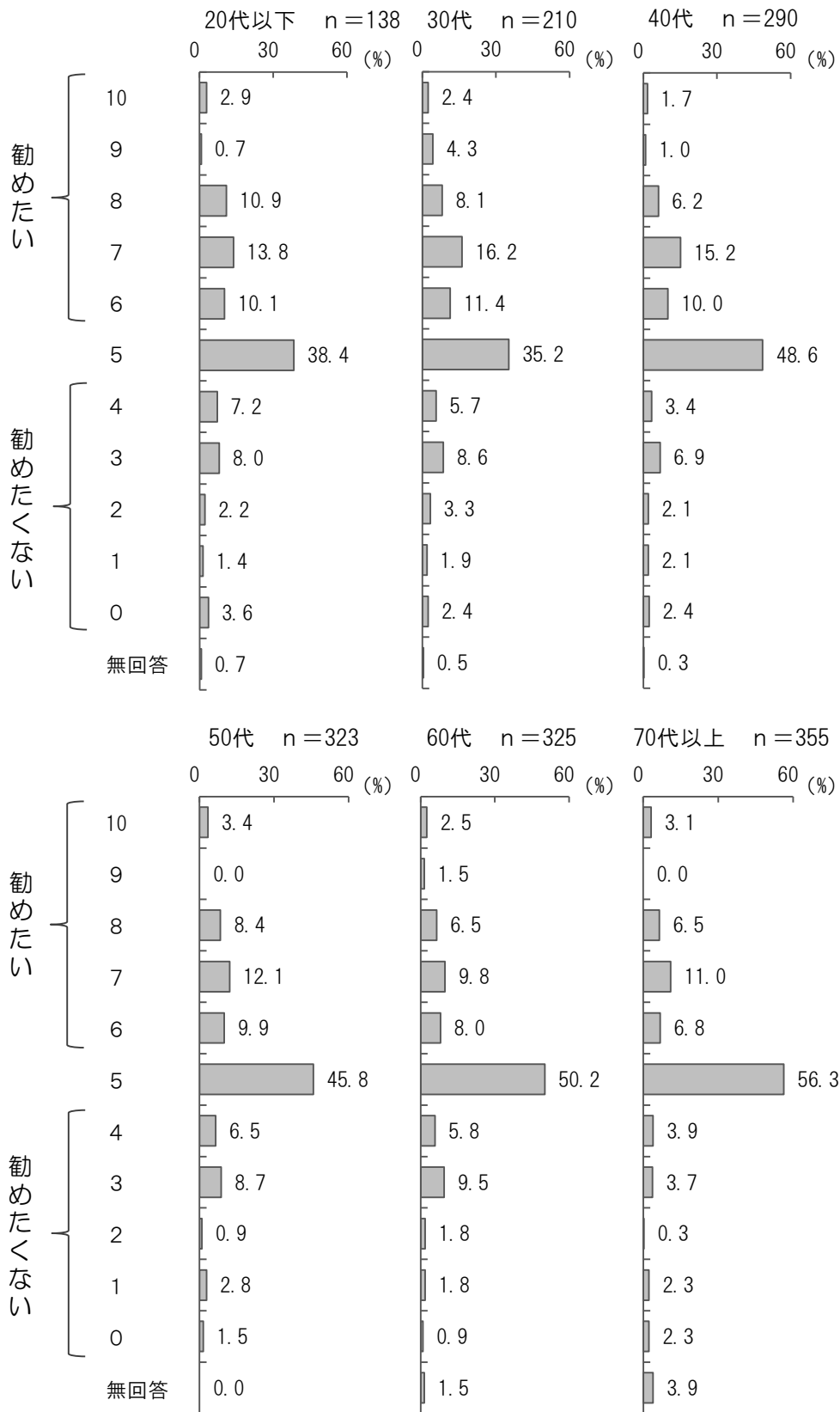


地域の魅力の推奨度については、「勧めたい」(10～6点の合計)が32.8%、「勧めたくない」(4～0点の合計)が18.4%となっている。



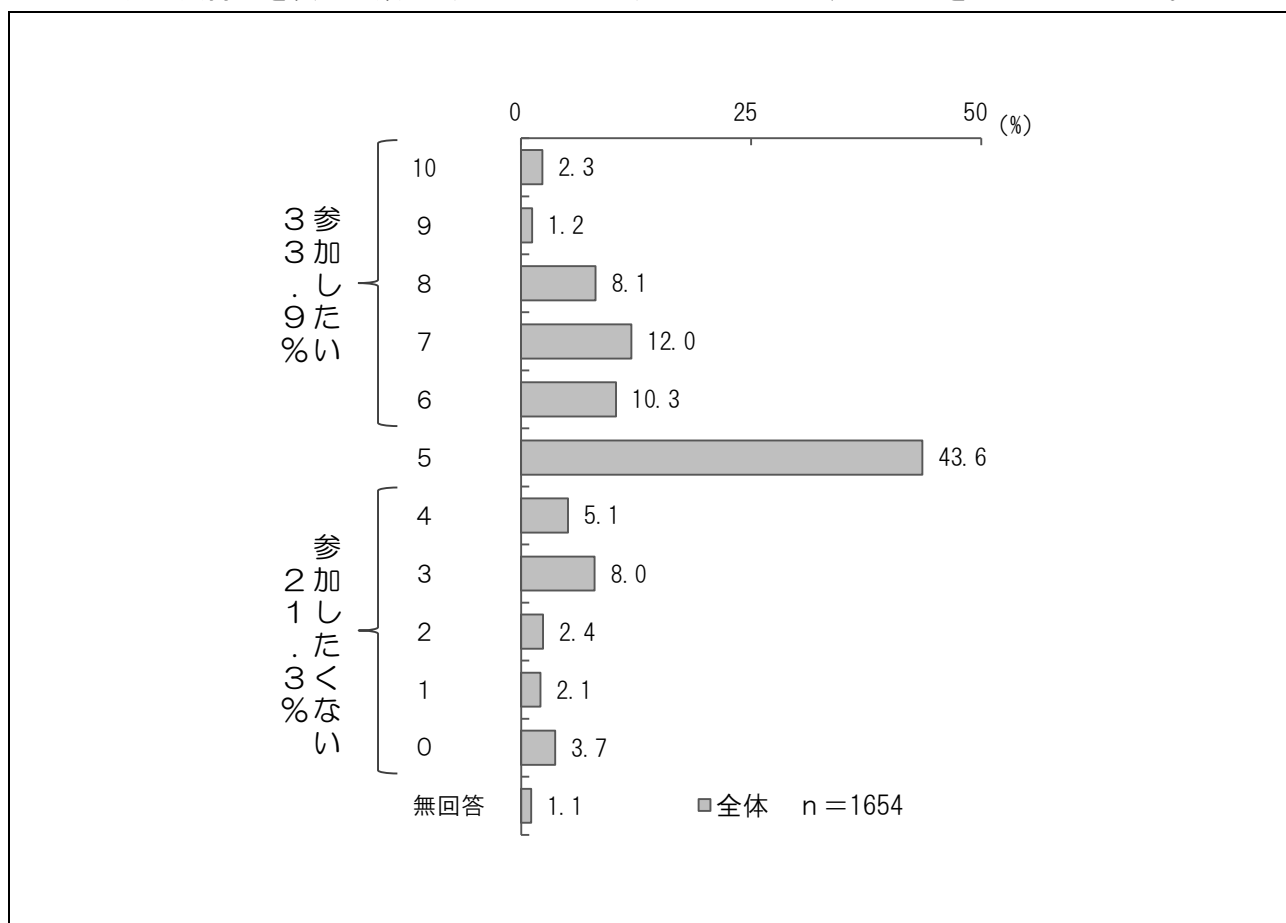
性別でも、年代別でも、大きな差異はみられない。

<年代別>

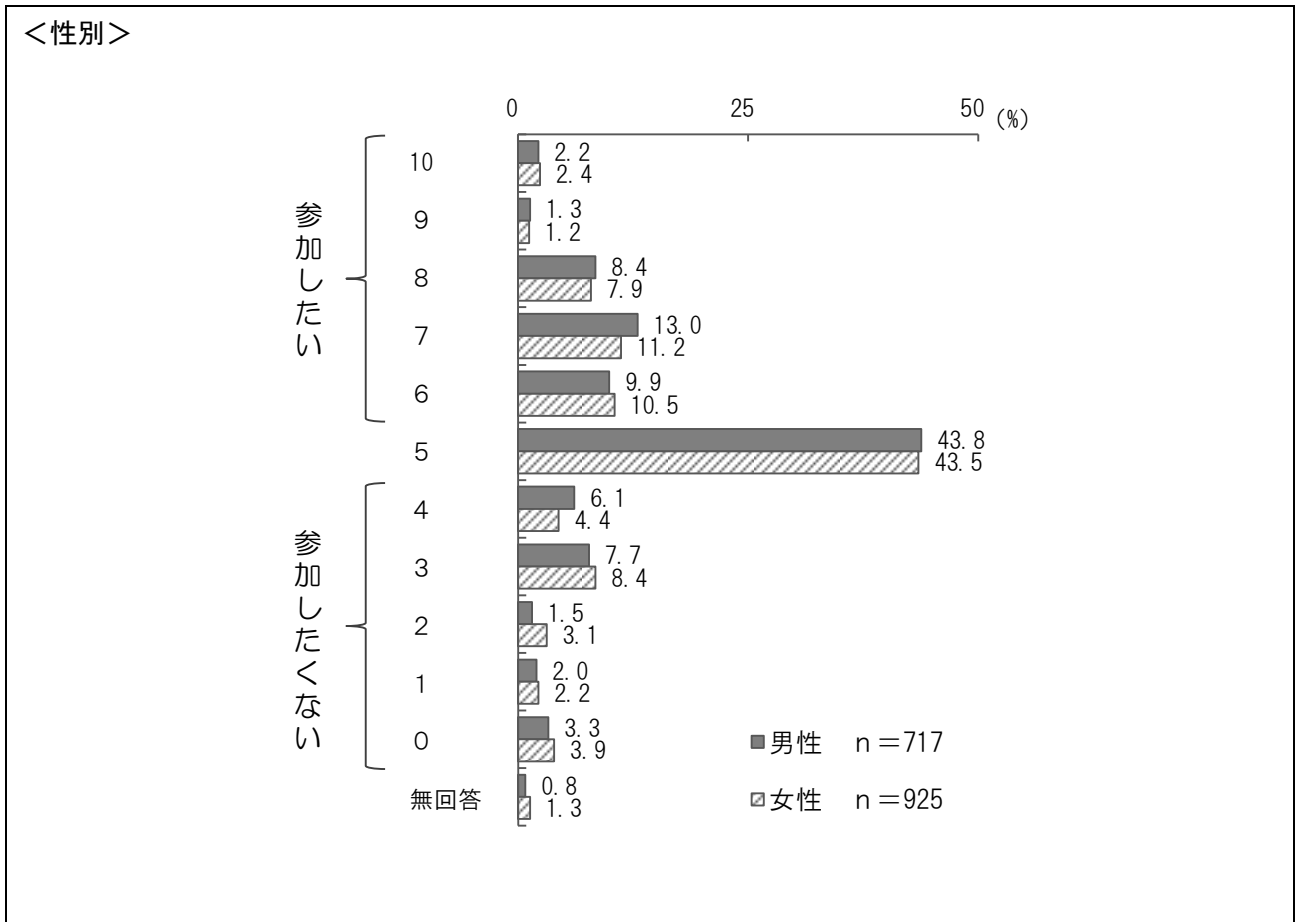


(3) 地域活動の参加意向 (10点評価)

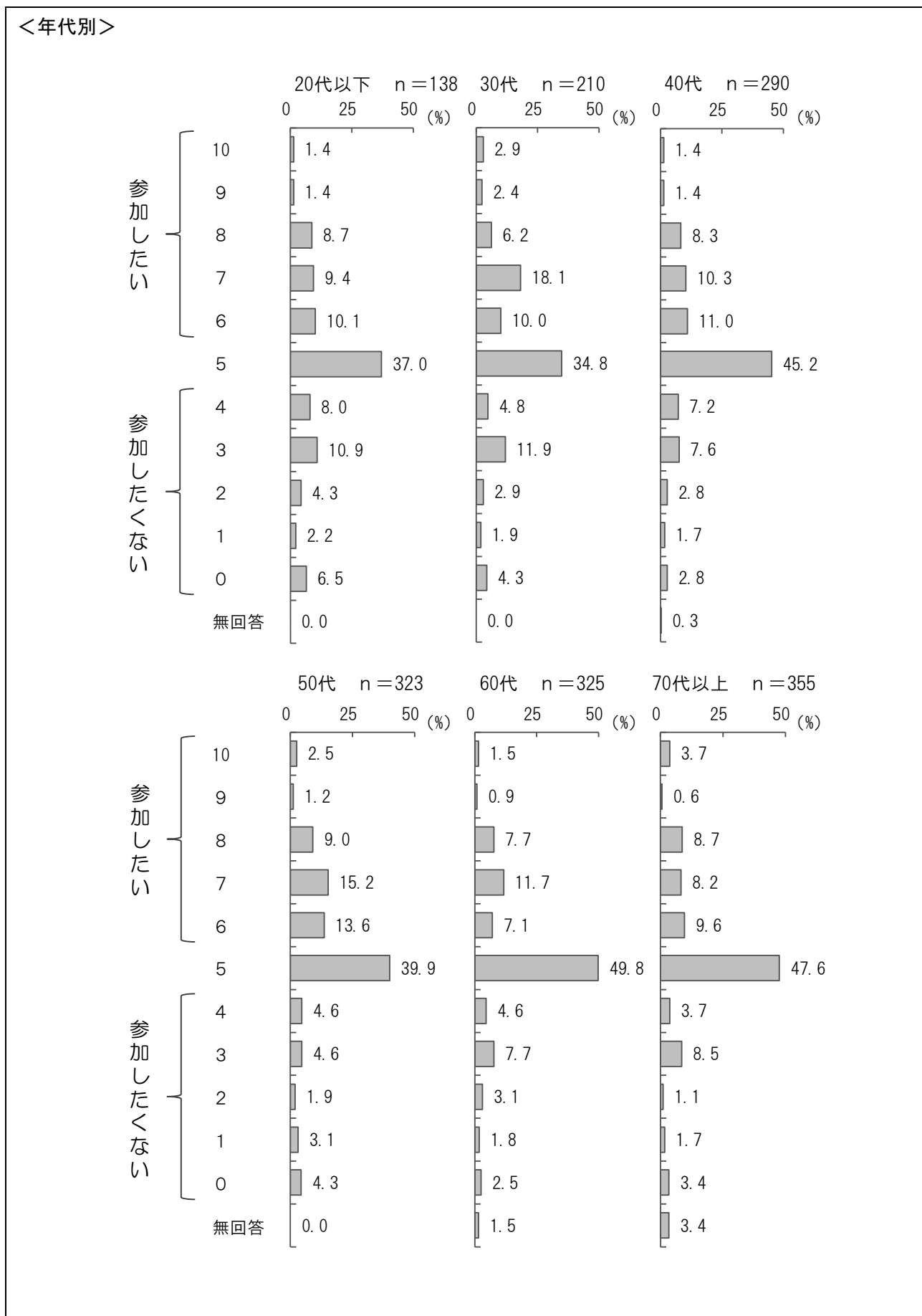
問3 あなたは、地域(まち)をよくする活動に、どの程度の気持ちで参加したいと思いますか。
次の気持ちを表した数字(10から0まで)から1つだけ選んで○をつけてください。



地域活動の参加意向については、「参加したい」(10～6点の合計)が33.9%、「参加したくない」(4～0点の合計)が21.3%となっている。



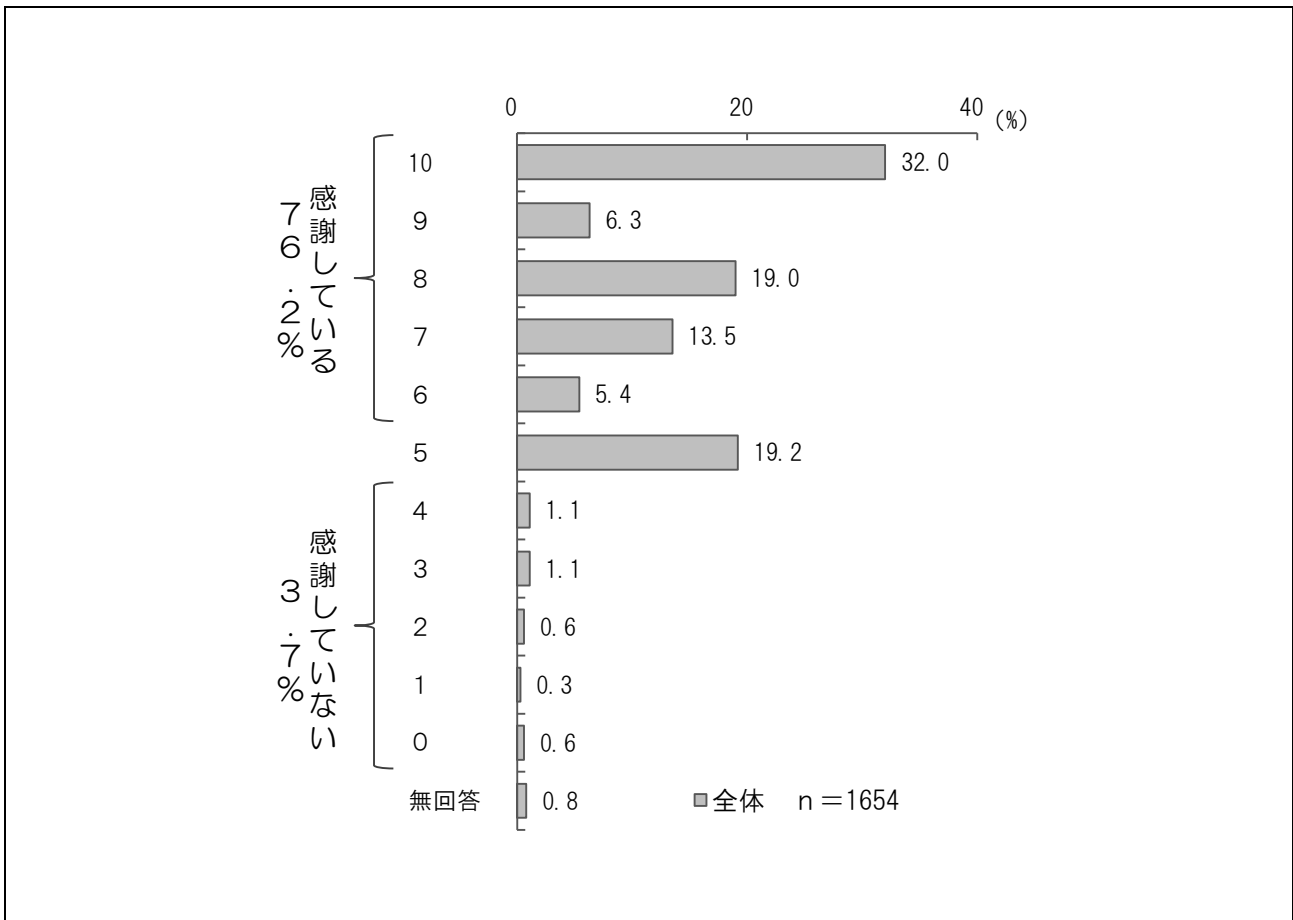
性別で見ると、大きな差異はみられない。



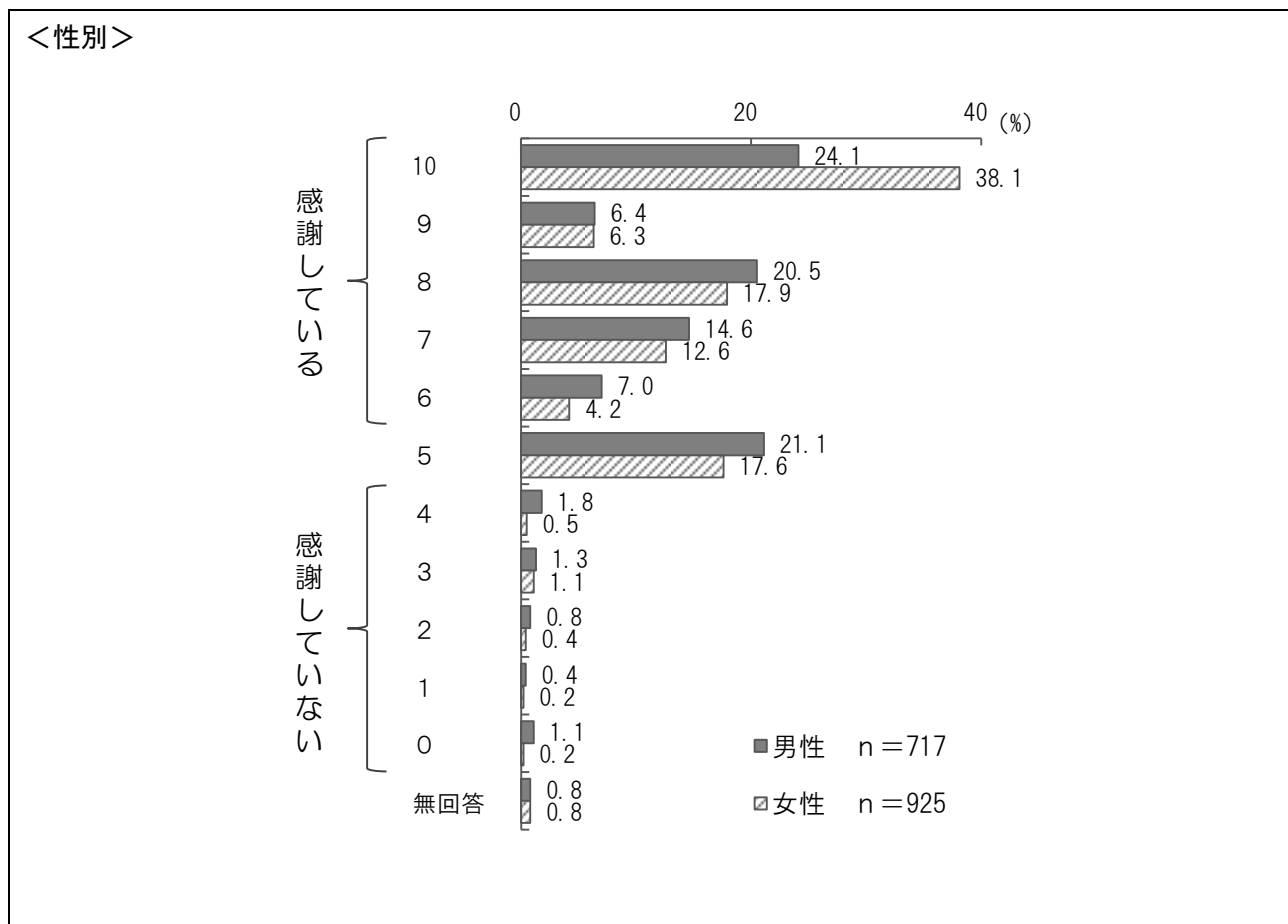
年代別でみると、20代以下において「参加したくない」が31.9%と多くなっている。

(4) 地域のために活動している人への感謝度 (10点評価)

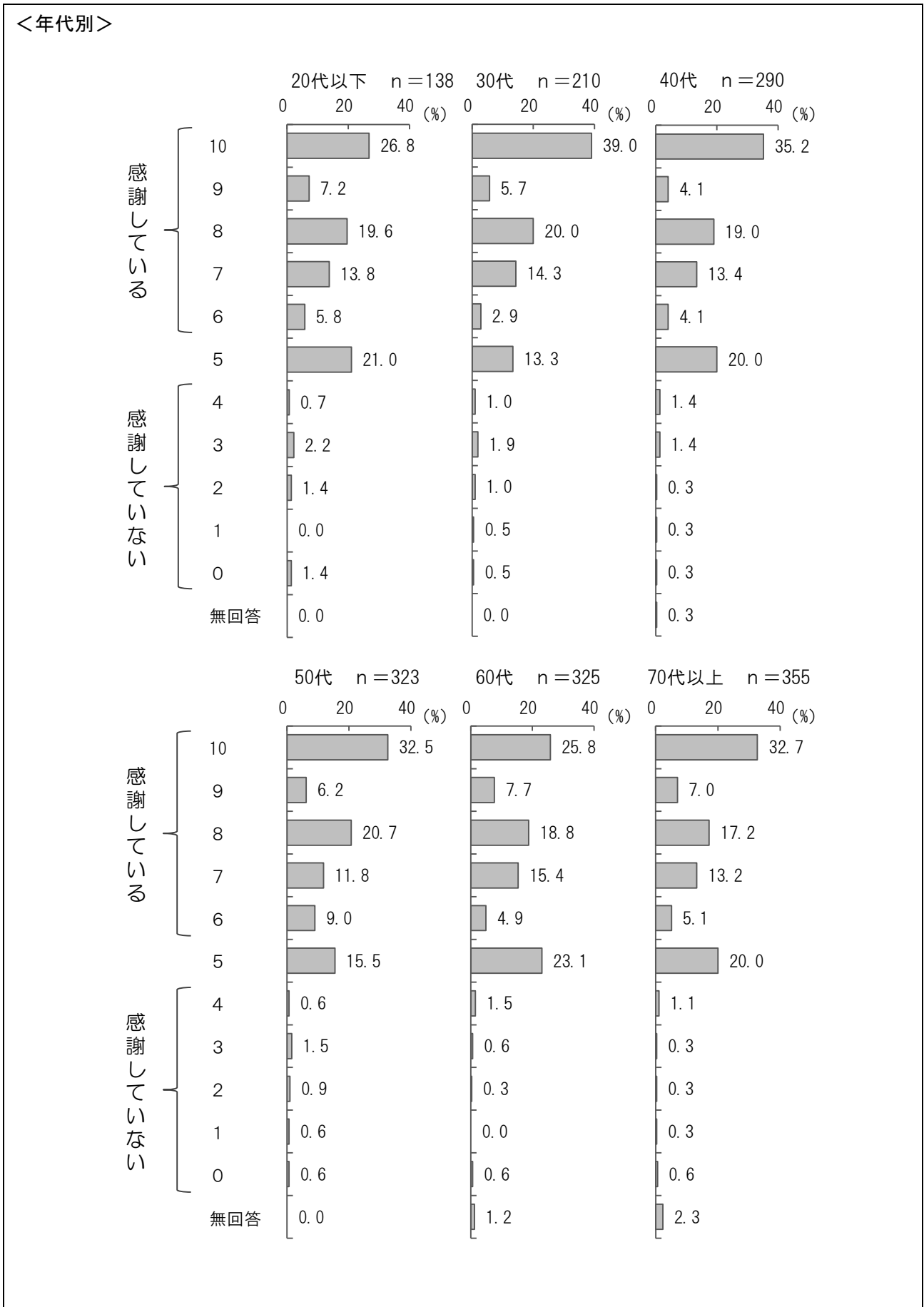
問4 あなたは、地域(まち)のために活動している人に対し、どの程度の気持ちで感謝していますか。次の気持ちを表した数字(10から0まで)から1つだけ選んで○をつけてください。



地域のために活動している人への感謝度については、「感謝している」(10～6点の合計)が76.2%、「感謝していない」(4～0点の合計)が3.7%となっている。



性別で見ると、女性において「感謝している」が79.1%と多くなっている。

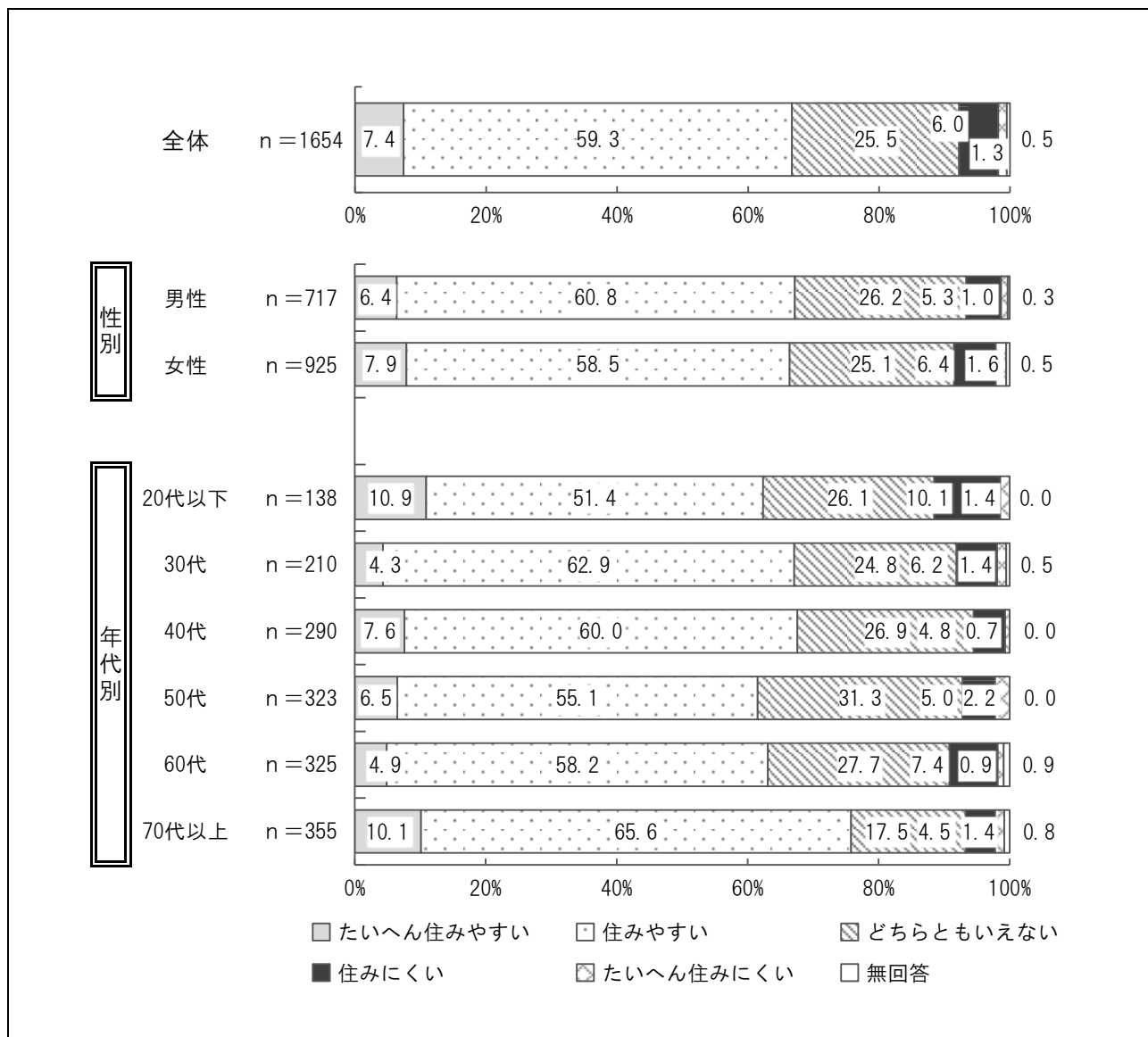


年代別でみると、大きな差異はみられない。

■富士市の将来について

(1) 富士市の住みやすさ

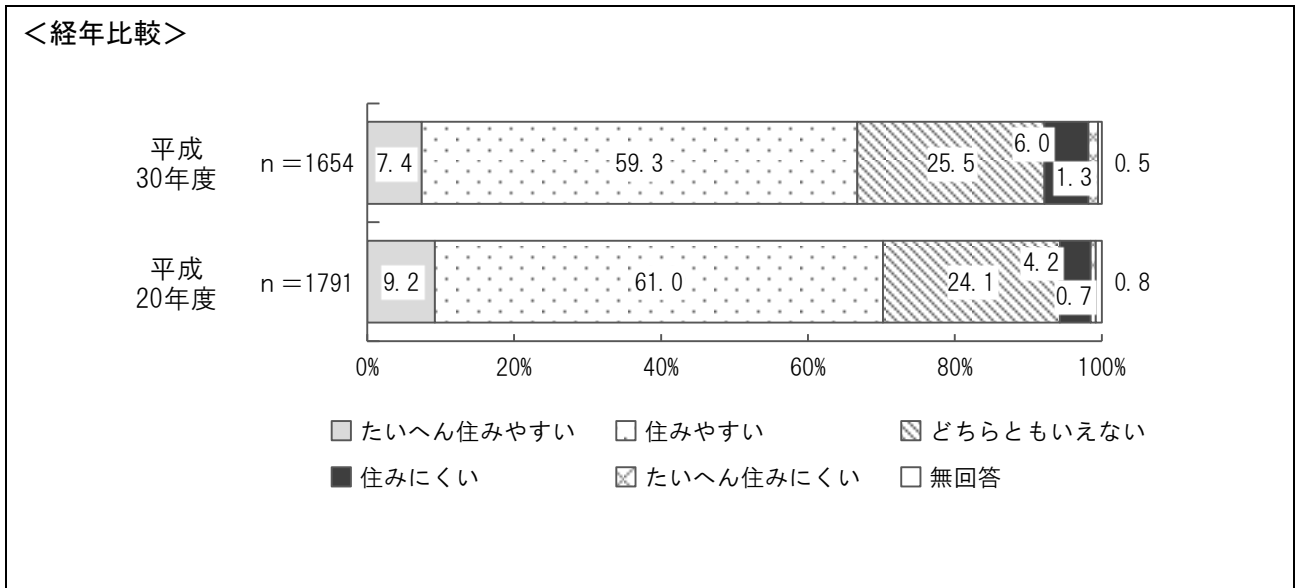
問5 あなたにとって、富士市は住みやすい市ですか。次の中からあなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んで○をつけてください。



富士市の住みやすさについては、「住みやすい」が59.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が25.5%、「たいへん住みやすい」が7.4%などとなっている。また『住みやすい』（「たいへん住みやすい」＋「住みやすい」）は、66.7%、『住みにくい』（「住みにくい」＋「たいへん住みにくい」）は、7.3%となる。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

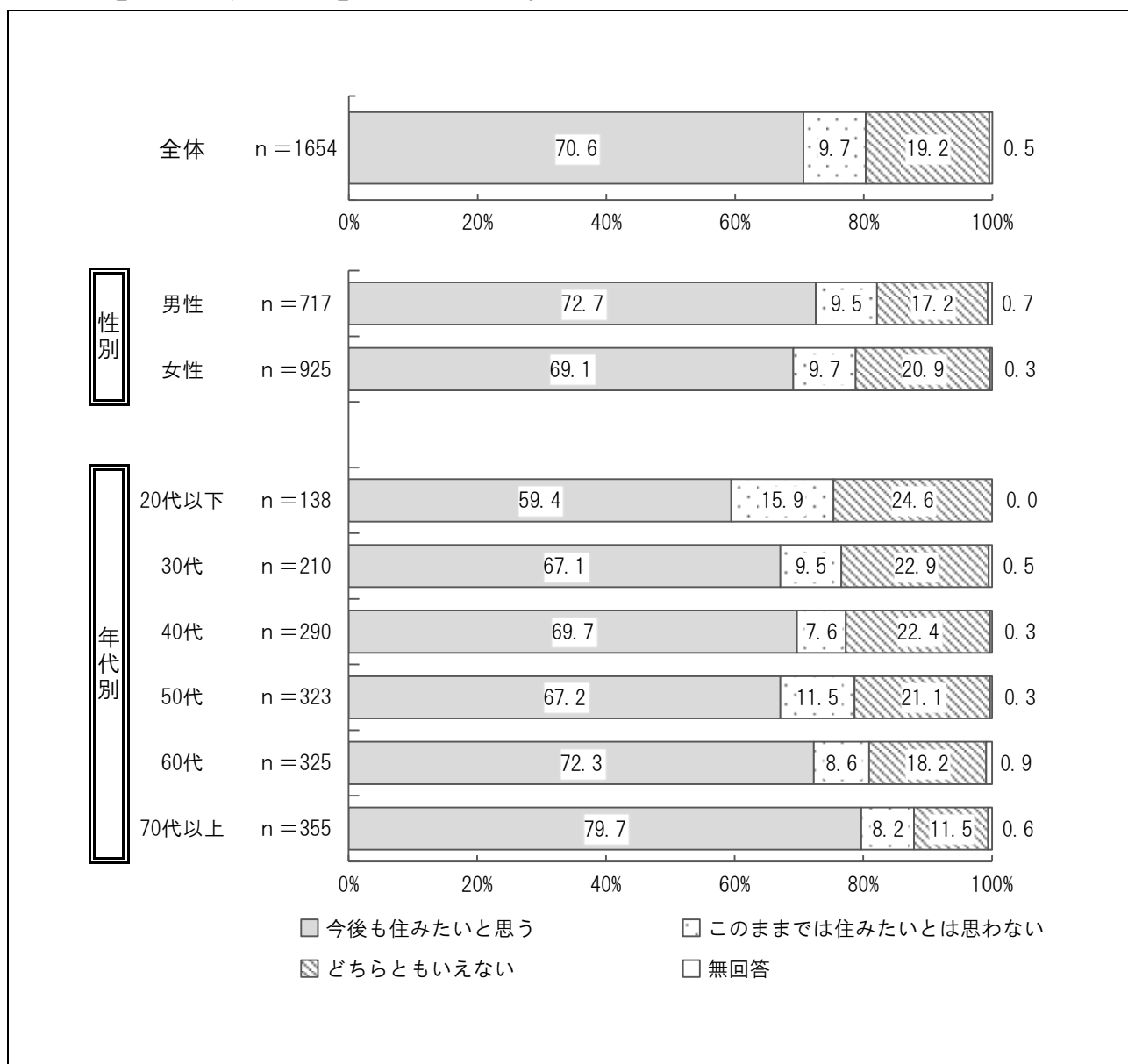
年代別で見ると、『住みやすい』は、70代以上が75.7%と多くなっている。



平成20年度の調査結果と比較すると、大きな差異はみられない。

(2) 富士市での居留意向

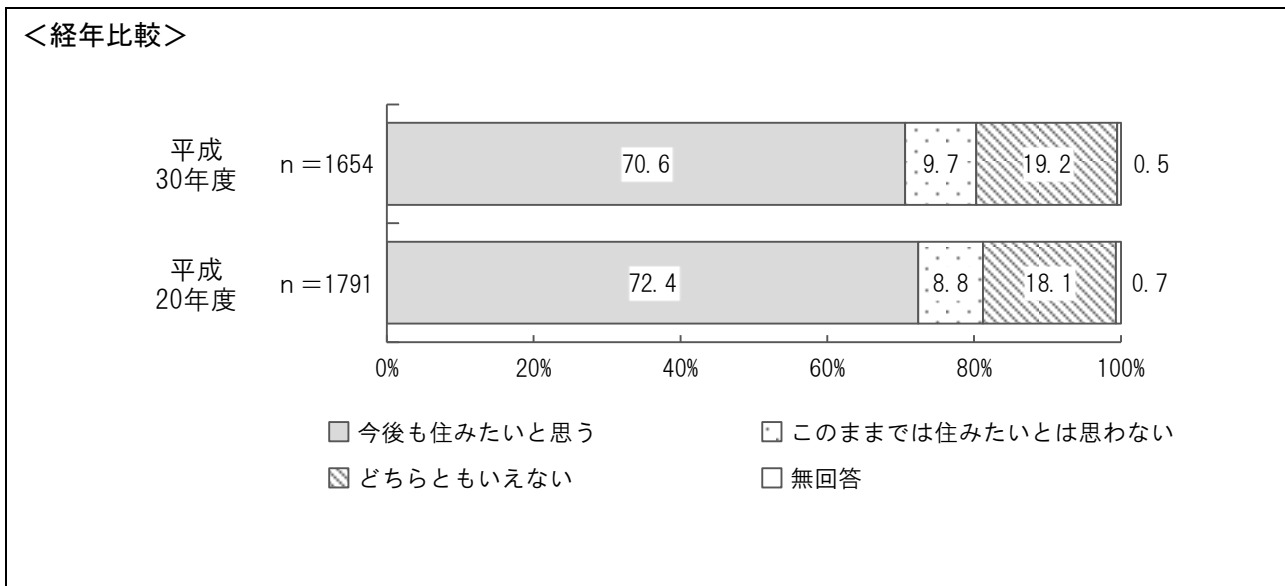
問6 あなたは、今後も富士市に住みたいと思いますか。次の中からあなたのお気持ちに近いものを1つだけ選んで○をつけてください。



富士市での居留意向については、「今後も住みたいと思う」が70.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が19.2%、「このままでは住みたいとは思わない」が9.7%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上において「今後も住みたいと思う」が79.7%と多くなっている。20代以下においては「今後も住みたいと思う」が59.4%と少なくなっている。

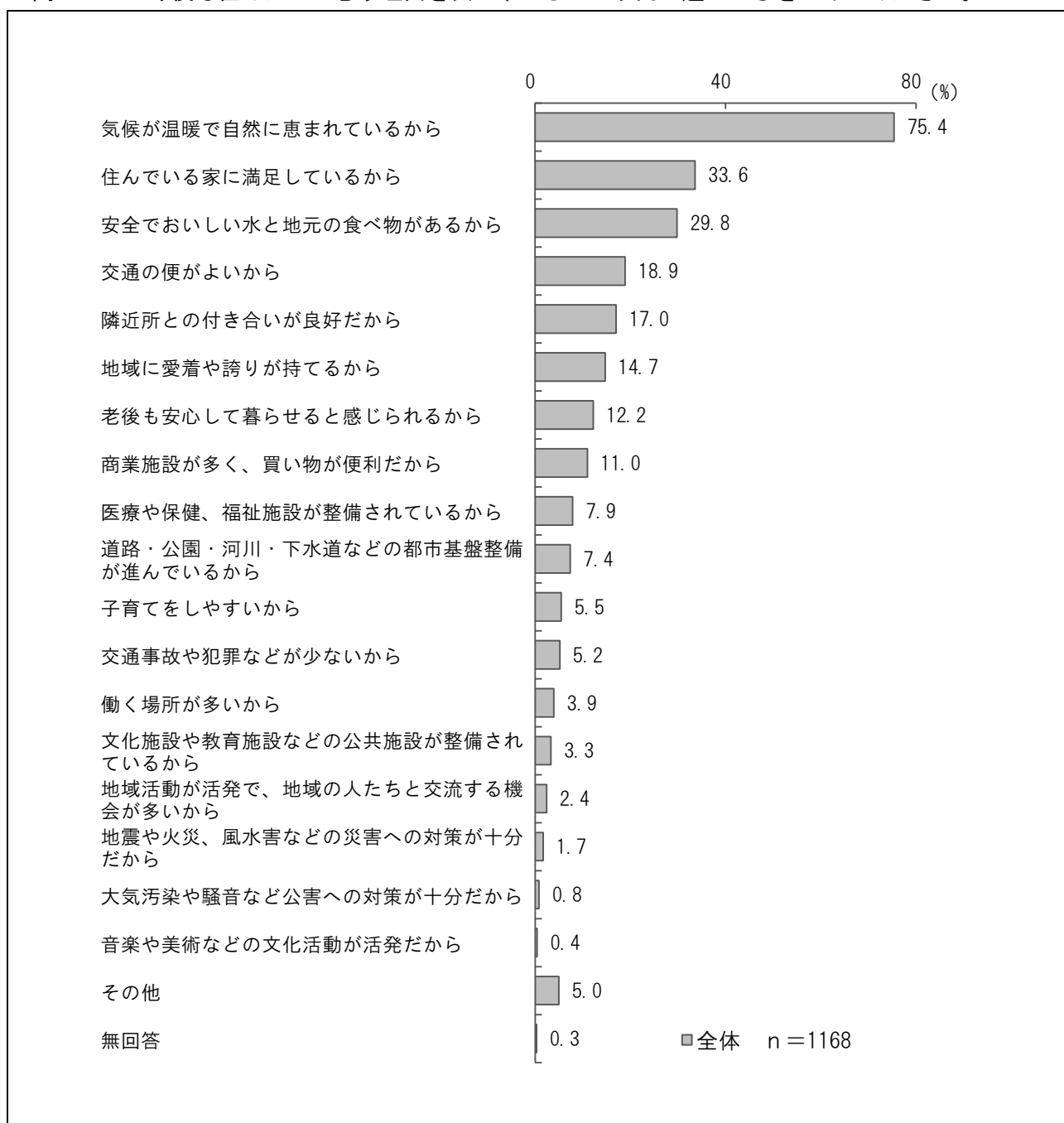


平成20年度の調査結果と比較すると、大きな差異はみられない。

(3) 今後も住みたいと思う理由

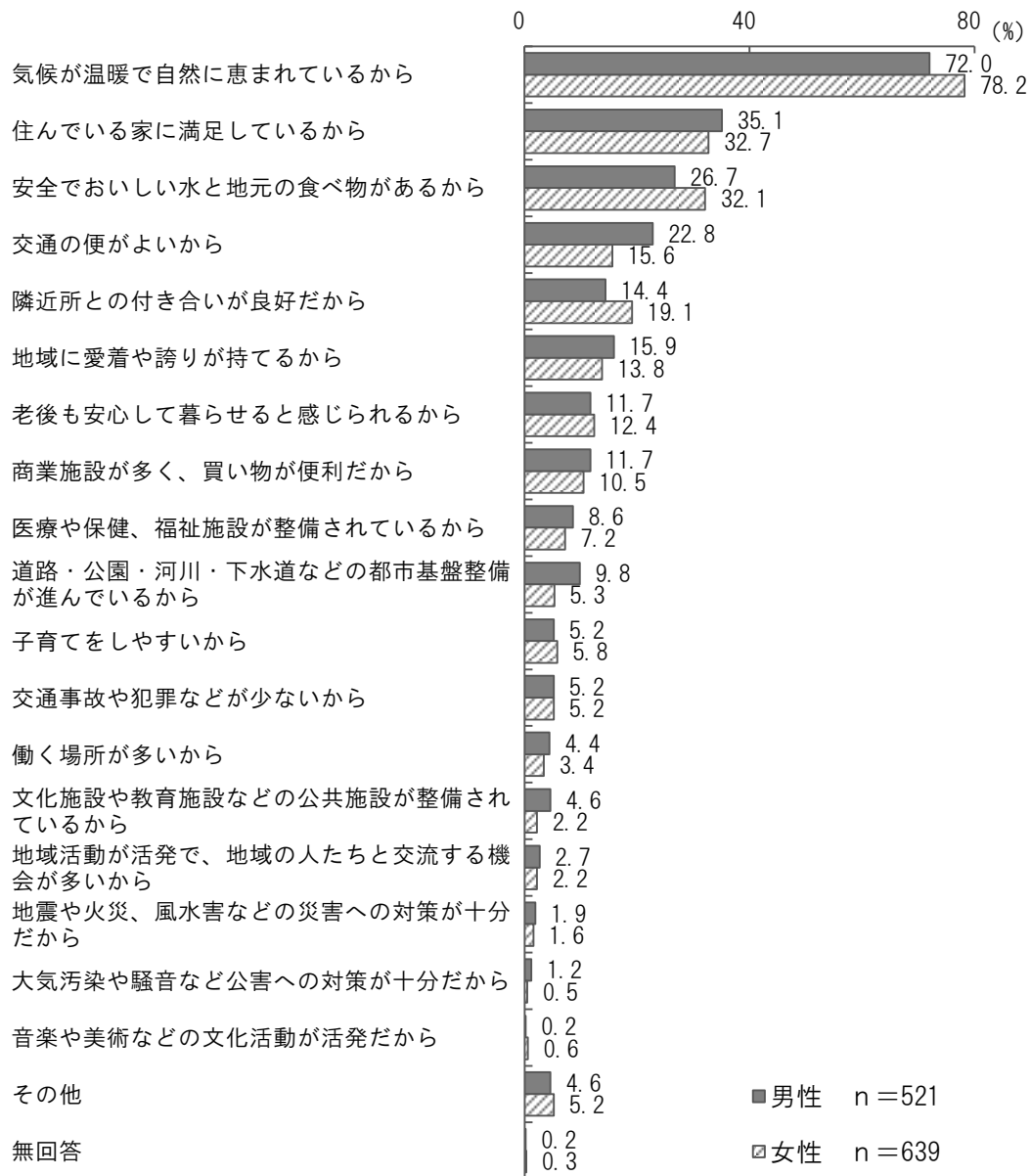
問6で「今後も住みたいと思う」と答えた人に伺います

問6-1 今後も住みたいと思う理由を次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。



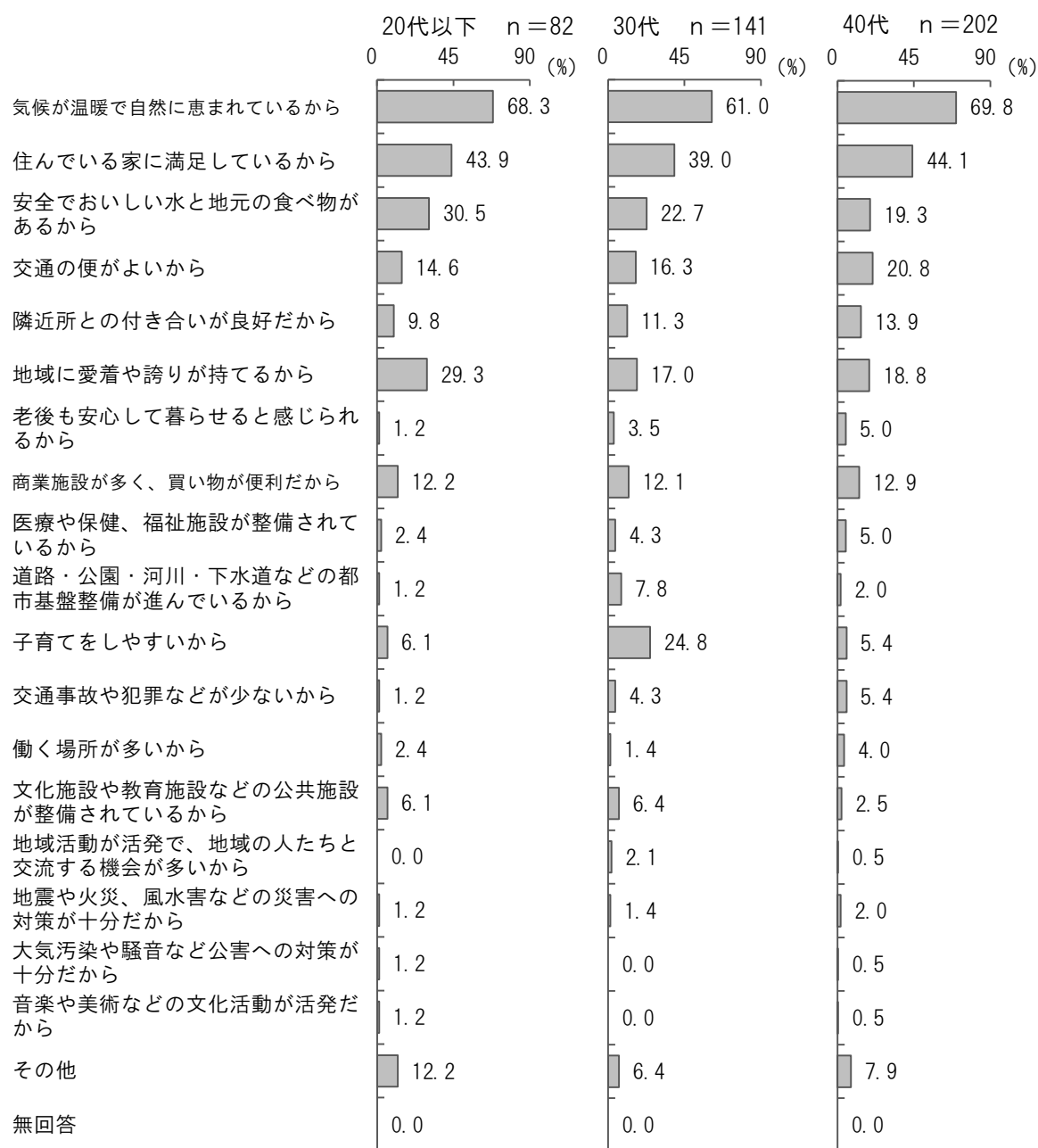
今後も富士市に住みたいと思う理由は、「気候が温暖で自然に恵まれているから」が75.4%と最も多く、次いで「住んでいる家に満足しているから」が33.6%、「安全でおいしい水と地元の食べ物があるから」が29.8%などとなっている。

<性別>



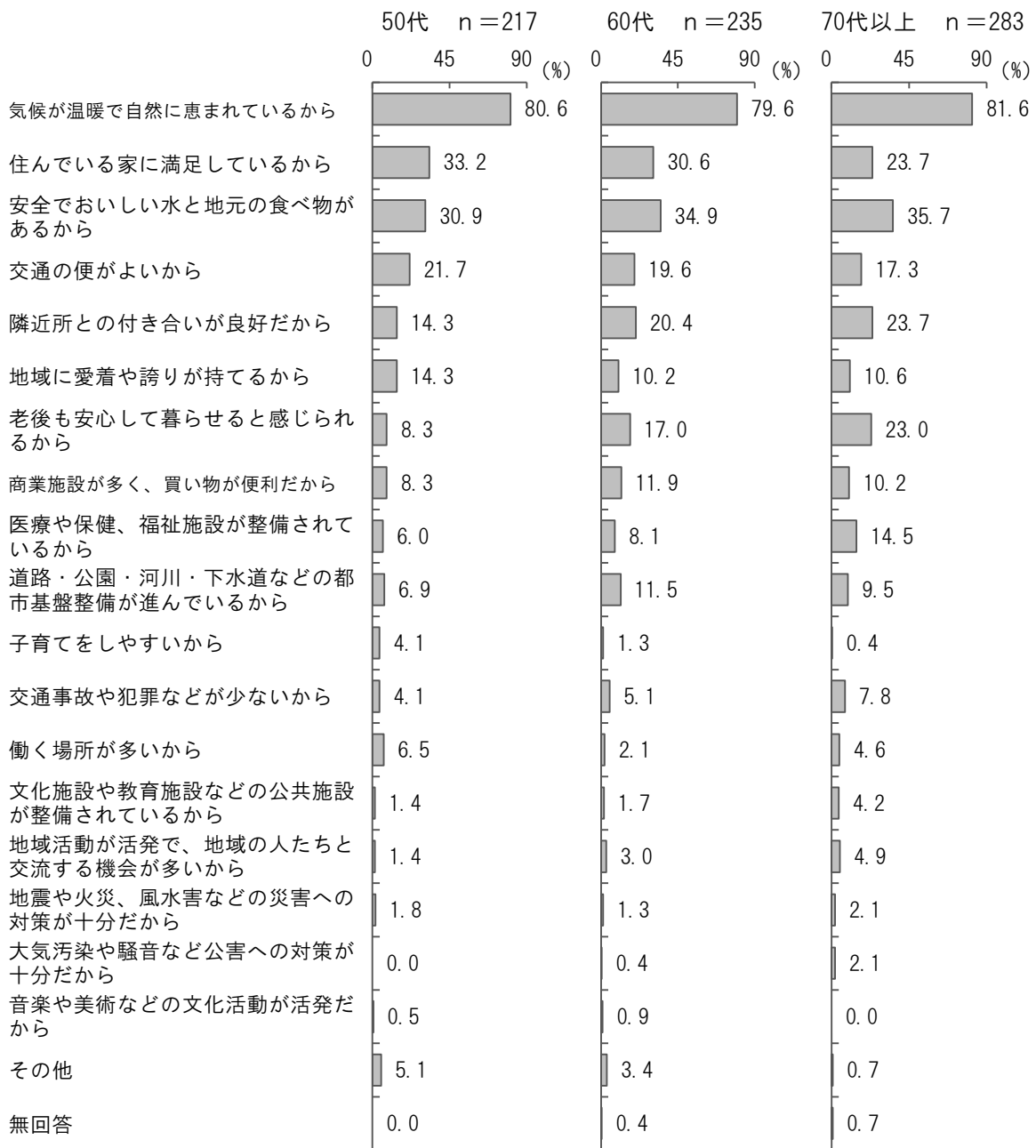
性別で見ると、男性において「交通の便がよいから」が22.8%と多くなっている。女性においては「気候が温暖で自然に恵まれているから」が78.2%、「安全でおいしい水と地元の食べ物があるから」が32.1%と多くなっている。

<年代別①>

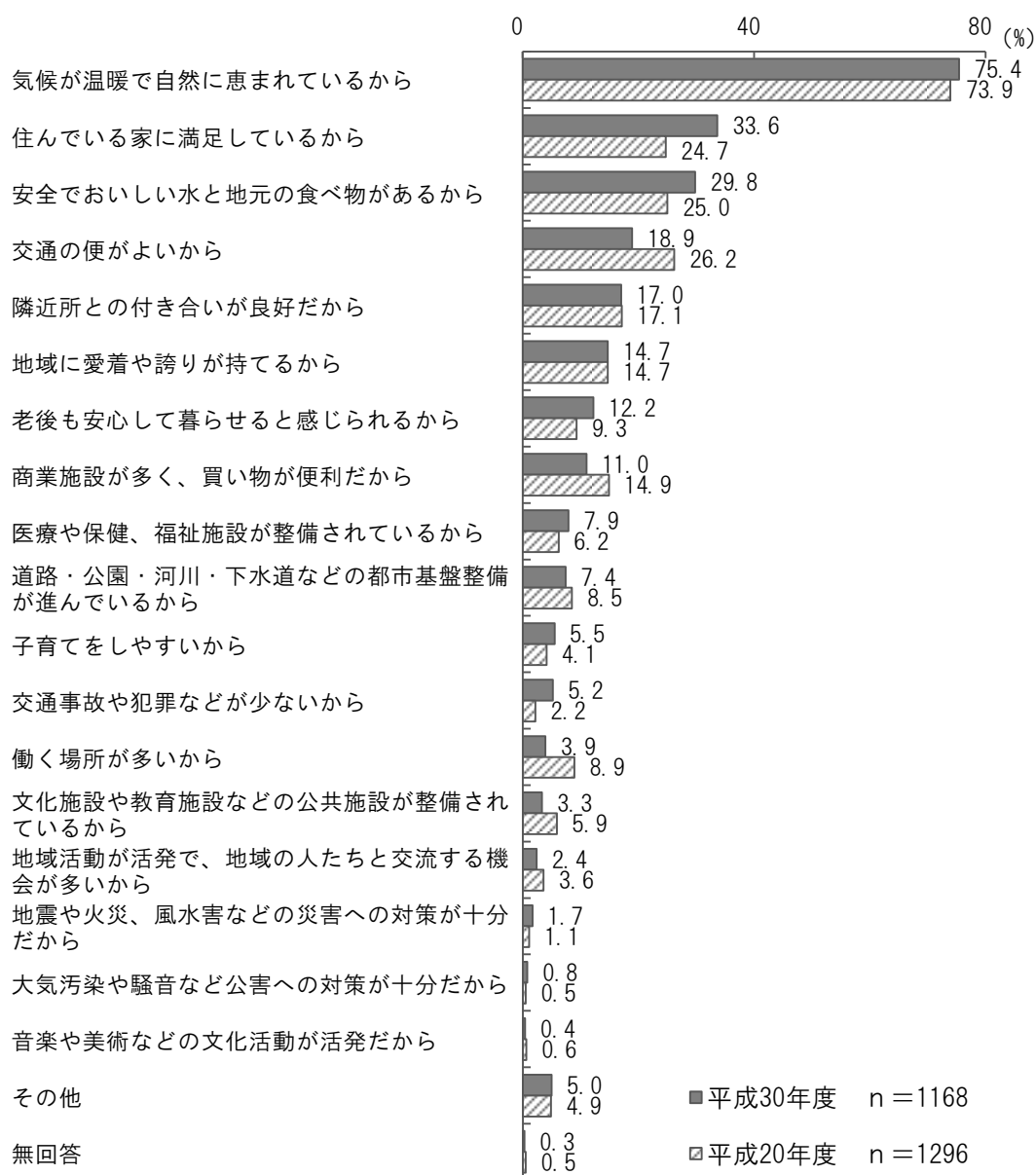


年代別で見ると、20代以下において「地域に愛着や誇りが持てるから」が29.3%と多くなっている。30代においては「子育てをしやすいから」が24.8%と多く、「気候が温暖で自然に恵まれているから」が61.0%と少なくなっている。70代以上においては「老後も安心して暮らせると感じられるから」が23.0%、「医療や保健、福祉施設が整備されているから」が14.5%と多くなっている。

<年代別②>



＜経年比較＞

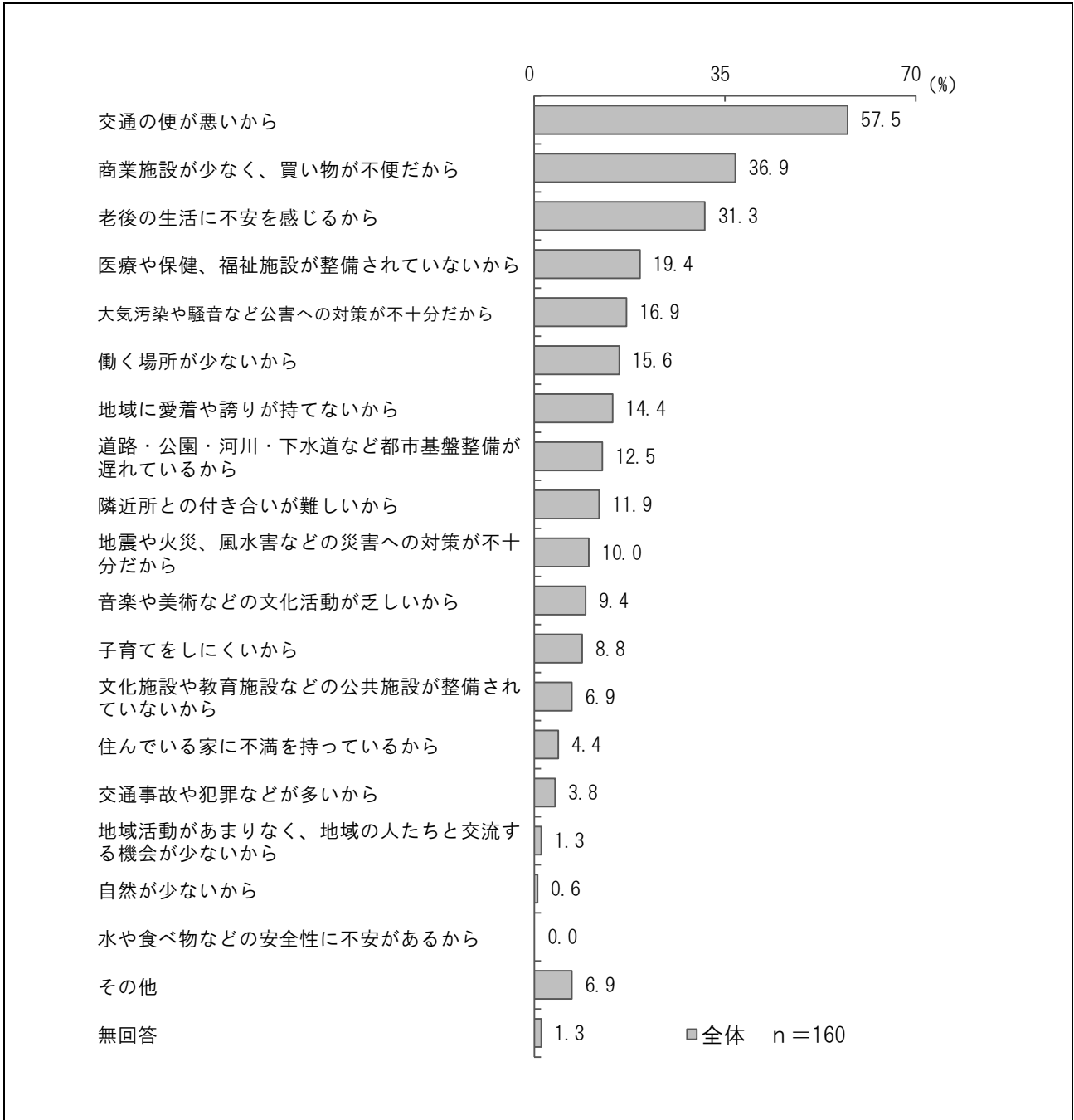


平成20年度の調査結果と比較すると、「住んでいる家に満足しているから」が33.6%と、8.9ポイント増加している。一方、「交通の便がよいから」が18.9%と、7.3ポイント減少しているほか、「働く場所が多いから」が3.9%と、5.0ポイント減少している。

(4) このままでは住みたいとは思わない理由

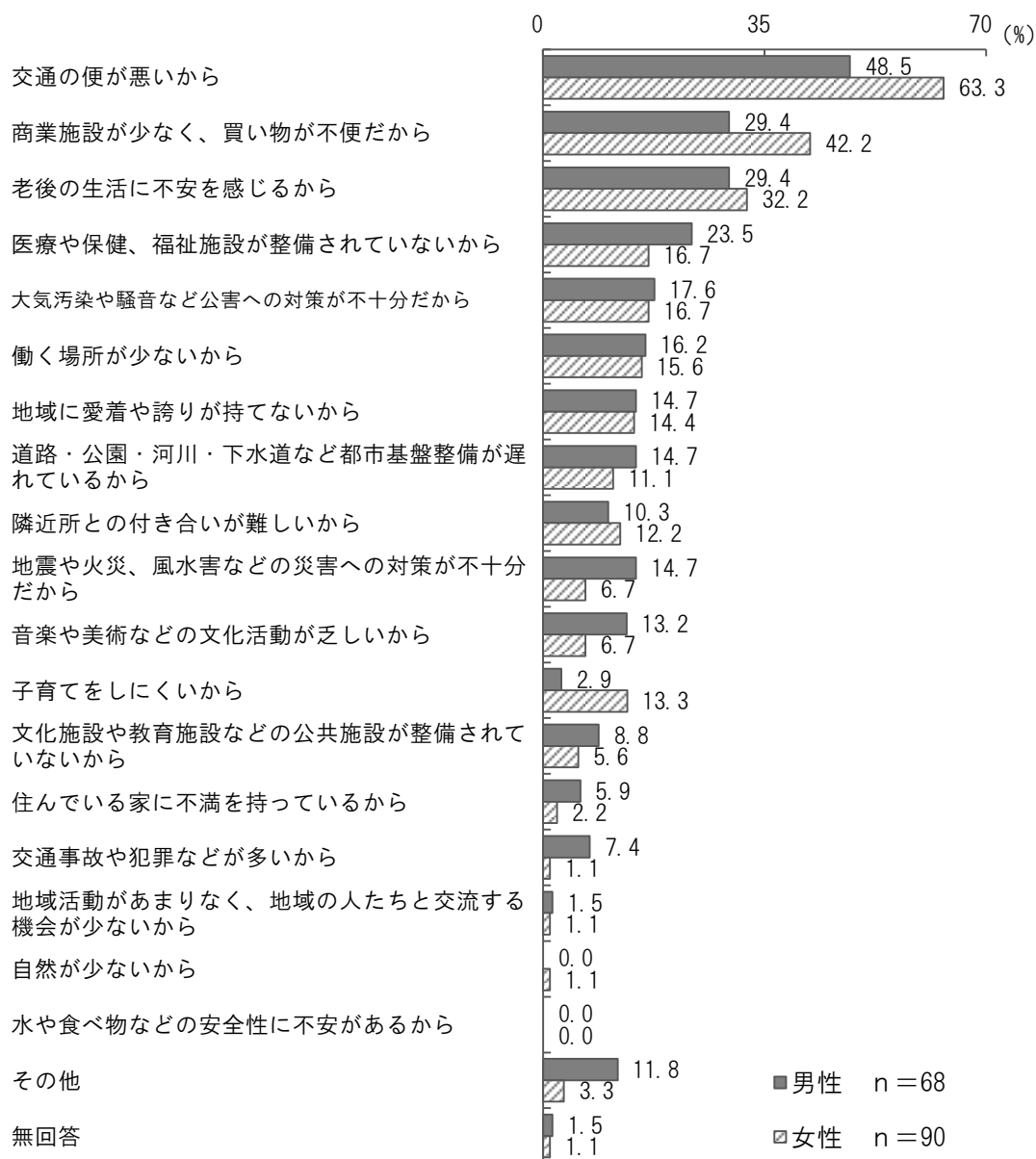
問6で「このままでは住みたいとは思わない」と答えた人に伺います

問6-2 このままでは住みたいとは思わない理由を次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。



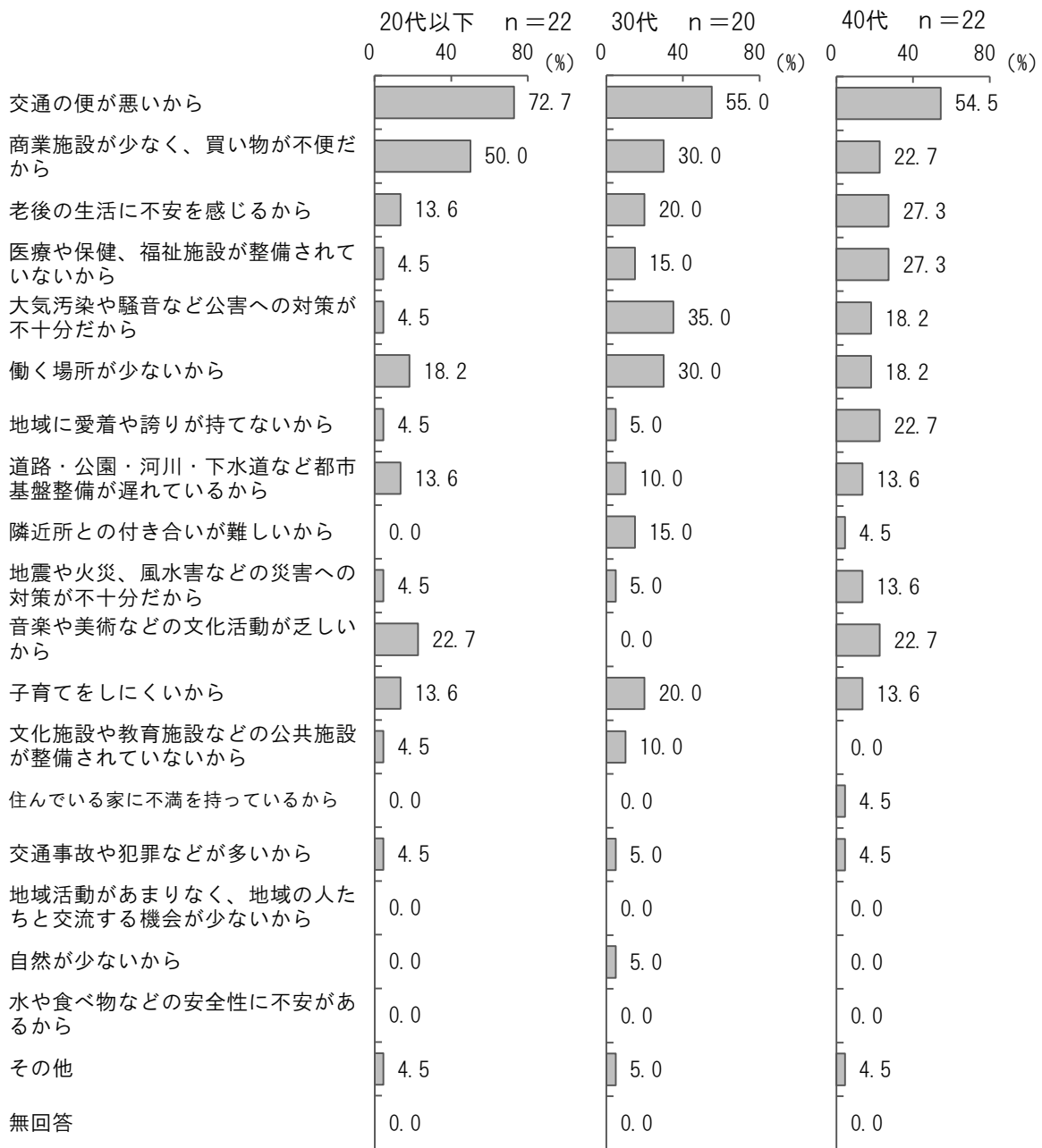
このままでは住みたいとは思わない理由は、「交通の便が悪いから」が 57.5%と最も多く、次いで「商業施設が少なく、買い物が不便だから」が 36.9%、「老後の生活に不安を感じるから」が 31.3% などとなっている。

＜性別＞



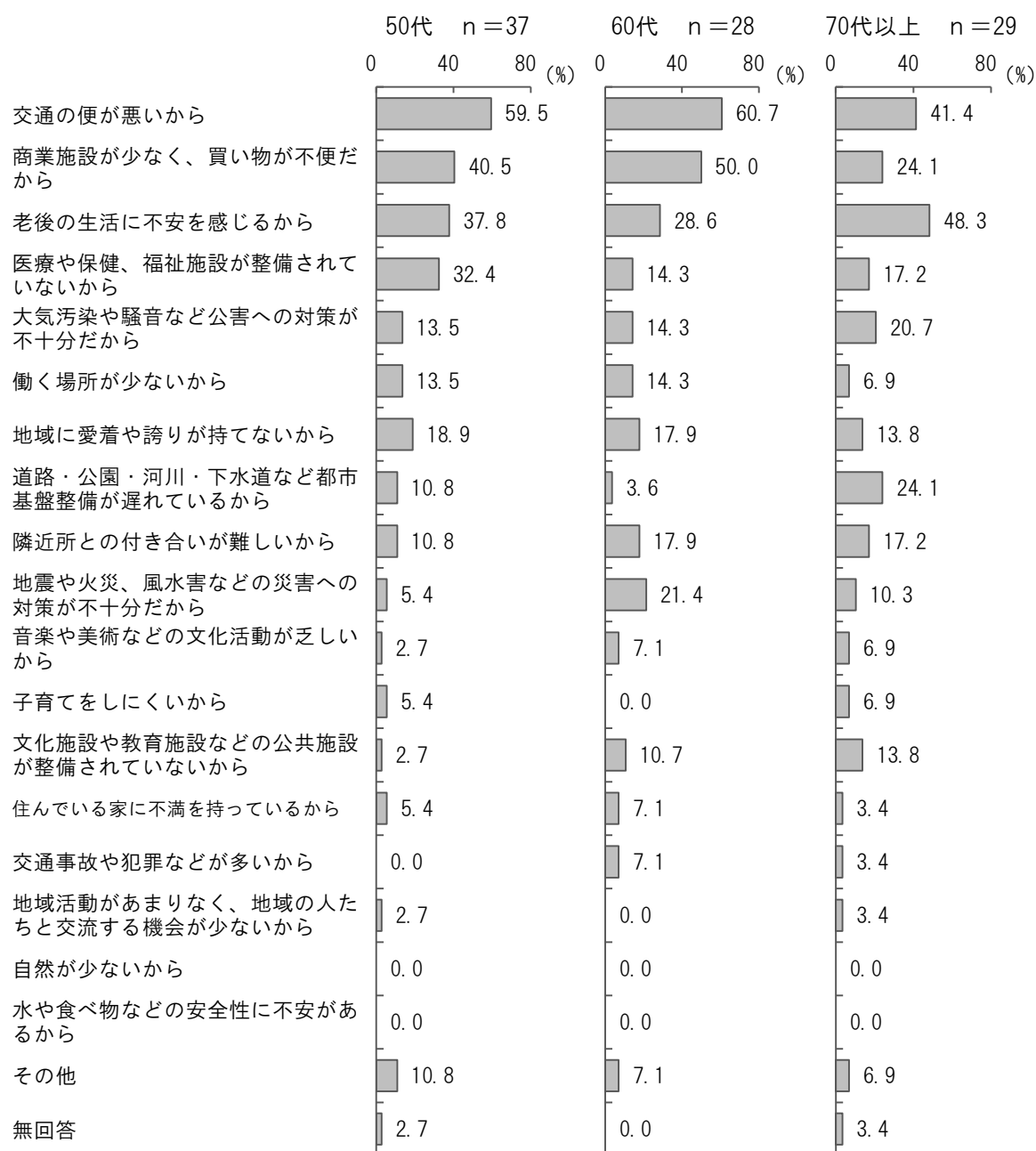
性別で見ると、男性において「医療や保健、福祉施設が整備されていないから」が 23.5%、「地震や火災、風水害などの災害への対策が不十分だから」が 14.7%、「音楽や美術などの文化活動が乏しいから」が 13.2%、「交通事故や犯罪などが多いから」が 7.4%と多くなっている。女性においては「交通の便が悪いから」が 63.3%、「商業施設が少なく、買い物が不便だから」が 42.2%、「子育てをしにくいから」が 13.3%と多くなっている。

<年代別①>

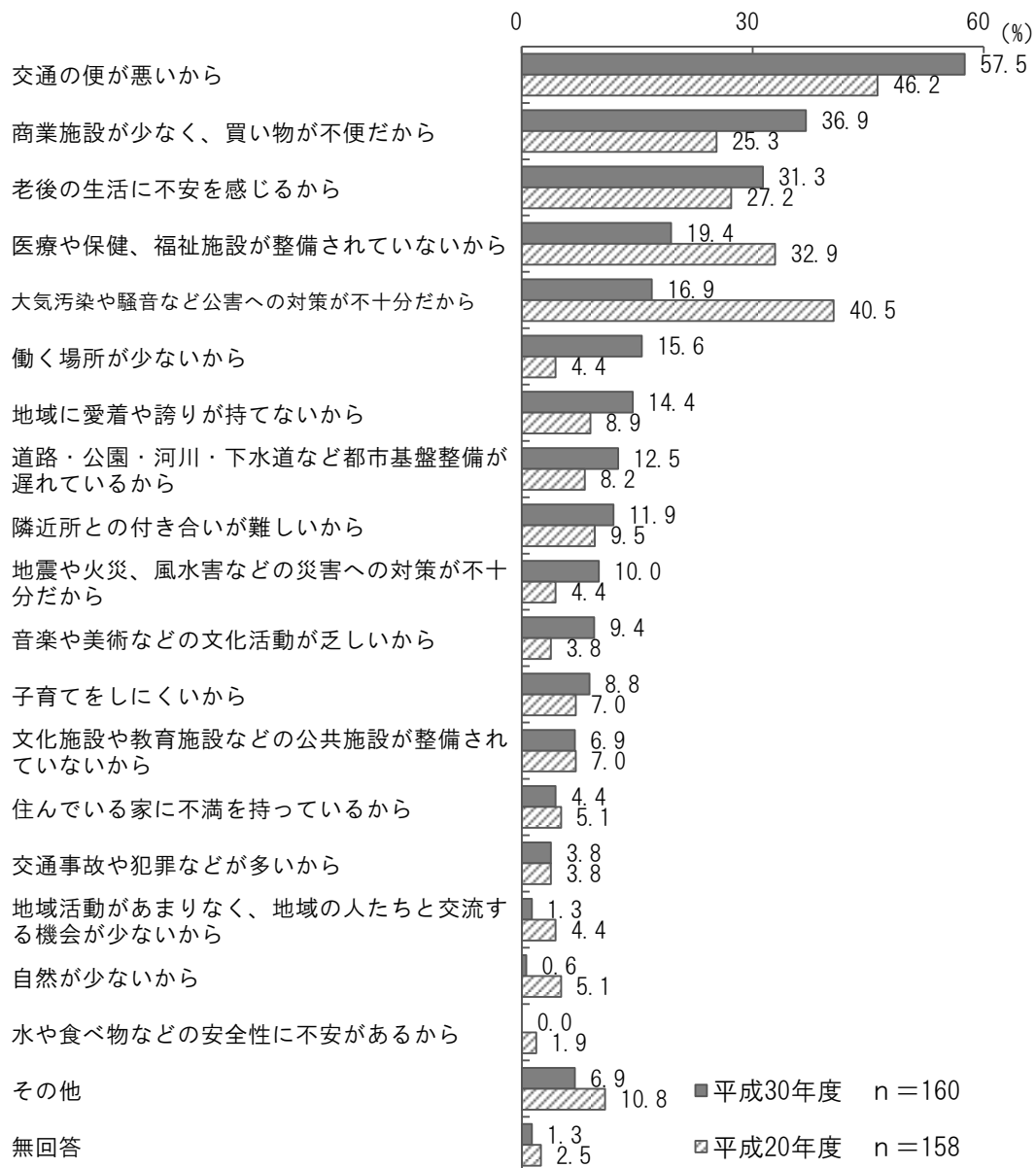


※年代別グラフについては、サンプル数が少ないためコメントを割愛する。

<年代別②>



<経年比較>



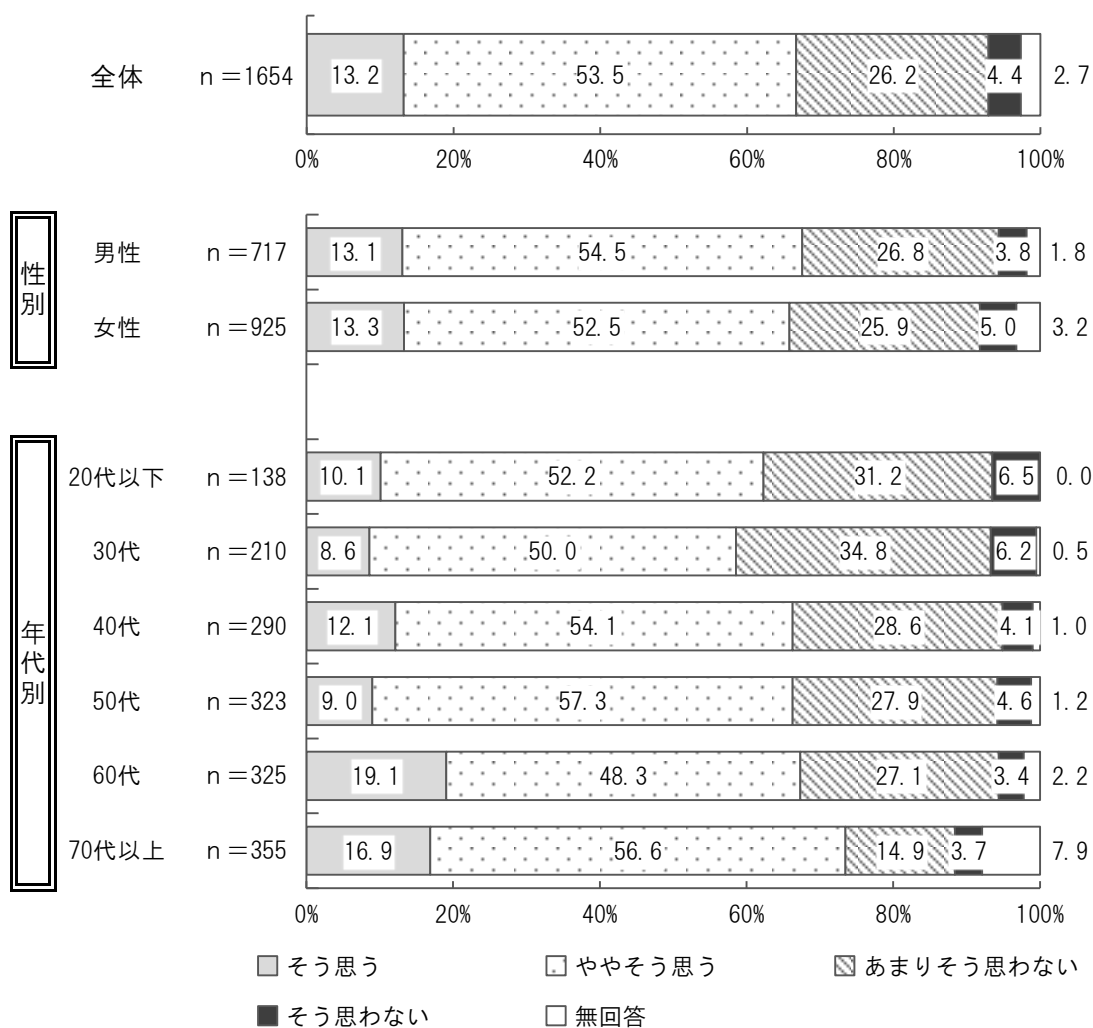
平成20年度の調査結果と比較すると、「交通の便が悪いから」が57.5%と、11.3ポイント増加している。「商業施設が少なく、買い物が不便だから」が36.9%と、11.6ポイント増加している。「働く場所が少ないから」が15.6%と、11.2ポイント増加している。「地域に愛着や誇りが持てないから」が14.4%と、5.5ポイント増加している。「地震や火災、風水害などの災害への対策が不十分だから」が10.0%、「音楽や美術などの文化活動が乏しいから」が9.4%と、それぞれ5.6ポイント増加している。一方、「医療や保健、福祉施設が整備されていないから」が19.4%と、13.5ポイント減少している。「大気汚染や騒音など公害への対策が不十分だから」が16.9%と、23.6ポイント減少している。

(5) 富士市の現状についての満足度

問7 第五次富士市総合計画では、めざす都市像「富士山のふもと しあわせを実感できるまち 富士」を実現するため、全部で7章、29節の体系を示し、各節ごとの市民満足度を成果指標の一つに位置づけています。次の1～29の各項目の満足度について、あなたのお気持ちに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

【第1章 安全・安心】安全で暮らしやすいまち

1 富士市は、犯罪や交通事故が少ない、安全で安心して生活できるまちだと思いますか。

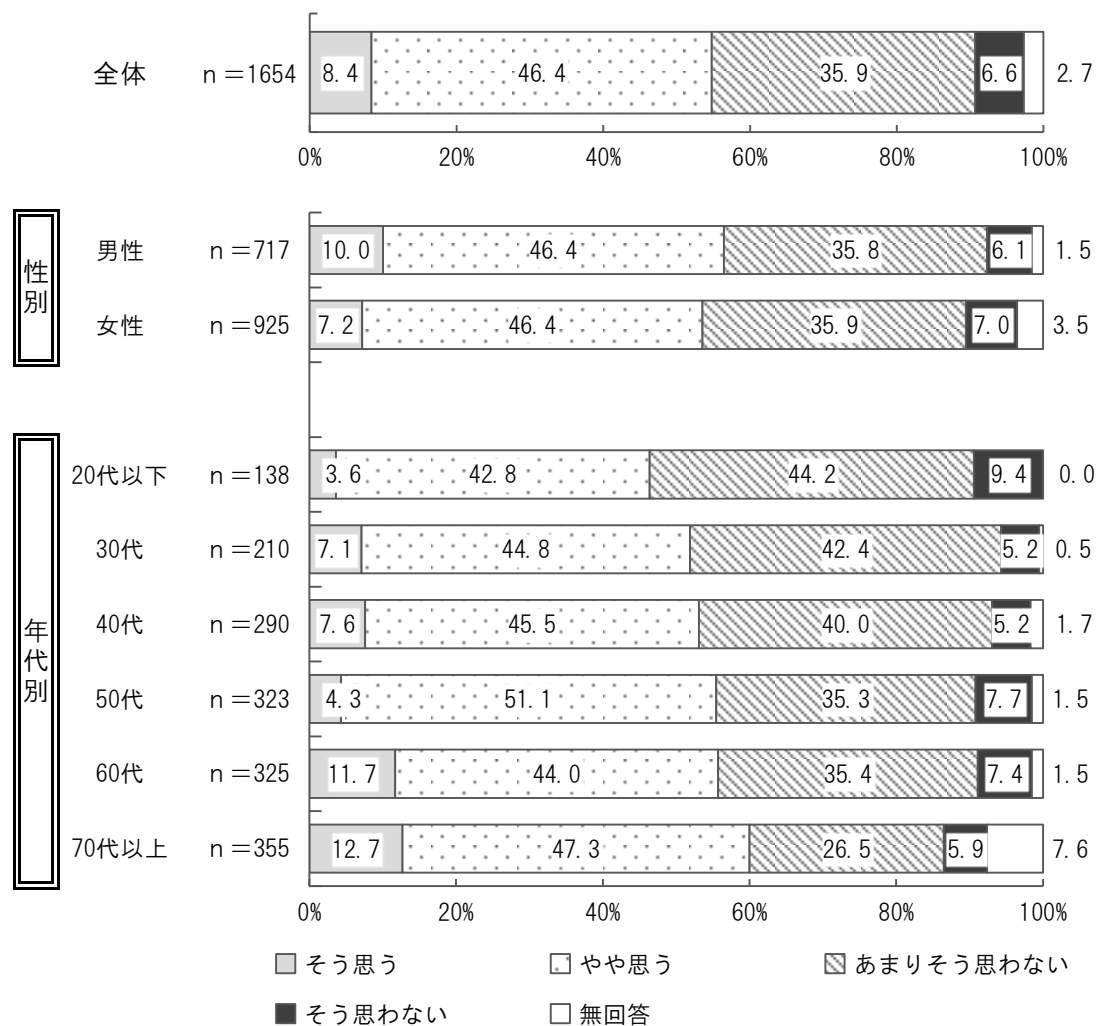


「富士市は、犯罪や交通事故が少ない、安全で安心して生活できるまちだと思いますか」という問については、『そう思う』（「そう思う」＋「ややそう思う」）が66.7%、『そう思わない』（「あまりそう思わない」＋「そう思わない」）が30.6%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

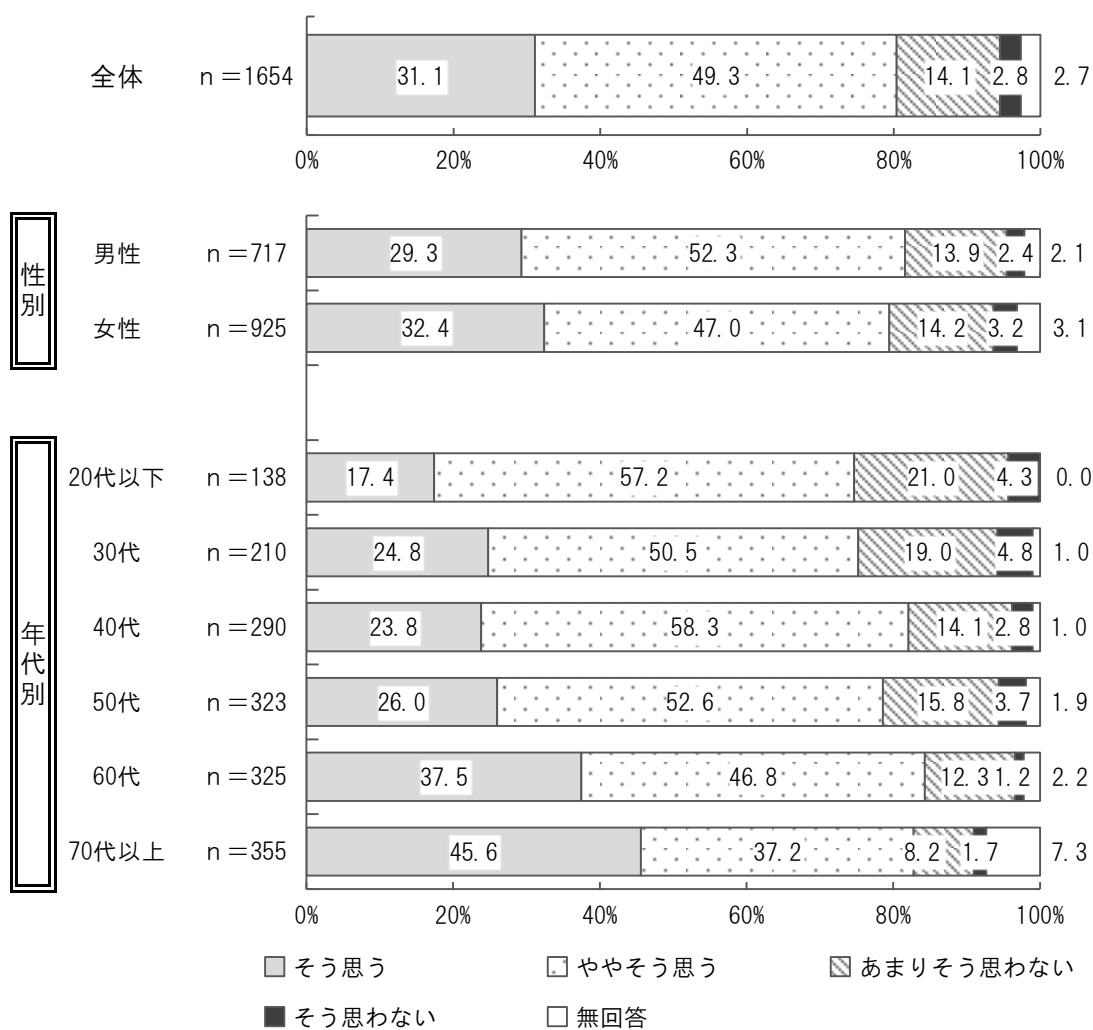
年代別で見ると、70代以上において「あまりそう思わない」が14.9%と少なくなっている。また『そう思わない』は、70代以上において18.6%と少なくなっている。

2 あなたがお住まいの地区は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか。



「あなたがお住まいの地区は、地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思いますか」という問については、『そう思う』が54.8%、『そう思わない』が42.5%となっている。性別で見ると、大きな差異はみられない。年代別で見ると、年代が高くなるほど、『そう思う』と回答する割合が多くなっている。

3 富士市は、119番通報すればすぐに駆けつけて対応してくれると思いますか。

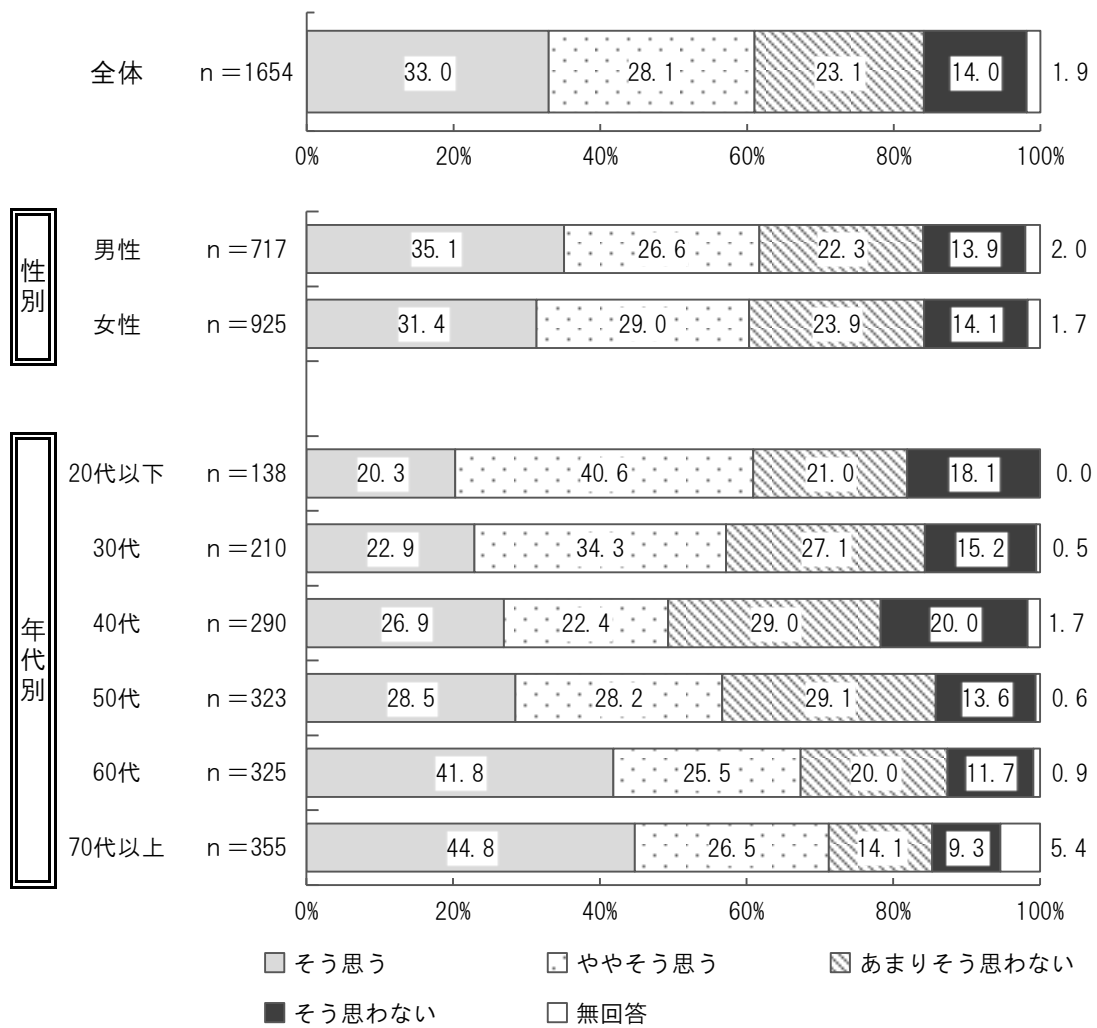


「富士市は、119番通報すればすぐに駆けつけて対応してくれると思いますか」という問については、『そう思う』が80.4%、『そう思わない』が16.9%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上において「そう思う」が45.6%と多くなっている。20代以下においては「そう思う」が17.4%と少なくなっている。

4 あなたがお住まいの地区は、台風などの際に水害の心配がないと思いますか。



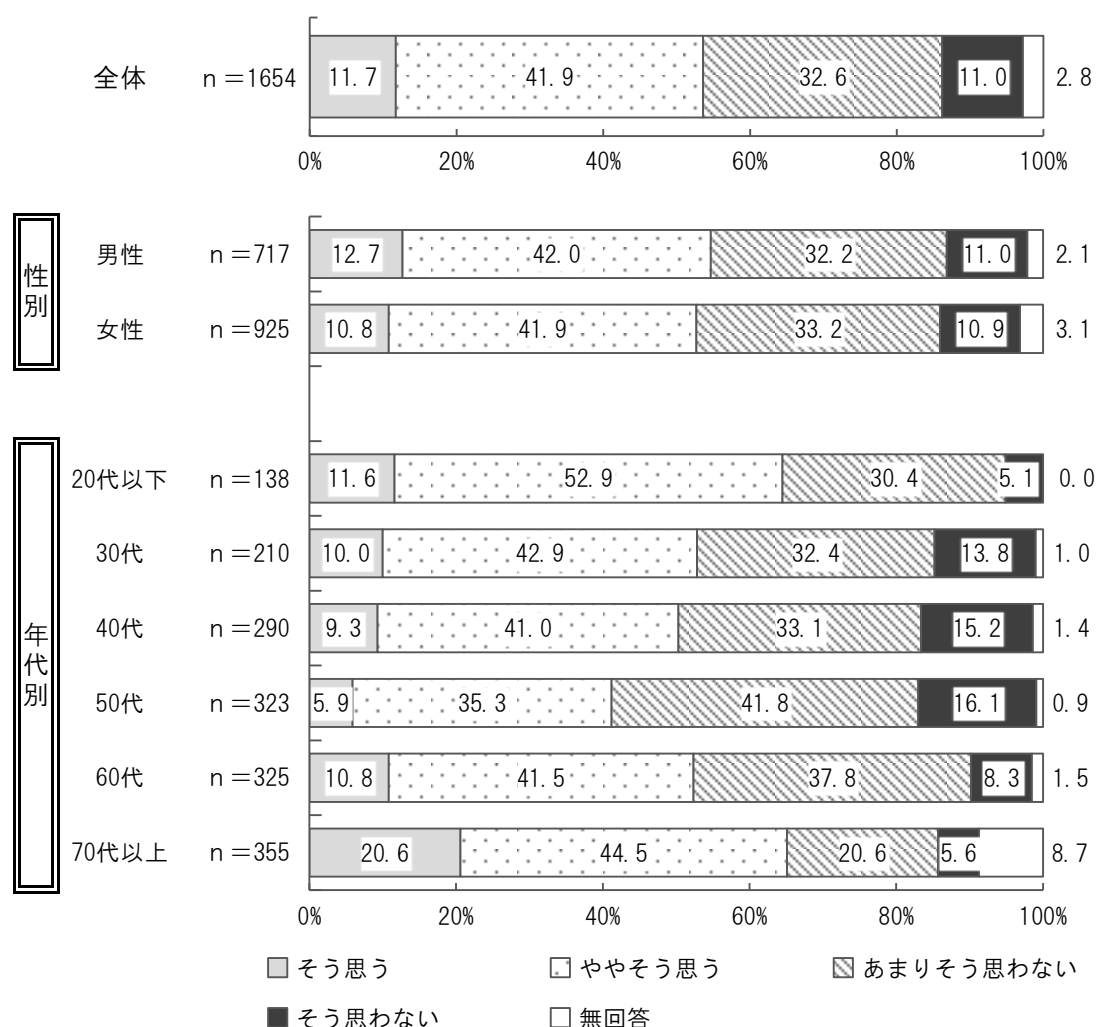
「あなたがお住まいの地区は、台風などの際に水害の心配がないと思いますか」という問については、『そう思う』が61.1%、『そう思わない』が37.1%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、『そう思う』は、40代において49.3%と少なくなっている。また、年代が高くなるほど、「そう思う」と回答する割合が多くなっている。

【第2章 健康・福祉】健やかに安心して暮らせるまち

5 富士市は、医療体制が整っていると思いますか。

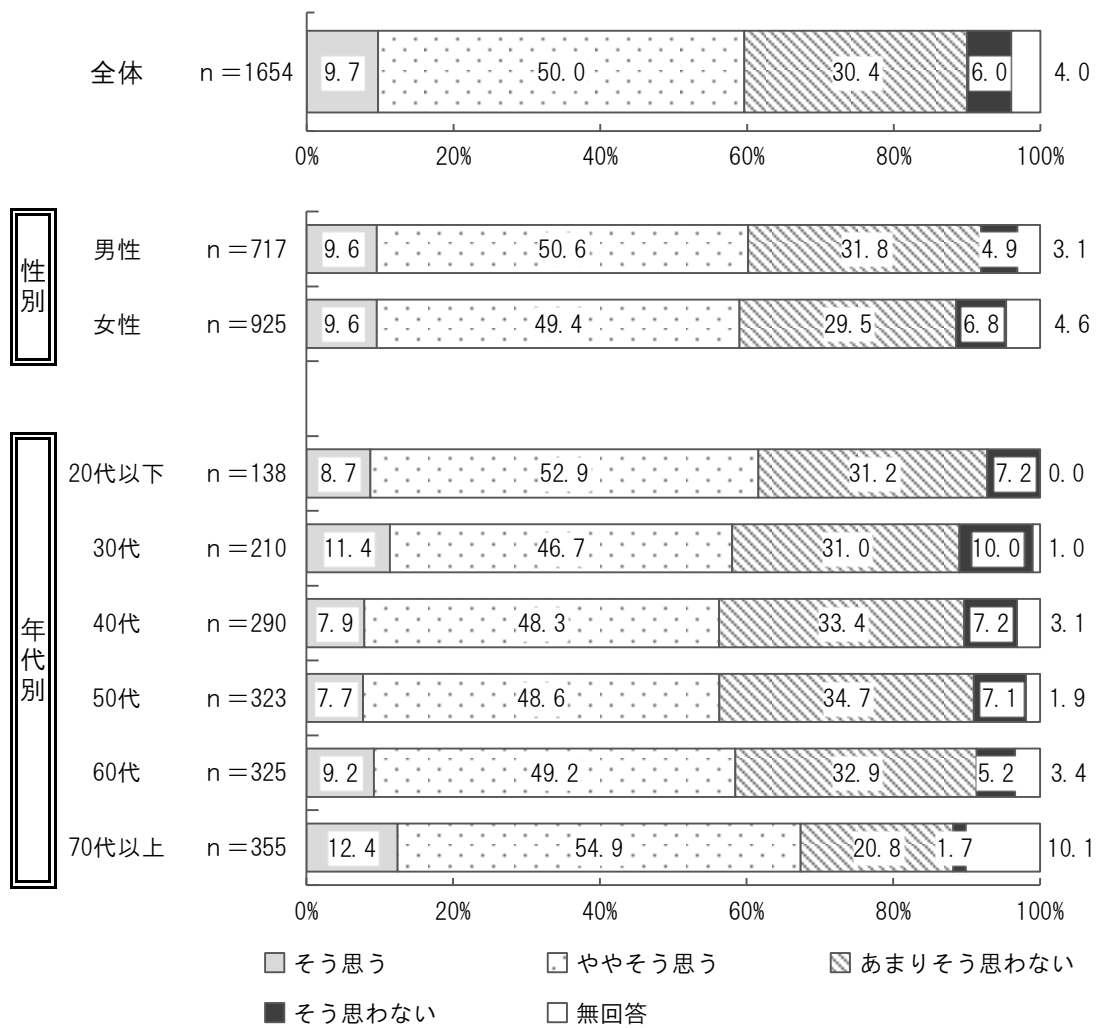


「富士市は、医療体制が整っていると思いますか」という問については、『そう思う』が53.6%、『そう思わない』が43.6%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、『そう思う』は、20代以下と70代以上において6割以上を占めている。50代においては『そう思う』が41.2%と少なくなっている。

6 富士市は、安心して子どもを産み育てる環境が充実していると思いますか。

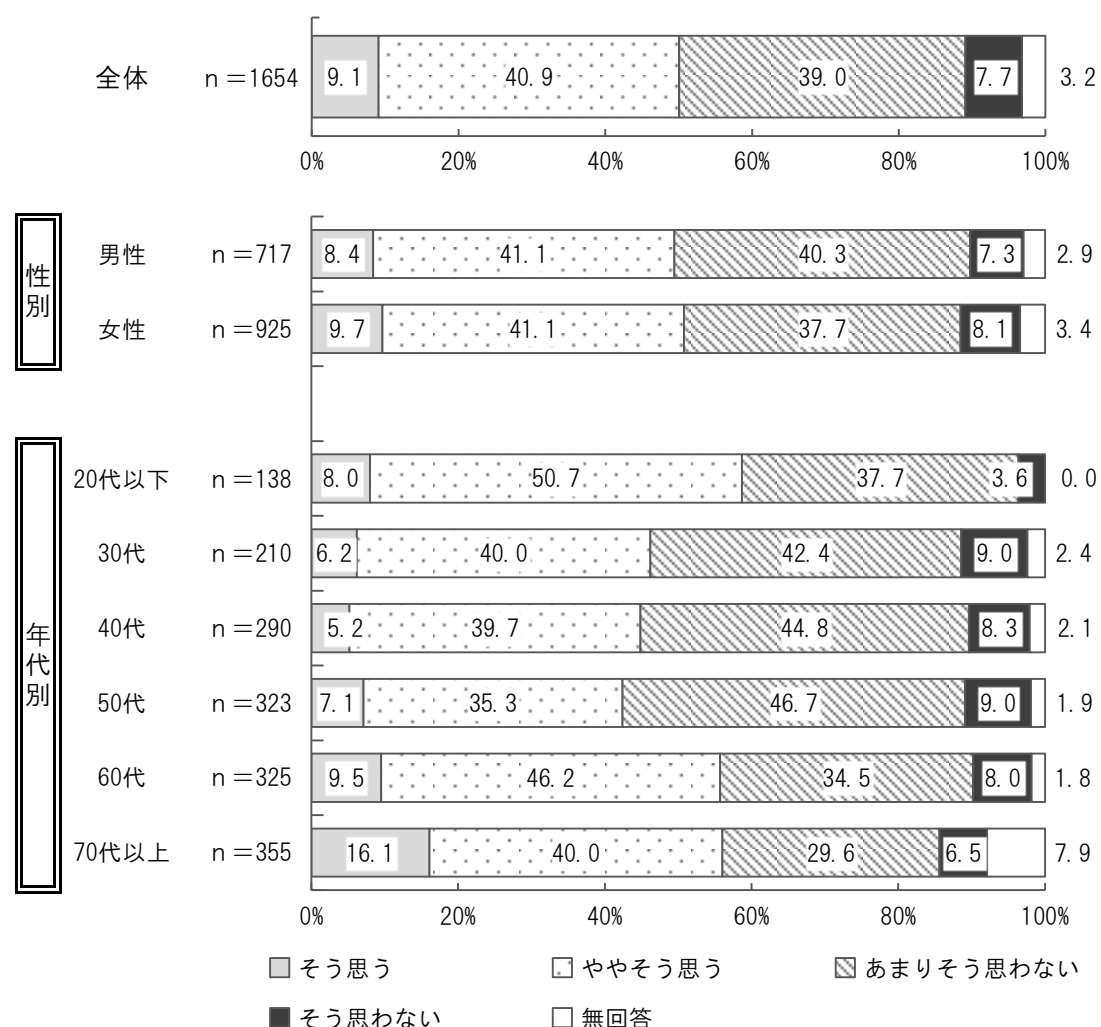


「富士市は、安心して子どもを産み育てる環境が充実していると思いますか」という間については、『そう思う』が59.7%、『そう思わない』が36.4%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、『そう思う』は、70代以上において67.3%と多くなっている。

7 富士市では、介護が必要な状態になったとしても、適切な公的サービスを受けることができると思いますか。

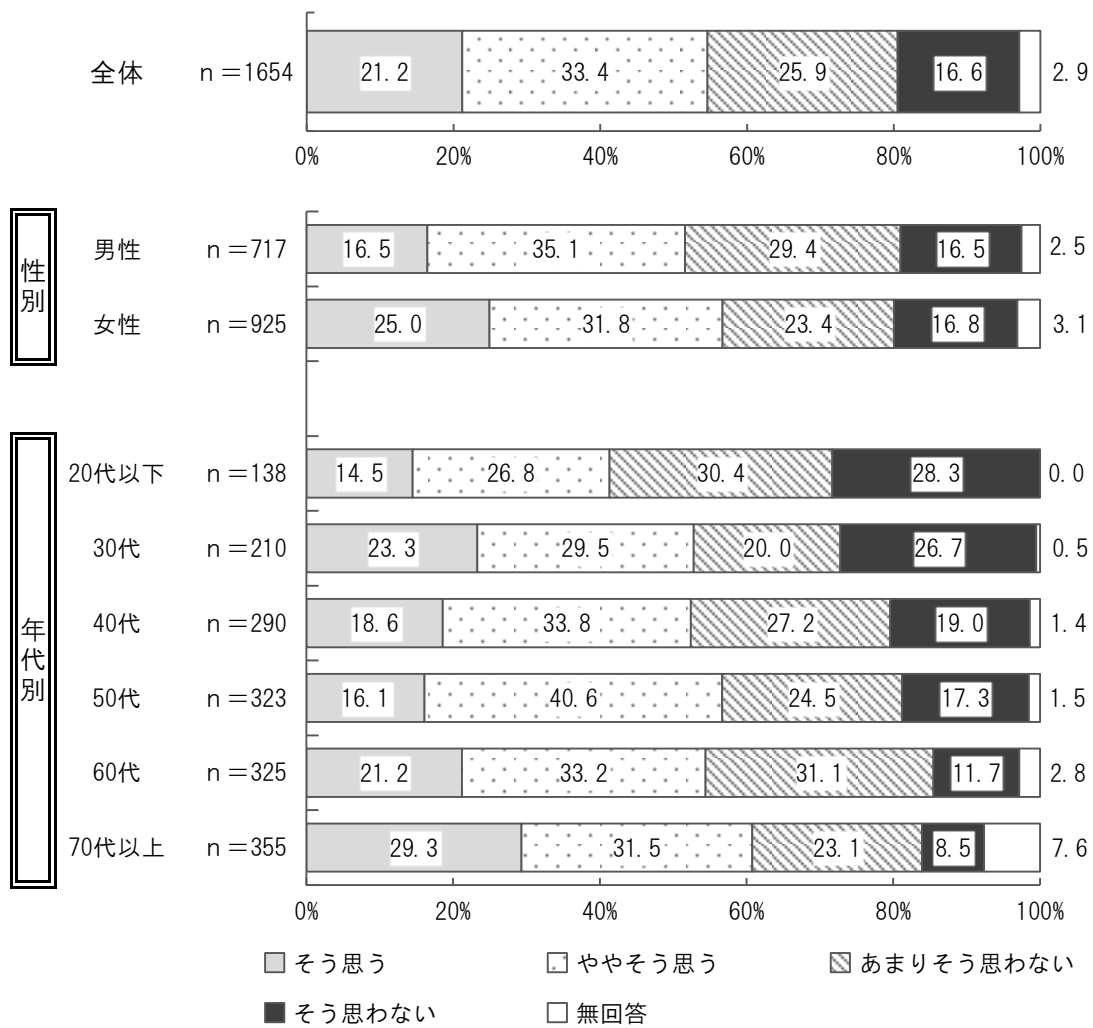


「富士市では、介護が必要な状態になったとしても、適切な公的サービスを受けることができると思いますか」という問については、『そう思う』が50.0%、『そう思わない』が46.7%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上において「そう思う」が16.1%と多くなっている。

8 あなたには、困ったときに相談できる近所の人がありますか。



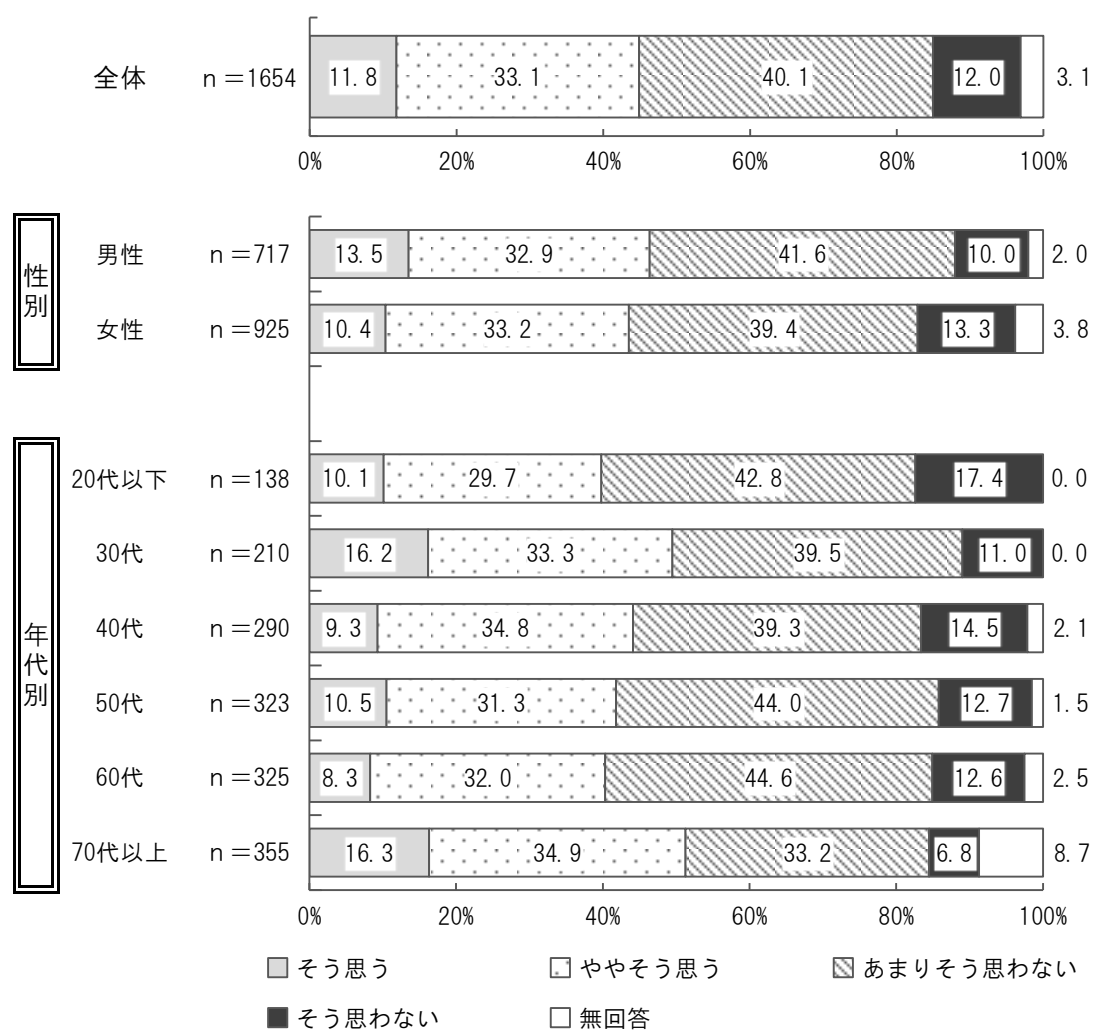
「あなたには、困ったときに相談できる近所の人がありますか」という問については、『そう思う』が54.6%、『そう思わない』が42.5%となっている。

性別で見ると、男性において「あまりそう思わない」が29.4%と多くなっている。女性においては「そう思う」が25.0%と多くなっている。また『そう思わない』は、男性において45.9%と多くなっている。

年代別で見ると、『そう思う』は、70代以上において60.8%と多く、20代以下が41.3%と少なくなっている。

【第3章 産業】産業が交流するにぎわいのまち

9 富士市内には、知人を案内し自慢したい場所があると思いますか。

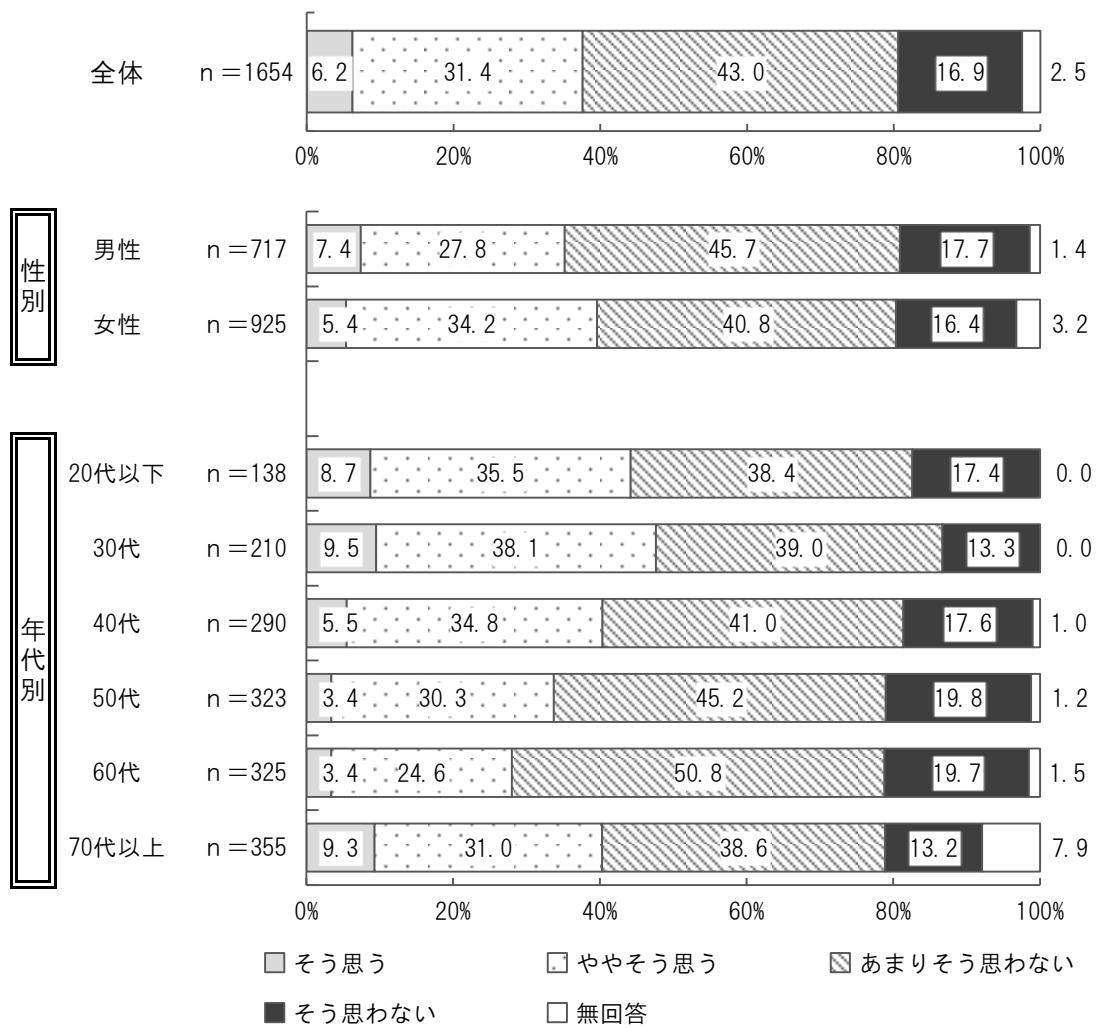


「富士市内には、知人を案内し自慢したい場所があると思いますか」という問については、『そう思う』が44.9%、『そう思わない』が52.1%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、『そう思う』は、30代と70代以上において5割程度と多くなっている。

10 富士市は、活気がある工業都市だと思いますか。

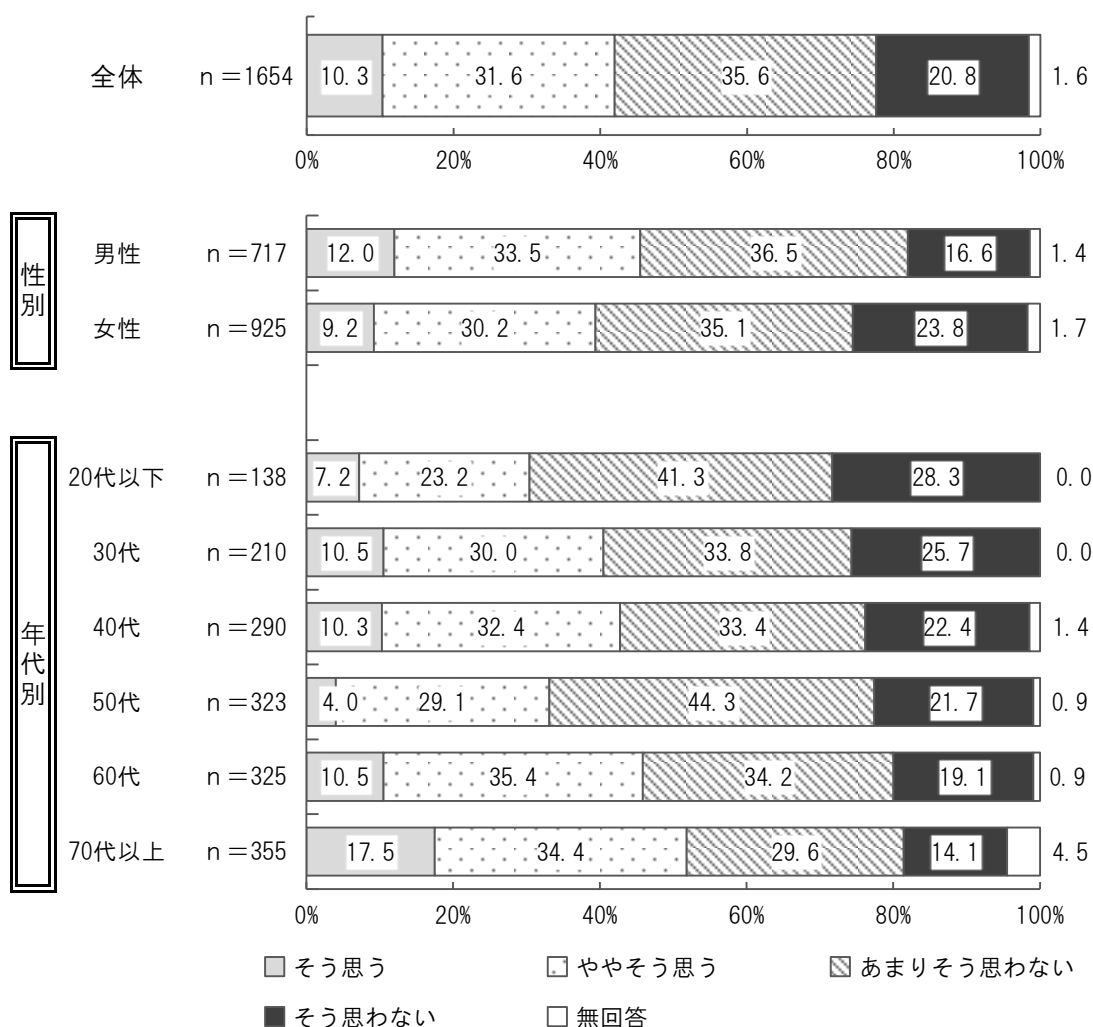


「富士市は、活気がある工業都市だと思いますか」という問については、『そう思う』が37.6%、『そう思わない』が59.9%となっている。

性別で見ると、『そう思わない』は、男性において63.4%と多くなっている。

年代別で見ると、『そう思わない』は、60代において70.5%と多くなっている。

11 あなたは、富士市内にあるお店での買い物で満足できると感じていますか。

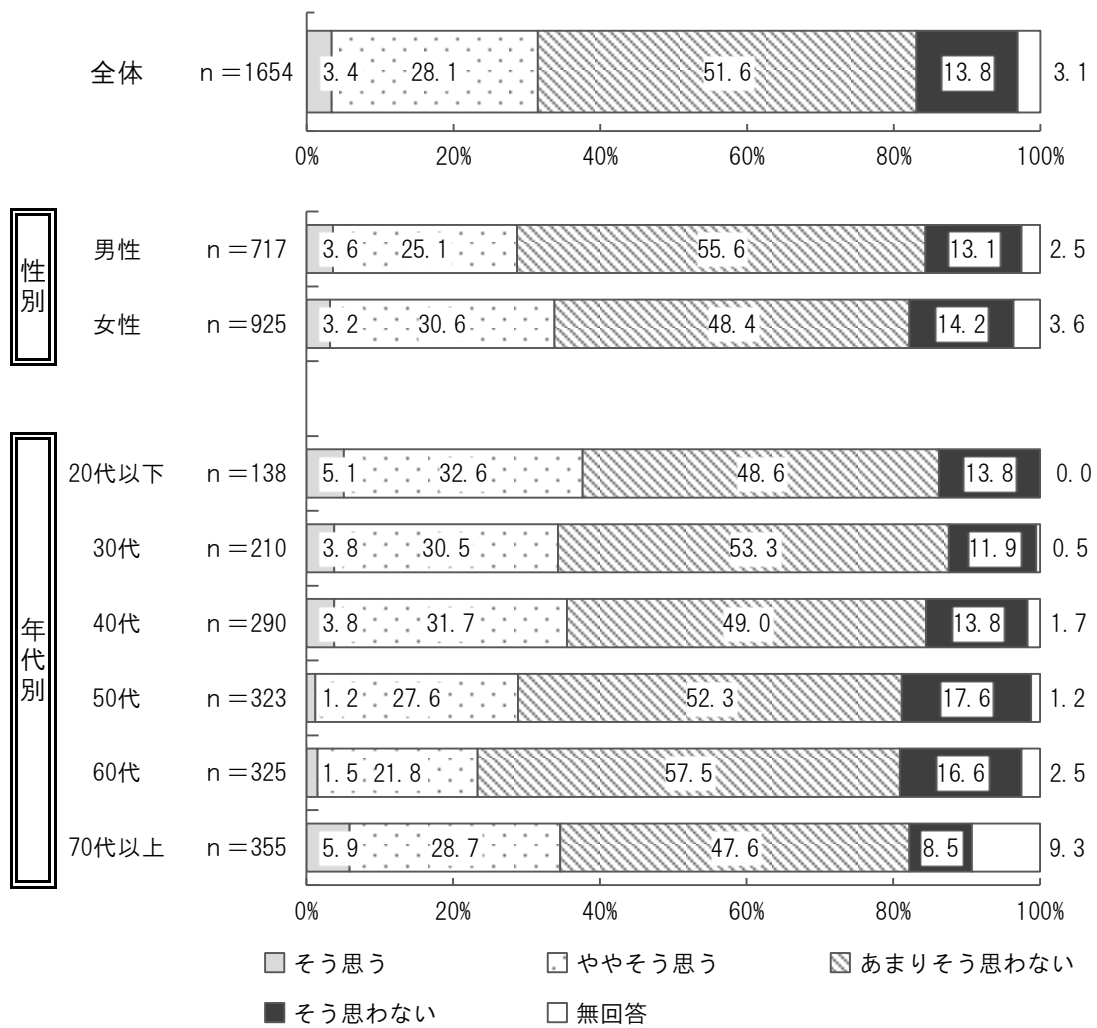


「あなたは、富士市内にあるお店での買い物で満足できると感じていますか」という間については、『そう思う』が41.9%、『そう思わない』が56.4%となっている。

性別でみると、女性において「そう思わない」が23.8%と多くなっている。また『そう思う』は、男性において45.5%と多くなっている。

年代別でみると、70代以上において「そう思う」が17.5%と多くなっている。また『そう思う』は、20代以下と50代において3割程度と少なくなっているほか、年代が低くなるほど、「そう思わない」と回答する割合が多くなっている。

12 富士市は、農林水産業に親しむ機会や環境が整っていると思いますか。

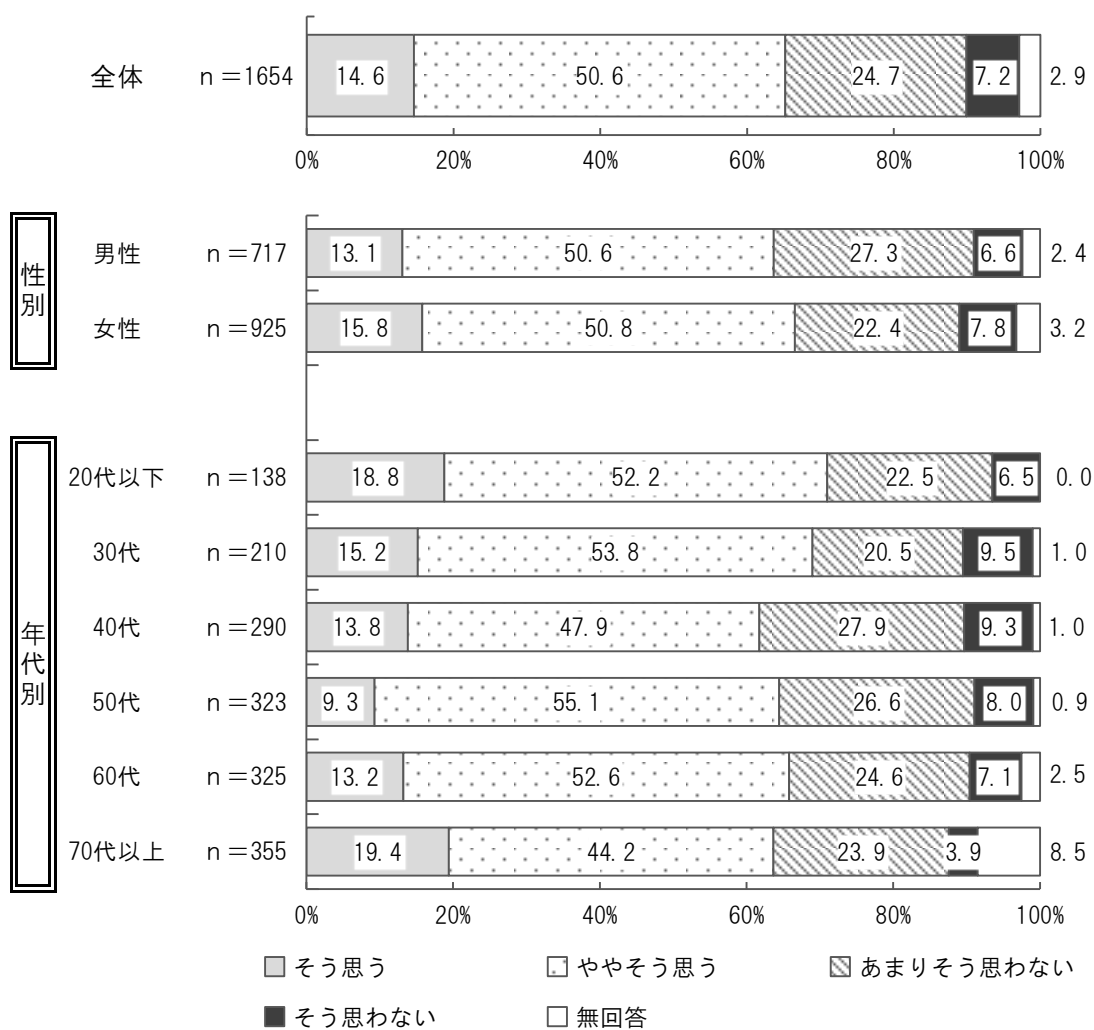


「富士市は、農林水産業に親しむ機会や環境が整っていると思いますか」という問については、『そう思う』が31.5%、『そう思わない』が65.4%となっている。

性別で見ると、『そう思う』は、女性において33.8%と多くなっている。

年代別で見ると、『そう思う』は、60代において23.3%と少なくなっている。

13 あなたご自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか。

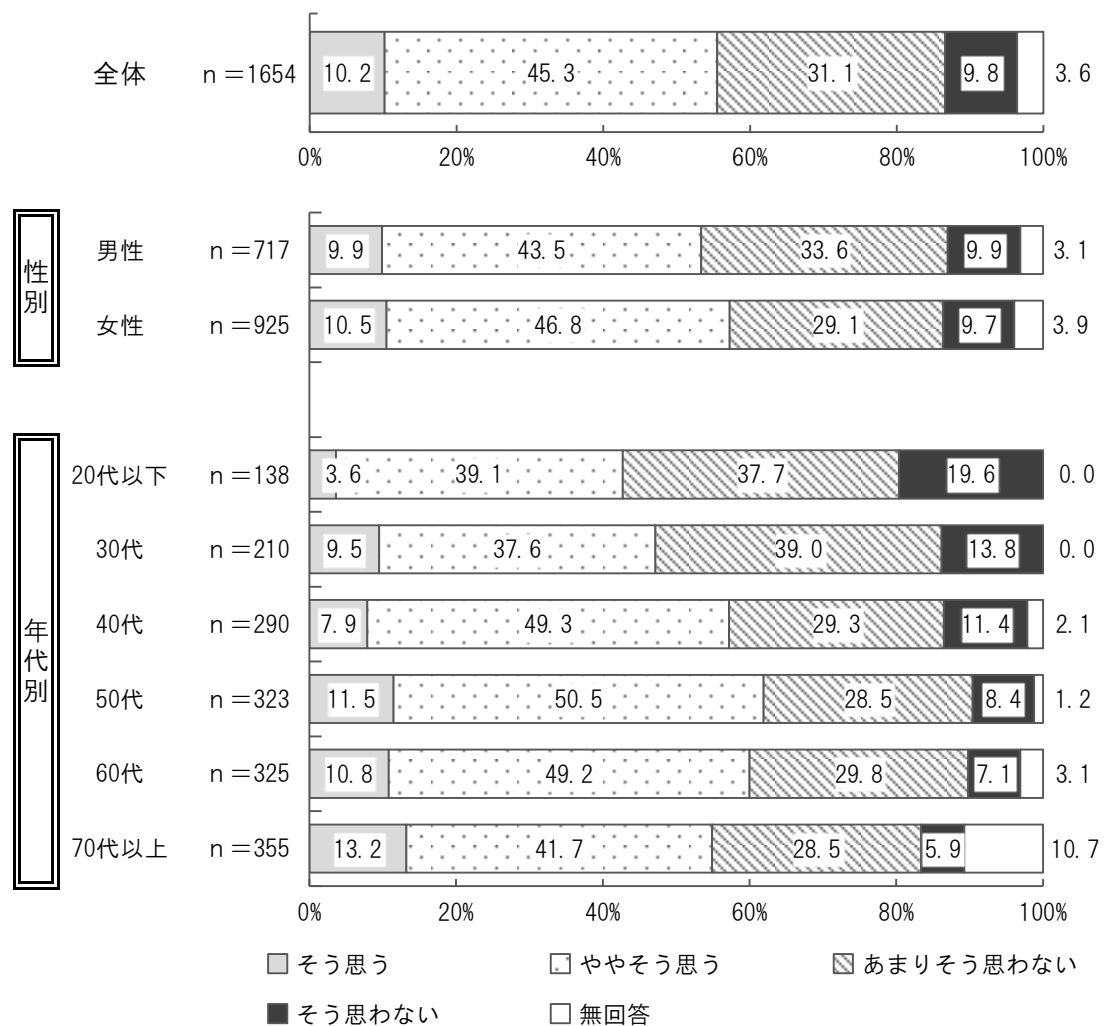


「あなたご自身、またはあなたの家族は、仕事と生活の調和が取れていると思いますか」という問については、『そう思う』が65.2%、『そう思わない』が31.9%となっている。

性別でみても、年代別でみても、大きな差異はみられない。

【第4章 環境】人と自然が共生し環境負荷の少ないまち

14 あなたは、地球温暖化防止のために何らかの取り組みをしていますか。

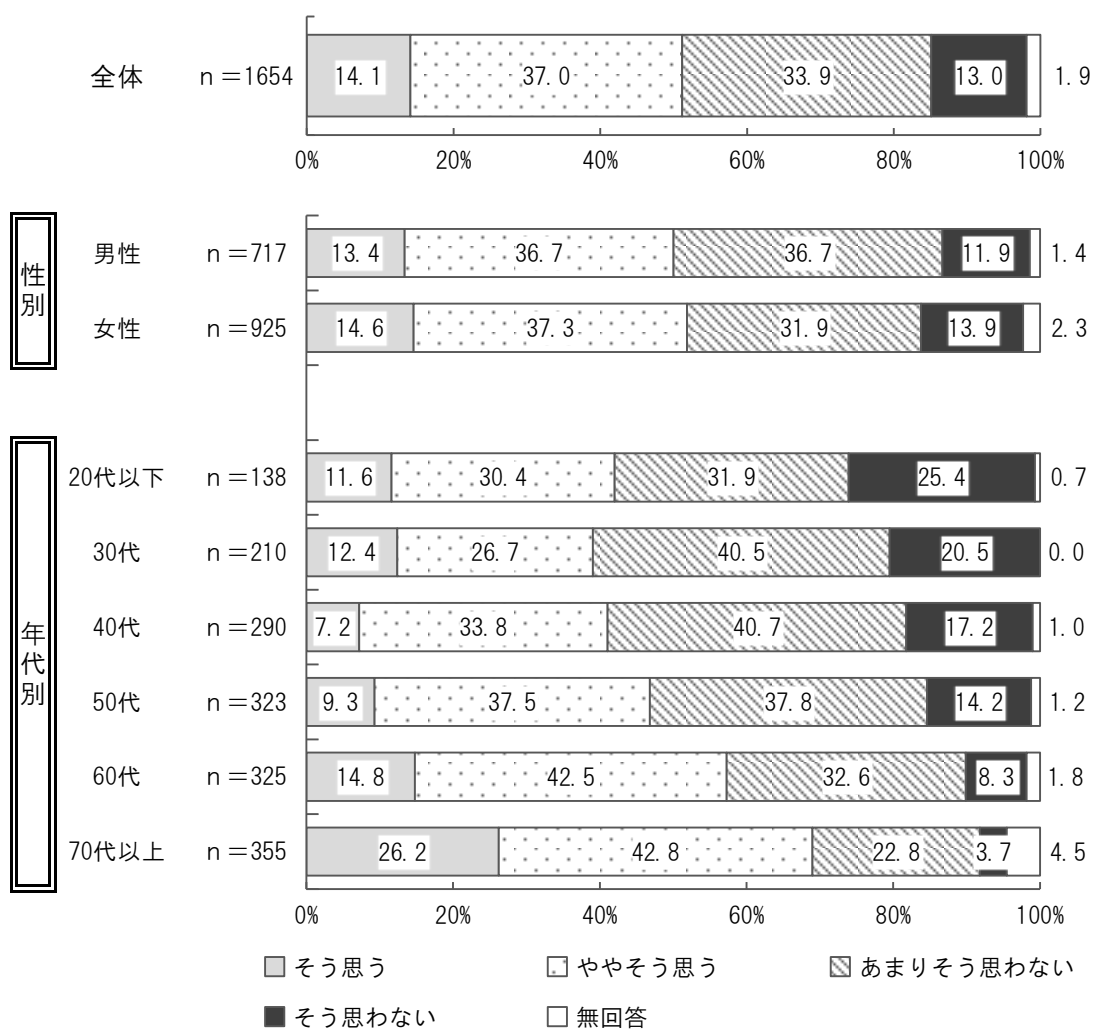


「あなたは、地球温暖化防止のために何らかの取り組みをしていますか」という問については、『そう思う』が55.5%、『そう思わない』が40.9%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、20代以下において「そう思わない」が19.6%と多くなっている。

15 富士市は、空気がきれいで自然が豊かだと思いますか。

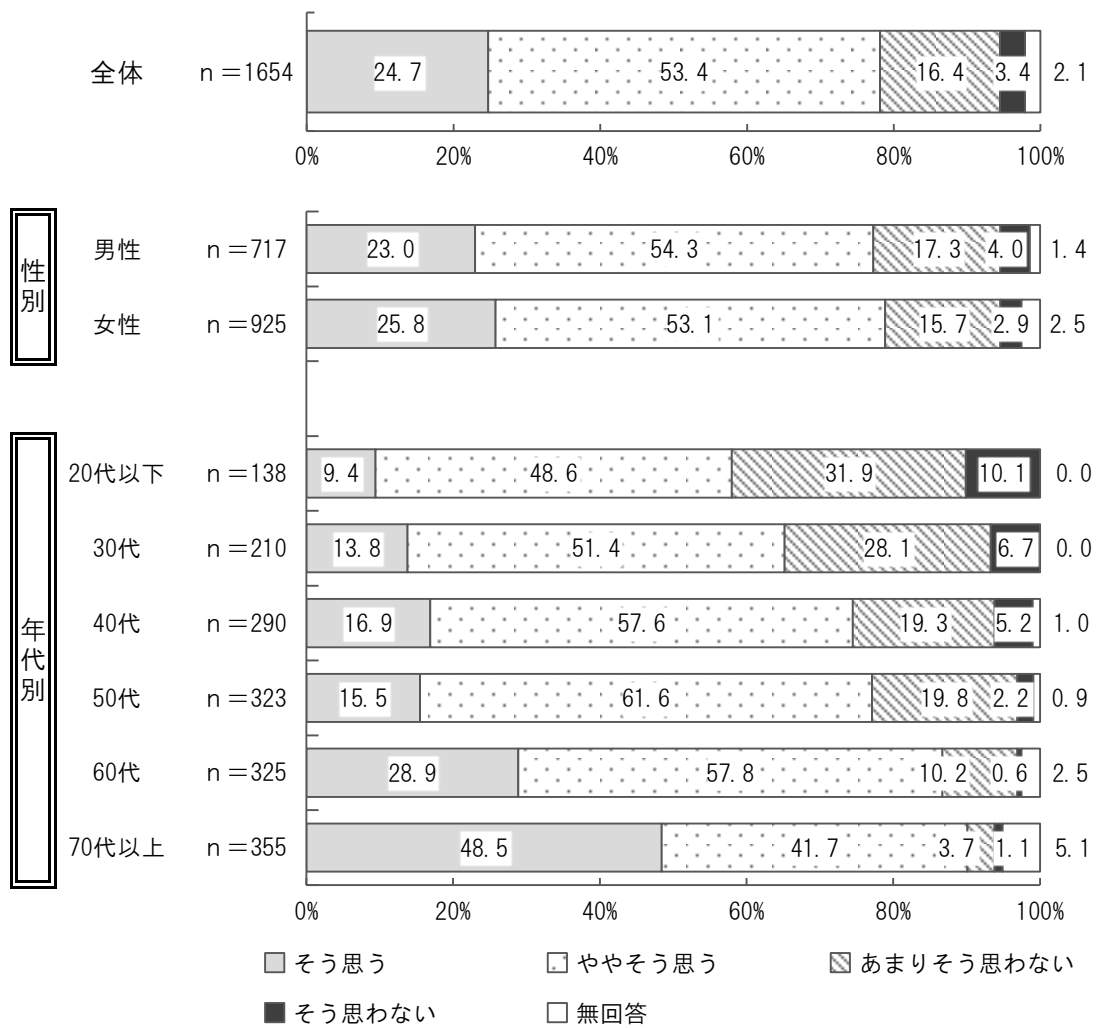


「富士市は、空気がきれいで自然が豊かだと思いますか」という問については、『そう思う』が51.1%、『そう思わない』が46.9%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上において「そう思う」が26.2%と多くなっている。また『そう思う』は、70代以上において69.0%と多くなっている。

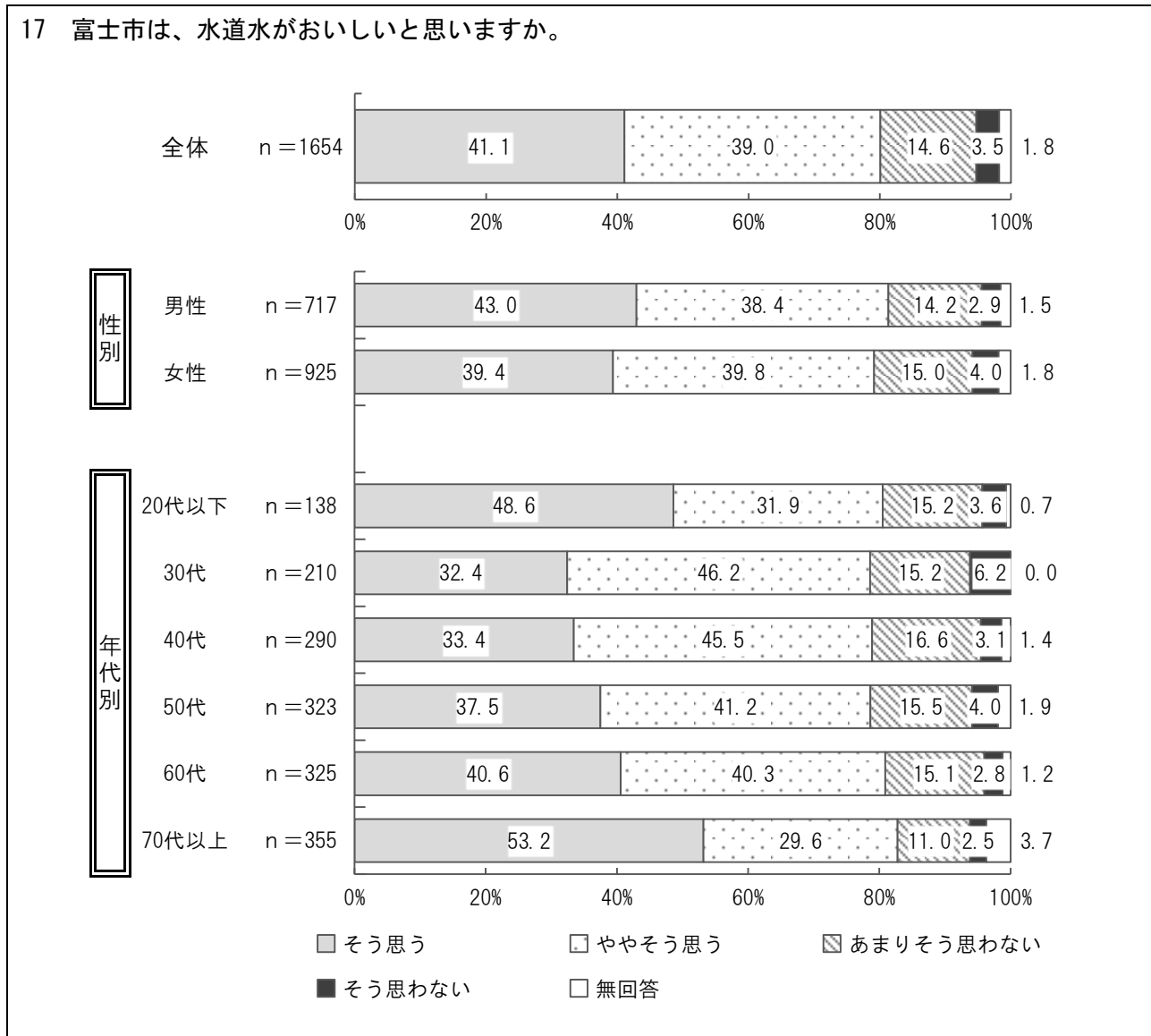
16 あなたは、できるだけごみを出さないようにしていますか。



「あなたは、できるだけごみを出さないようにしていますか」という問については、『そう思う』が78.1%、『そう思わない』が19.8%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上において「そう思う」が48.5%と多くなっている。また『そう思わない』は、20代以下において42.0%と多くなっている。



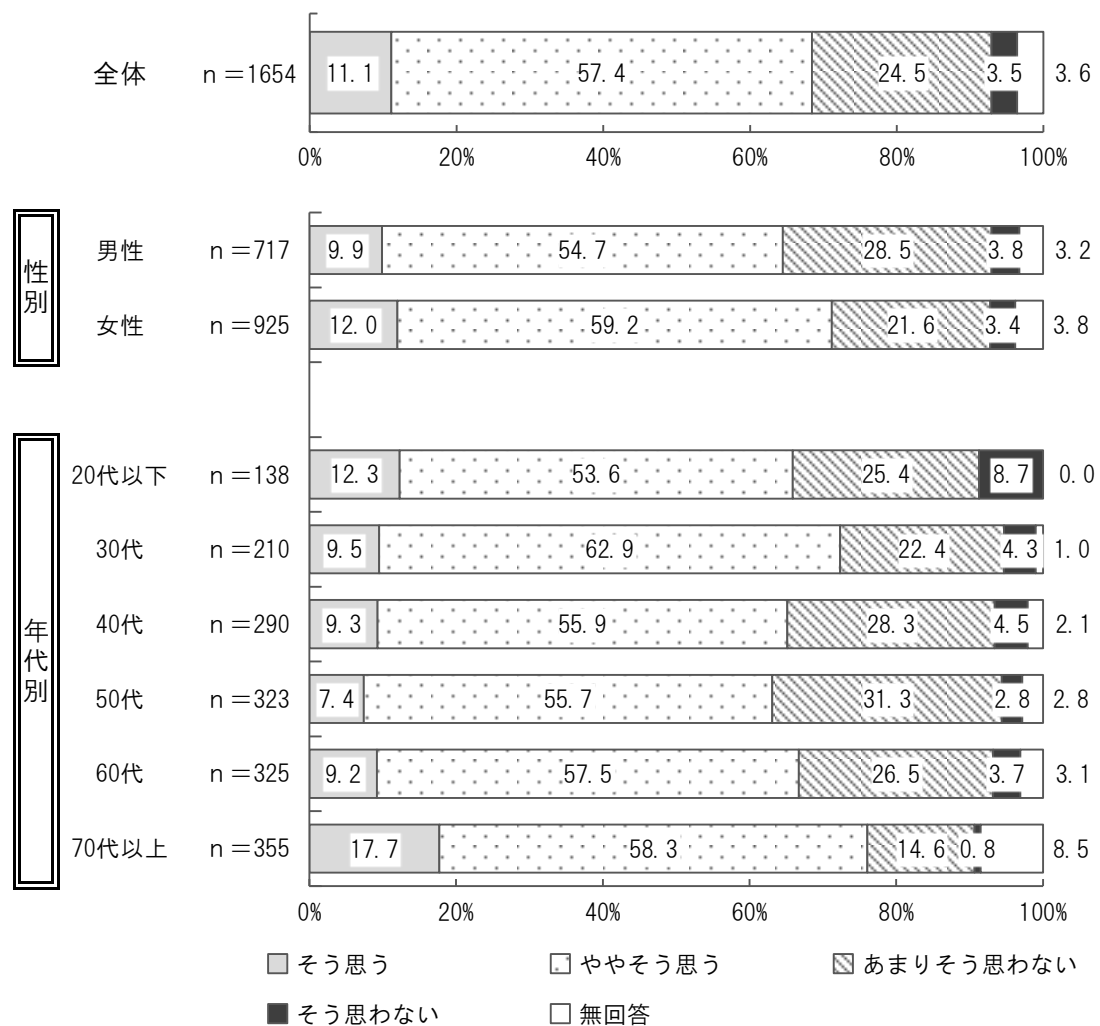
「富士市は、水道水がおいしいと思いますか」という問については、『そう思う』が80.1%、『そう思わない』が18.1%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、「そう思う」は20代以下と70代以上が5割程度と多くなっている。

【第5章 教育・文化】魅力ある教育を実現するまち

18 富士市では、次代を担う子どもたちが健やかに成長していると思いますか。

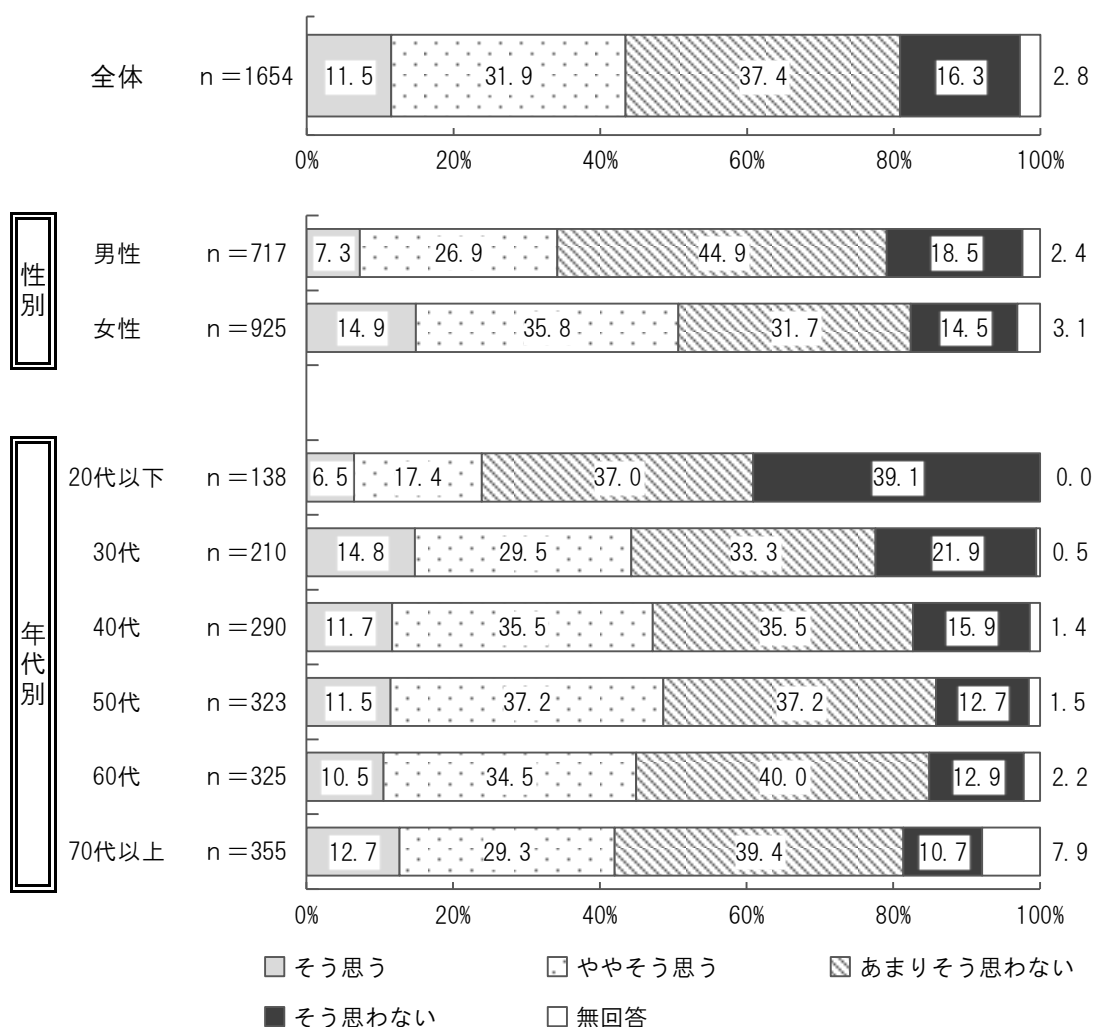


「富士市では、次代を担う子どもたちが健やかに成長していると思いますか」という間については、『そう思う』が68.5%、『そう思わない』が28.0%となっている。

性別で見ると、『そう思わない』は、男性において32.3%と多くなっている。

年代別で見ると、70代以上において「そう思う」が17.7%と多くなっている。

19 あなたは、富士市民大学やまちづくりセンター講座などを受講してみたいと思いますか。

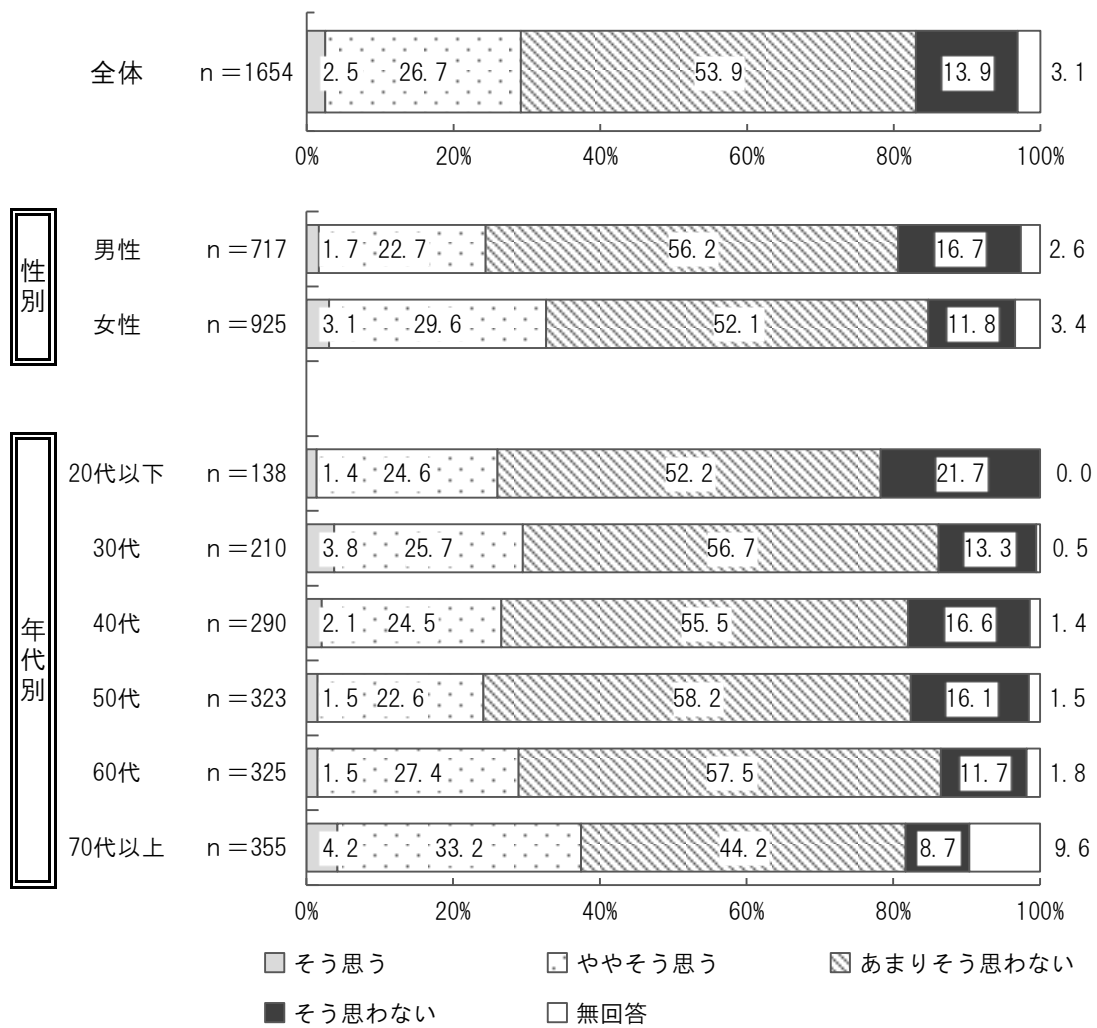


「あなたは、富士市民大学やまちづくりセンター講座などを受講してみたいと思いますか」という問については、『そう思う』が43.4%、『そう思わない』が53.7%となっている。

性別で見ると、女性において「そう思う」が14.9%と多くなっている。また『そう思わない』は男性において63.4%と多くなっている。

年代別で見ると、20代以下において「そう思わない」が39.1%と多くなっている。また『そう思わない』は、20代以下において76.1%を占めている。

20 富士市は、芸術文化に親しむ機会が充実していると思いますか。

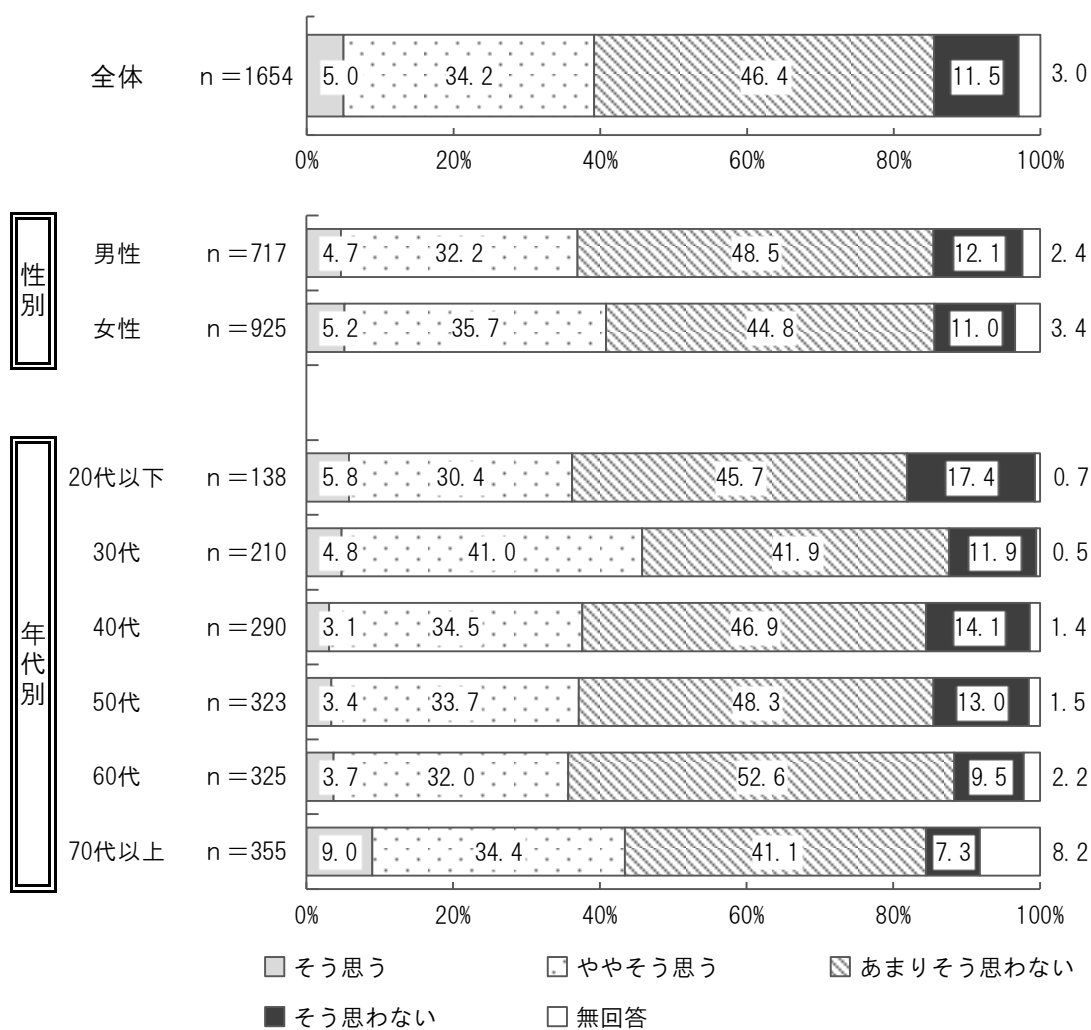


「富士市は、芸術文化に親しむ機会が充実していると思いますか」という問については、『そう思う』が29.2%、『そう思わない』が67.8%となっている。

性別でみると『そう思う』は、女性において32.7%と多くなっている。また『そう思わない』は、男性において72.9%と多くなっている。

年代別でみると、20代以下において「そう思わない」が21.7%と多くなっている。

21 富士市は、いつでも誰でもスポーツに親しむ環境が整っていると思いますか。



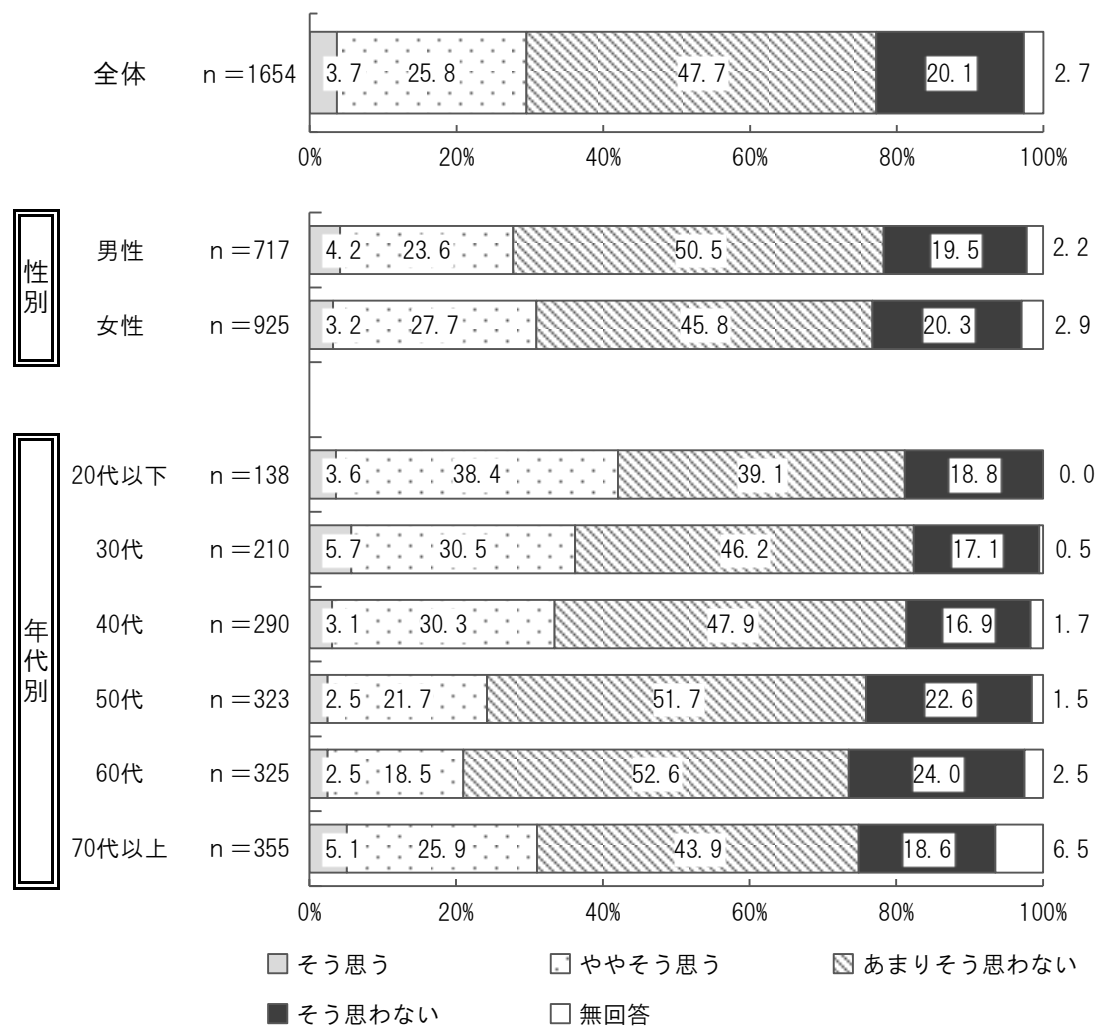
「富士市は、いつでも誰でもスポーツに親しむ環境が整っていると思いますか」という問については、『そう思う』が39.2%、『そう思わない』が57.9%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、『そう思う』は、30代と70代以上において4割を超えて多くなっている。

【第6章 都市基盤】人にやさしい便利で快適なまち

22 富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていますか。

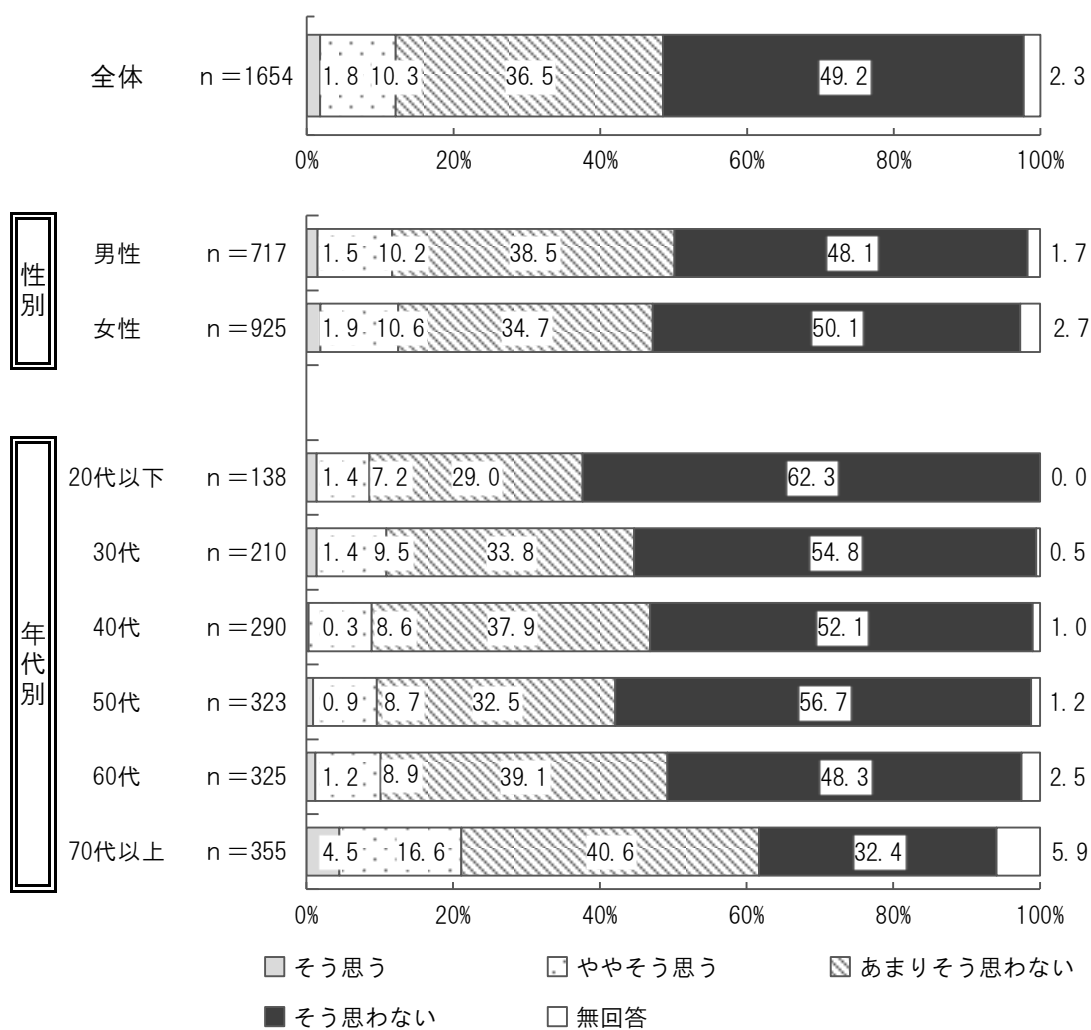


「富士市は、まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていますか」という問については、『そう思う』が29.5%、『そう思わない』が67.8%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、『そう思う』は、20代以下において42.0%と多く、50代と60代において2割程度と少なくなっている。

23 富士市は、自動車に依存することなく、快適な移動環境が整備されていると思いますか。

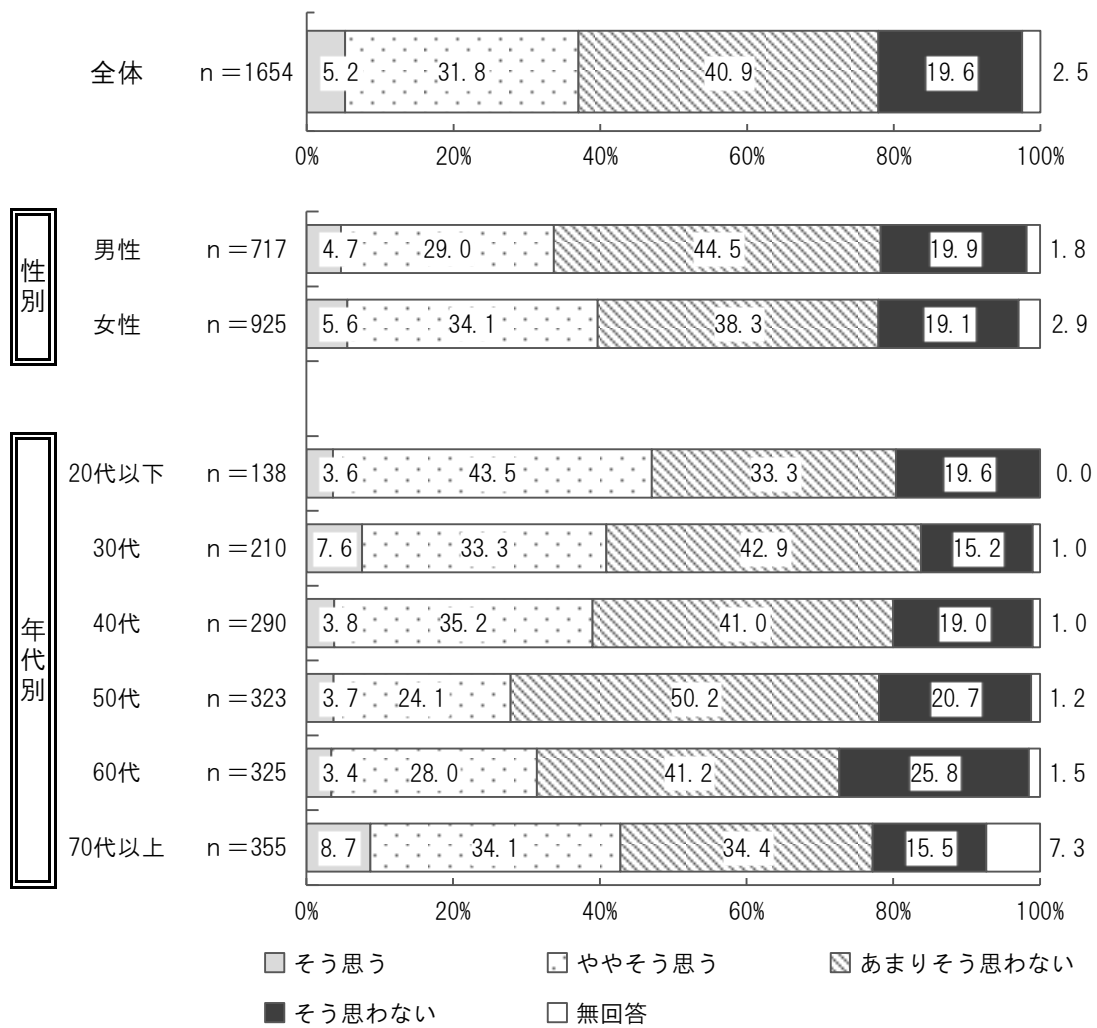


「富士市は、自動車に依存することなく、快適な移動環境が整備されていると思いますか」という問については、『そう思う』が12.1%、『そう思わない』が85.7%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、20代以下において「そう思わない」が62.3%と多くなっている。また『そう思う』は、70代以上において21.1%と多くなっている。

24 富士市は、富士山の景観を生かした美しい都市づくりができていると思いますか。



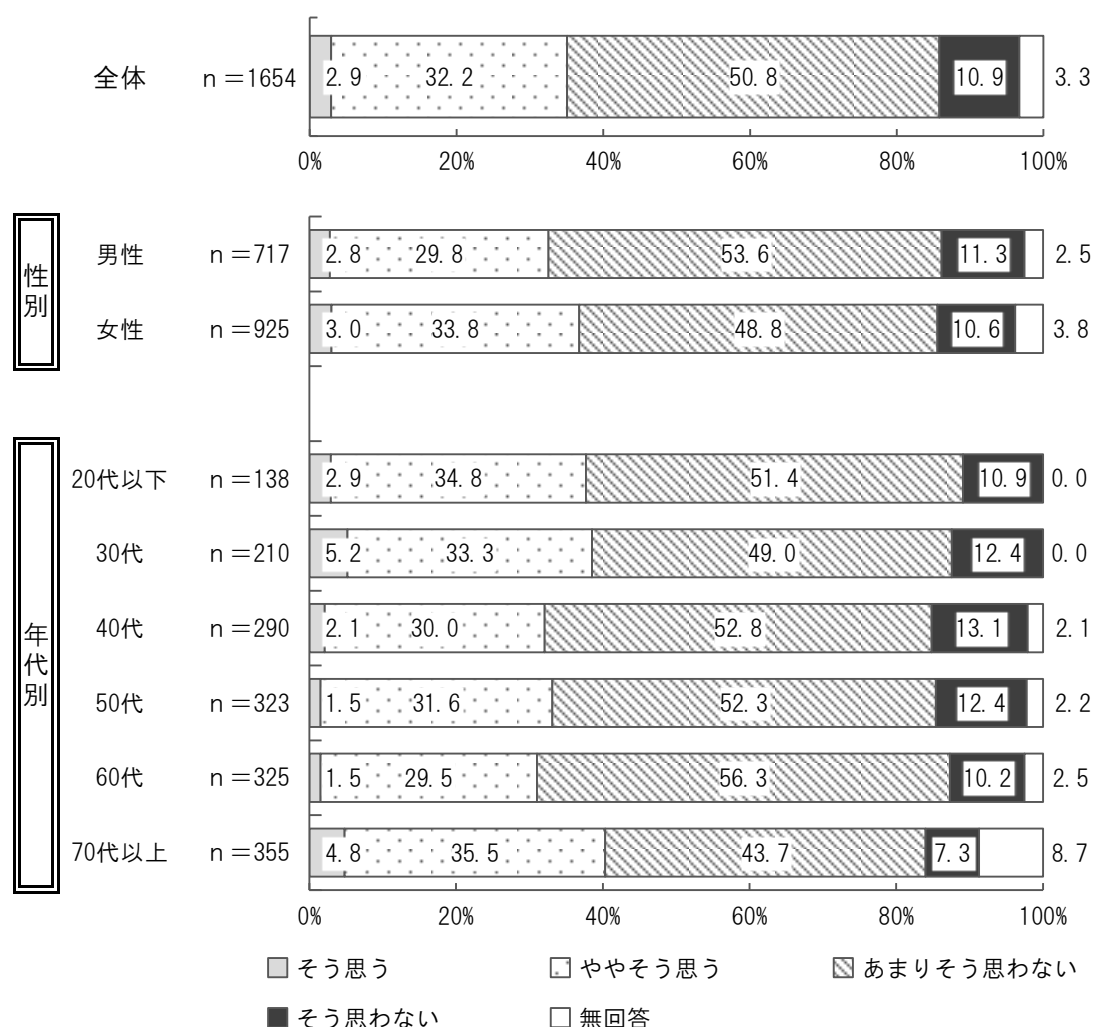
「富士市は、富士山の景観を生かした美しい都市づくりができていると思いますか」という問については、『そう思う』が37.0%、『そう思わない』が60.5%となっている。

性別で見ると、『そう思わない』は、男性において64.4%と多くなっている。

年代別で見ると、60代において「そう思わない」が25.8%と多くなっている。また『そう思う』は、50代と60代において3割前後と少なくなっている。

【第7章 都市経営】市民と創る新たなまち

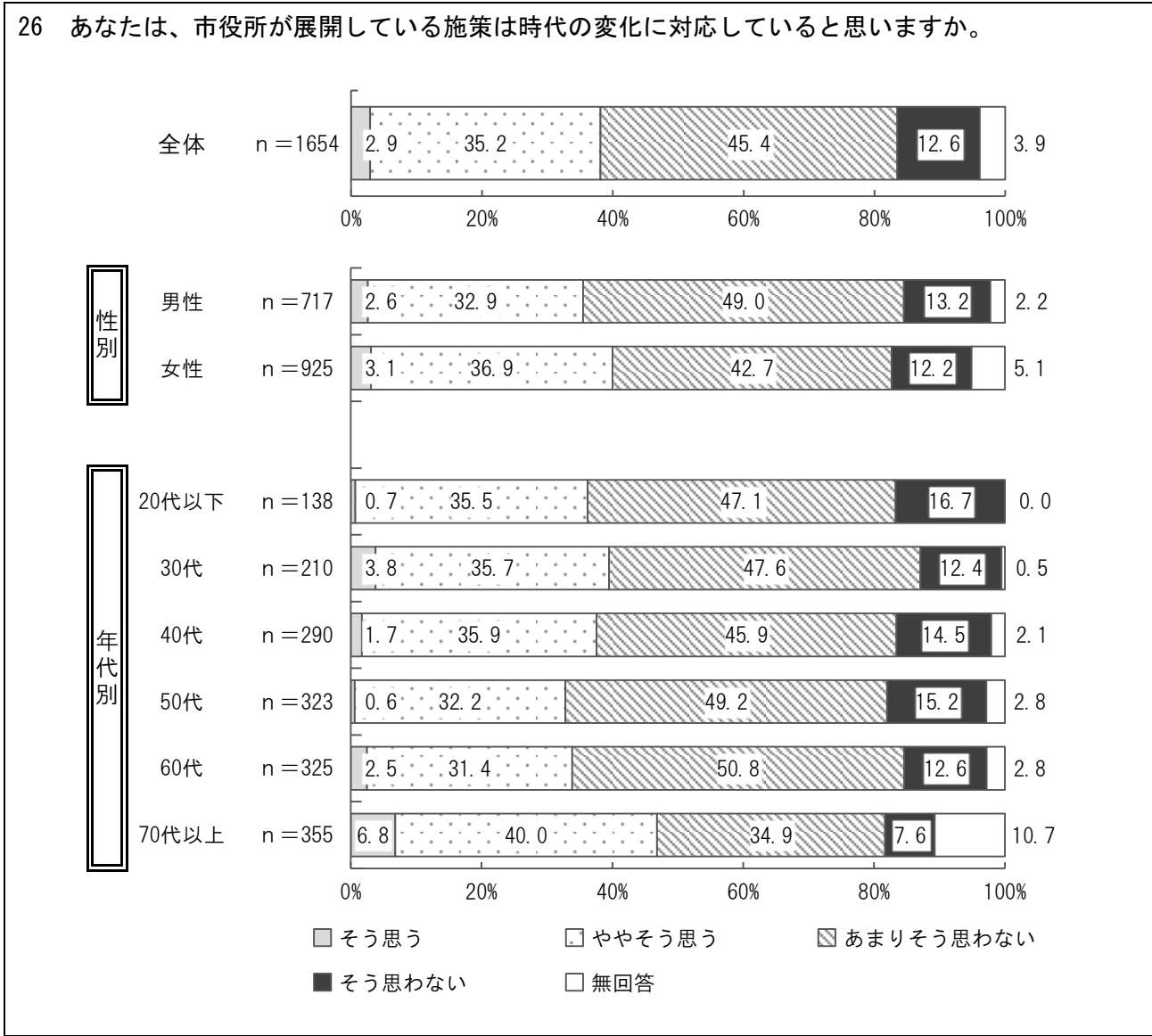
25 あなたは、富士市のまちづくりは市民が参加して進められていると思いますか。



「あなたは、富士市のまちづくりは市民が参加して進められていると思いますか」という問については、『そう思う』が35.1%、『そう思わない』が61.7%となっている。

性別で見ると、『そう思わない』は男性において64.9%と多くなっている。

年代別で見ると、『そう思う』は、40～60代において3割程度とやや少なくなっている。

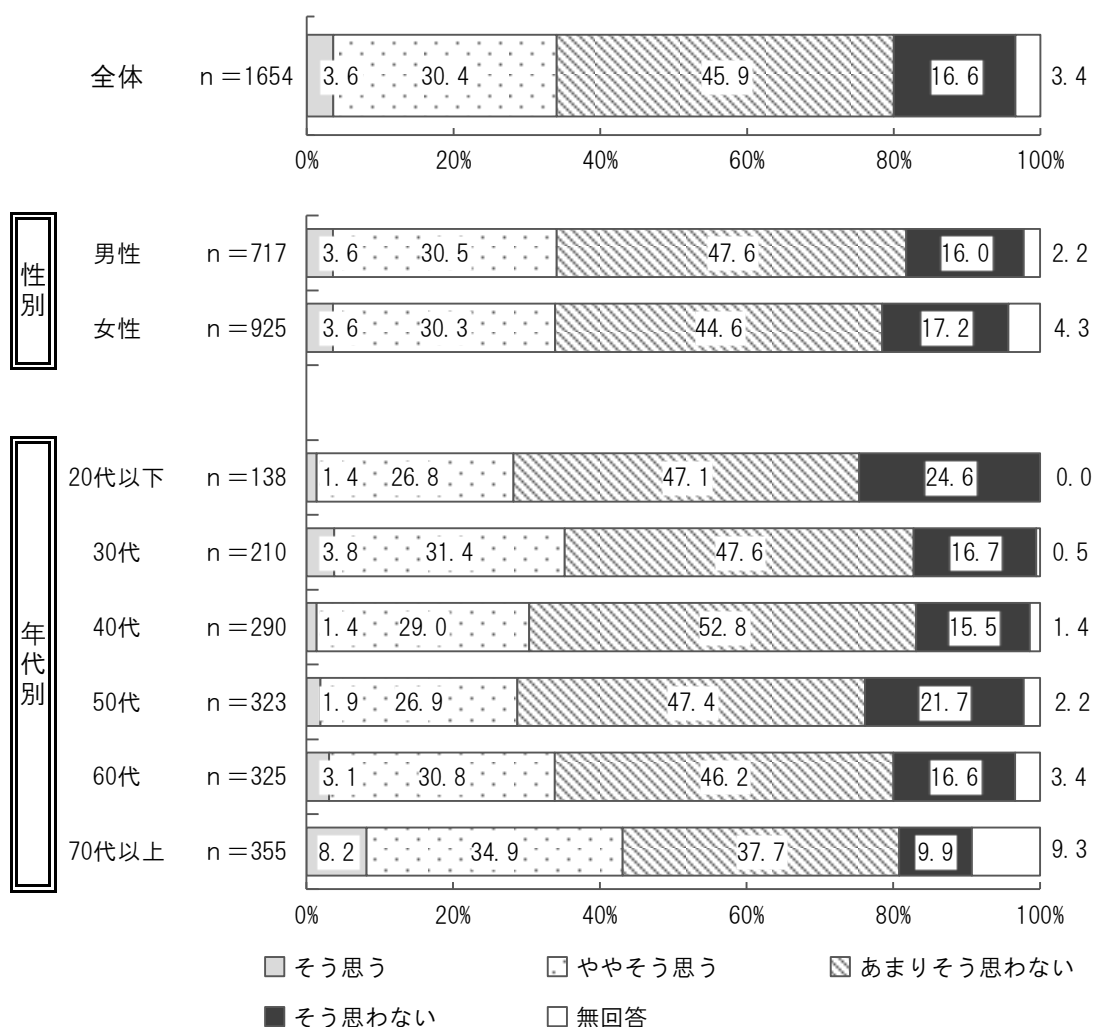


「あなたは、市役所が展開している施策は時代の変化に対応していると思いますか」という問いについては、『そう思う』が38.1%、『そう思わない』が58.0%となっている。

性別で見ると、『そう思わない』は、男性において62.2%と多くなっている。

年代別で見ると、『そう思わない』は、70代以上を除く年代において6割程度を占めている。

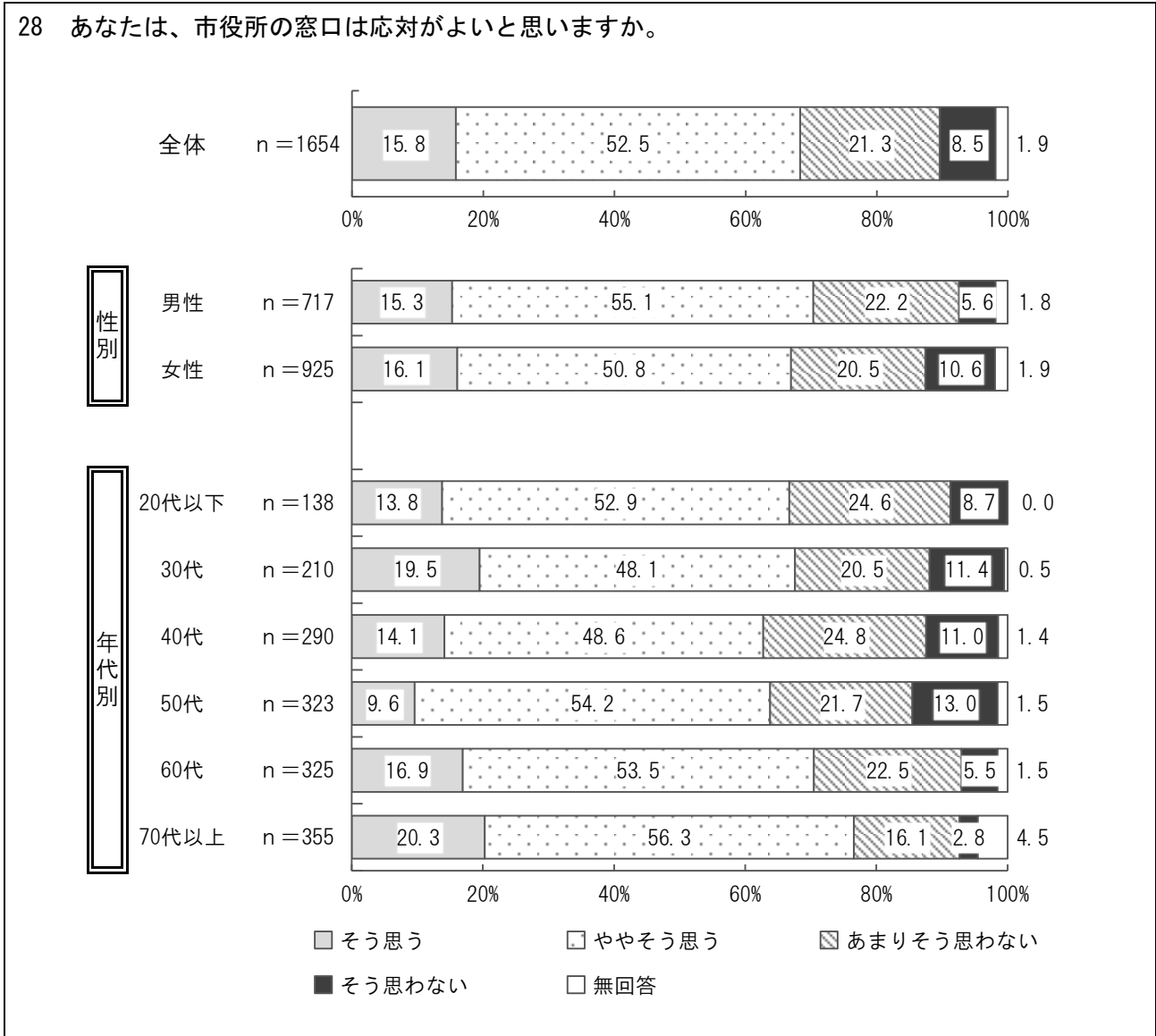
27 富士市では、納めた税金が有効に使われていると思いますか。



「富士市では、納めた税金が有効に使われていると思いますか」という問については、『そう思う』が34.0%、『そう思わない』が62.5%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上を除く年代において、『そう思わない』が『そう思う』を大きく上回っている。

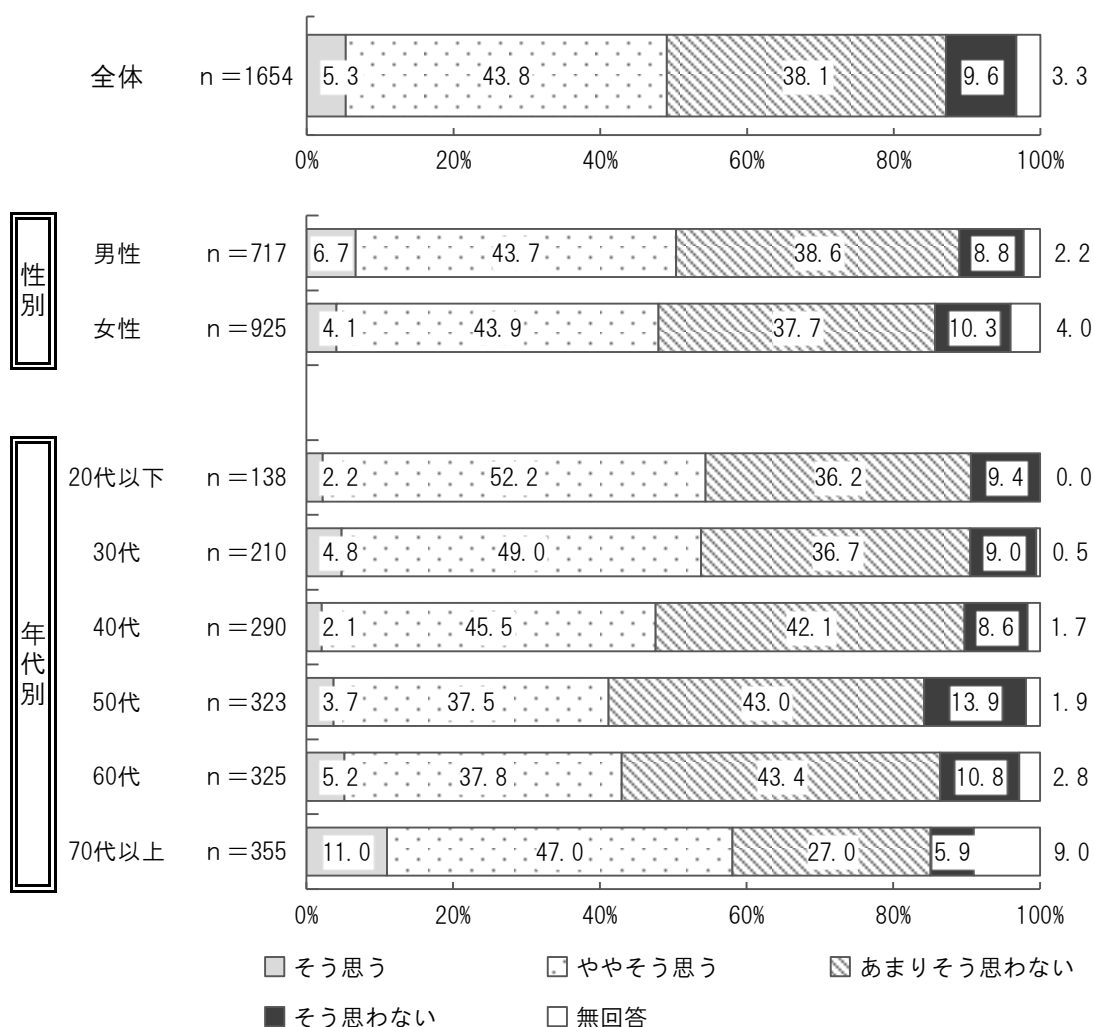


「あなたは、市役所の窓口は対応がよいと思いますか」という問については、『そう思う』が68.3%、『そう思わない』が29.8%となっている。

性別で見ると、女性において「そう思わない」が10.6%と多くなっている。

年代別で見ると、『そう思う』は70代以上において76.6%と多くなっている。

29 富士市は、市民に開かれた信頼ある市政運営がなされていると思いますか。



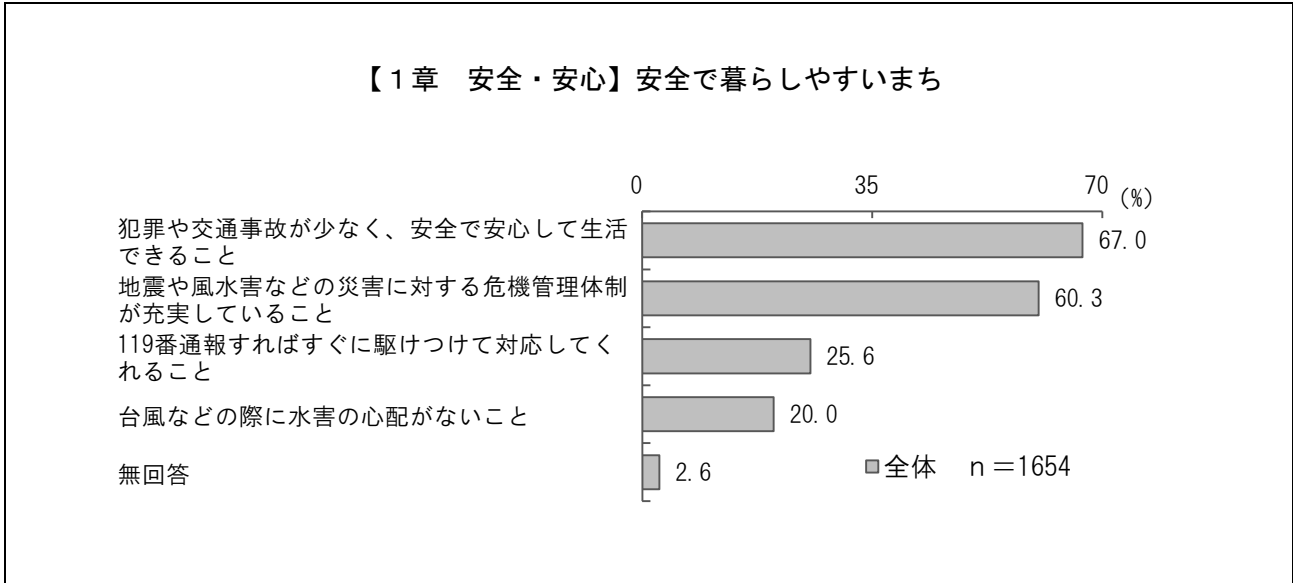
「富士市は、市民に開かれた信頼ある市政運営がなされていると思いますか」という問については、『そう思う』が49.1%、『そう思わない』が47.7%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると、70代以上において「そう思う」が11.0%と多くなっている。また『そう思う』は、50代と60代において4割程度と少なくなっている。

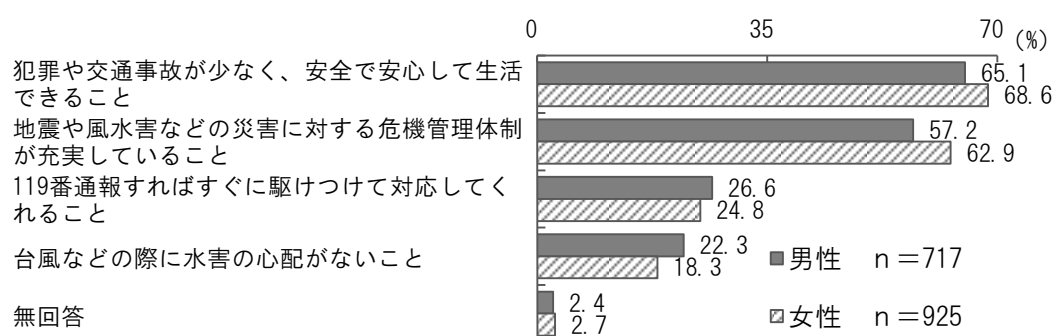
(6) 富士市が重点的に取り組むべき分野について

問8 第六次富士市総合計画の策定の参考とするため、引き続き富士市が重点的に取り組むべき分野について伺います。重要だと思ふ施策について、各設問につき2つ以内で○をつけてください。

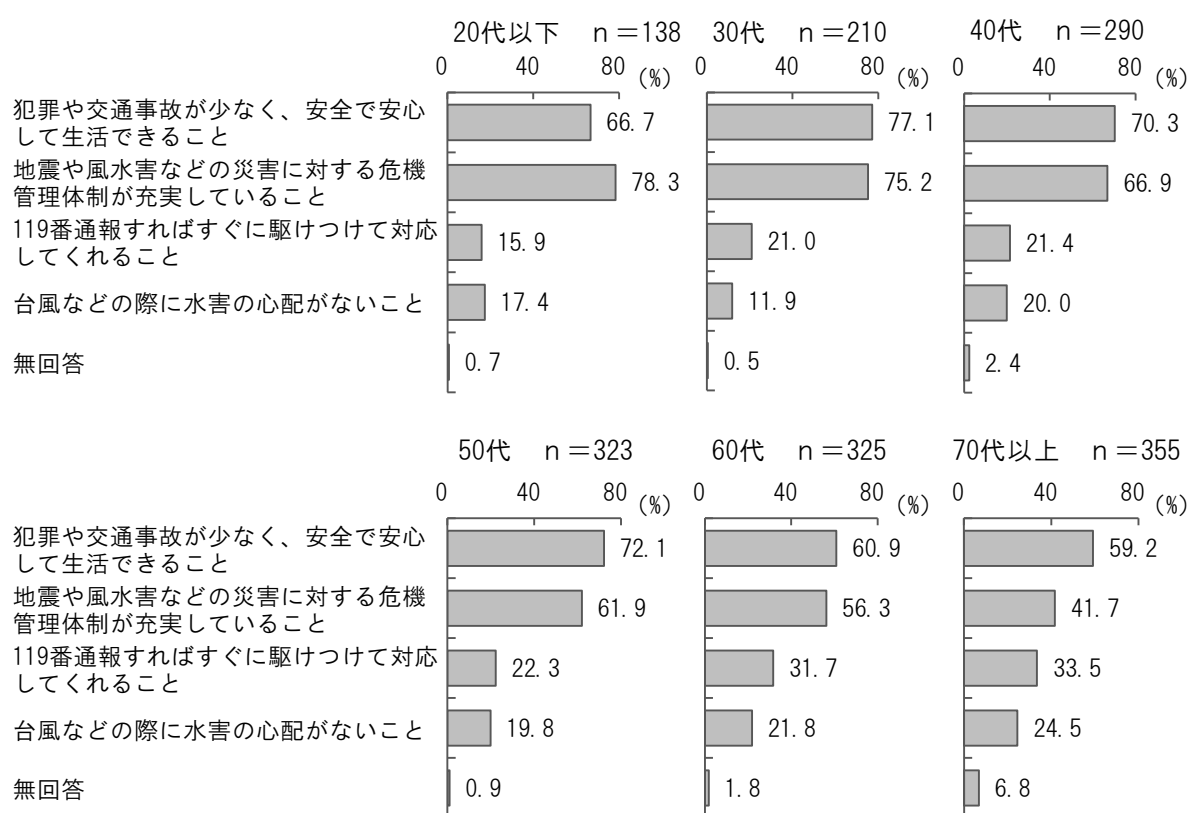


【1章 安全・安心】において重要だと思ふ施策は、「犯罪や交通事故が少なく、安全で安心して生活できること」が67.0%と最も多く、次いで「地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していること」が60.3%、「119番通報すればすぐに駆けつけて対応してくれること」が25.6%などとなっている。

<性別>



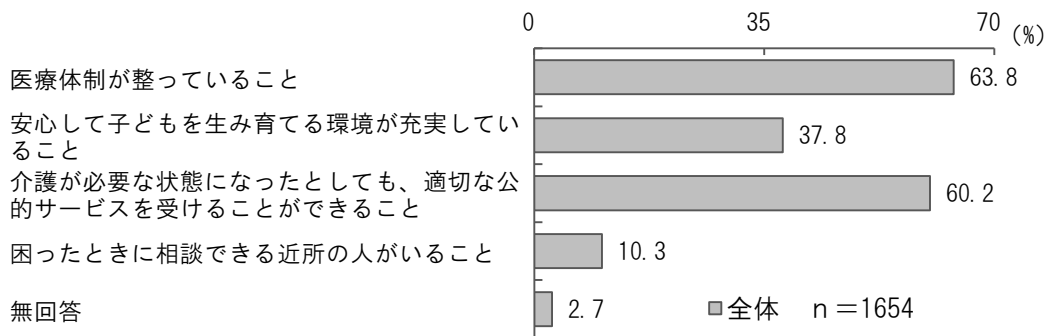
<年代別>



性別で見ると、女性において「地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していること」が62.9%と多くなっている。

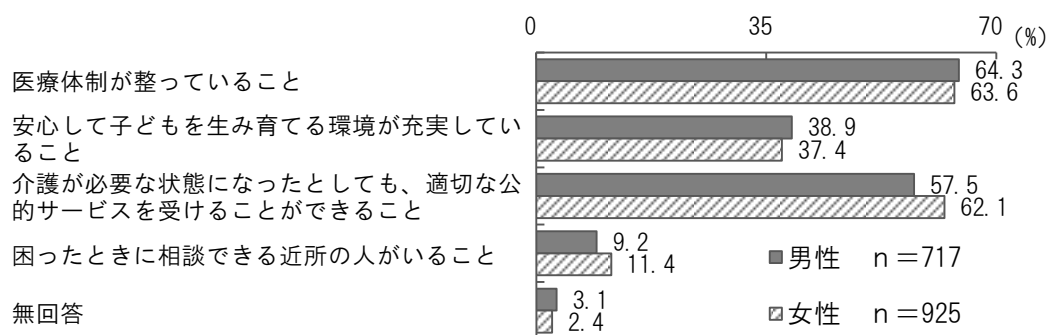
年代別で見ると、30代において「犯罪や交通事故が少なく、安全で安心して生活できること」が77.1%と多く、「台風などの際に水害の心配がないこと」が11.9%と少なくなっている。20代以下においては「119番通報すればすぐに駆けつけて対応してくれること」が15.9%と少なくなっている。70代以上においては「地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していること」が41.7%と少なくなっている。また、年代が低くなるほど、「地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していること」と回答する割合が多くなっている。

【2章 健康・福祉】健やかに安心して暮らせるまち

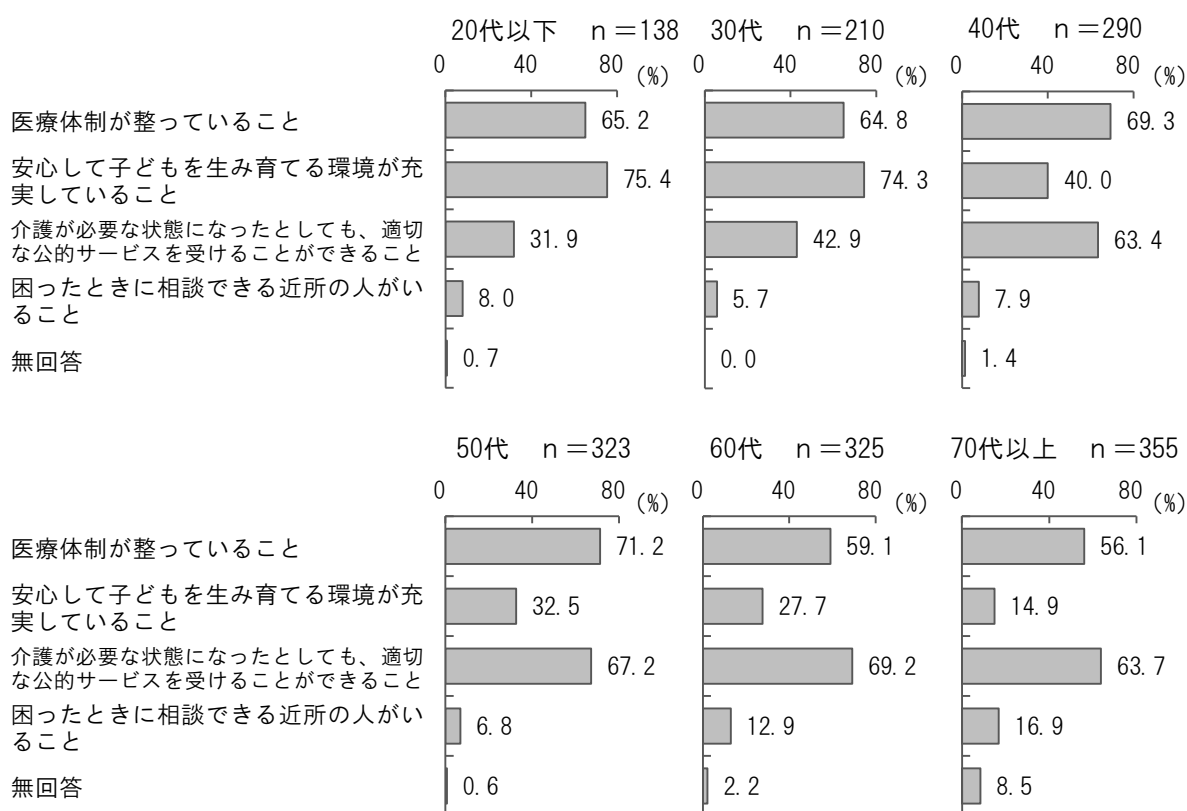


【2章 健康・福祉】において重要だと思える施策は、「医療体制が整っていること」が63.8%と最も多く、次いで「介護が必要な状態になったとしても、適切な公的サービスを受けることができること」が60.2%、「安心して子どもを産み育てる環境が充実していること」が37.8%などとなっている。

<性別>



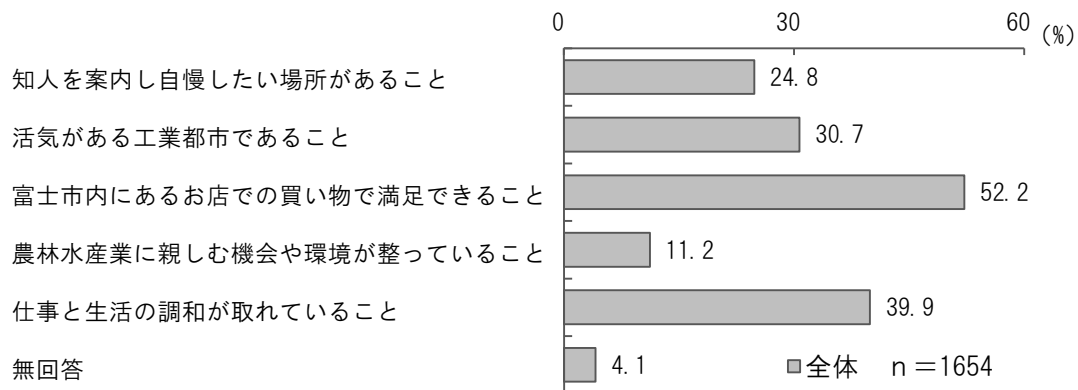
<年代別>



性別でみると、大きな差異はみられない。

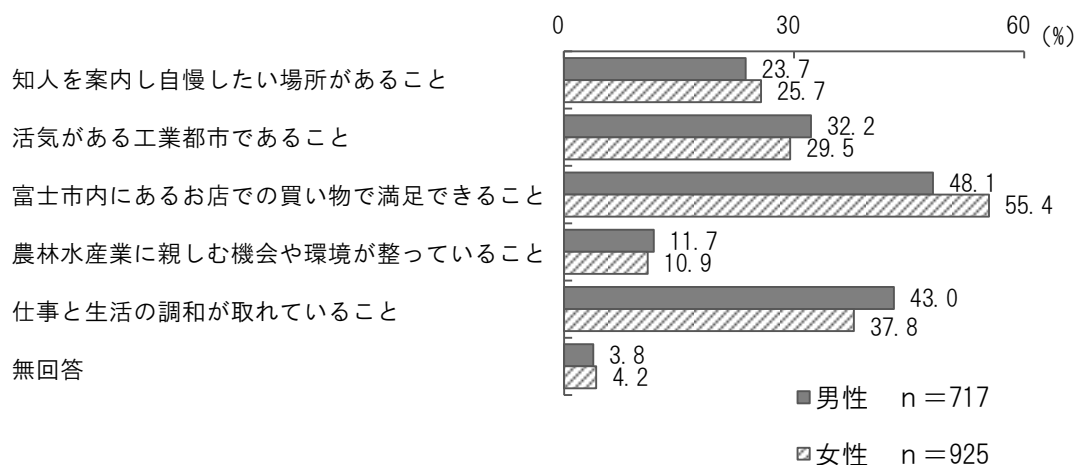
年代別でみると、20代以下において「介護が必要な状態になったとしても、適切な公的サービスを受けることができること」が31.9%と少なくなっている。70代以上においては「安心して子どもを産み育てる環境が充実していること」が14.9%と少なくなっている。また、年代が低くなるほど、「安心して子どもを産み育てる環境が充実していること」と回答する割合が多くなっている。

【3章 産業】産業が交流するにぎわいのまち

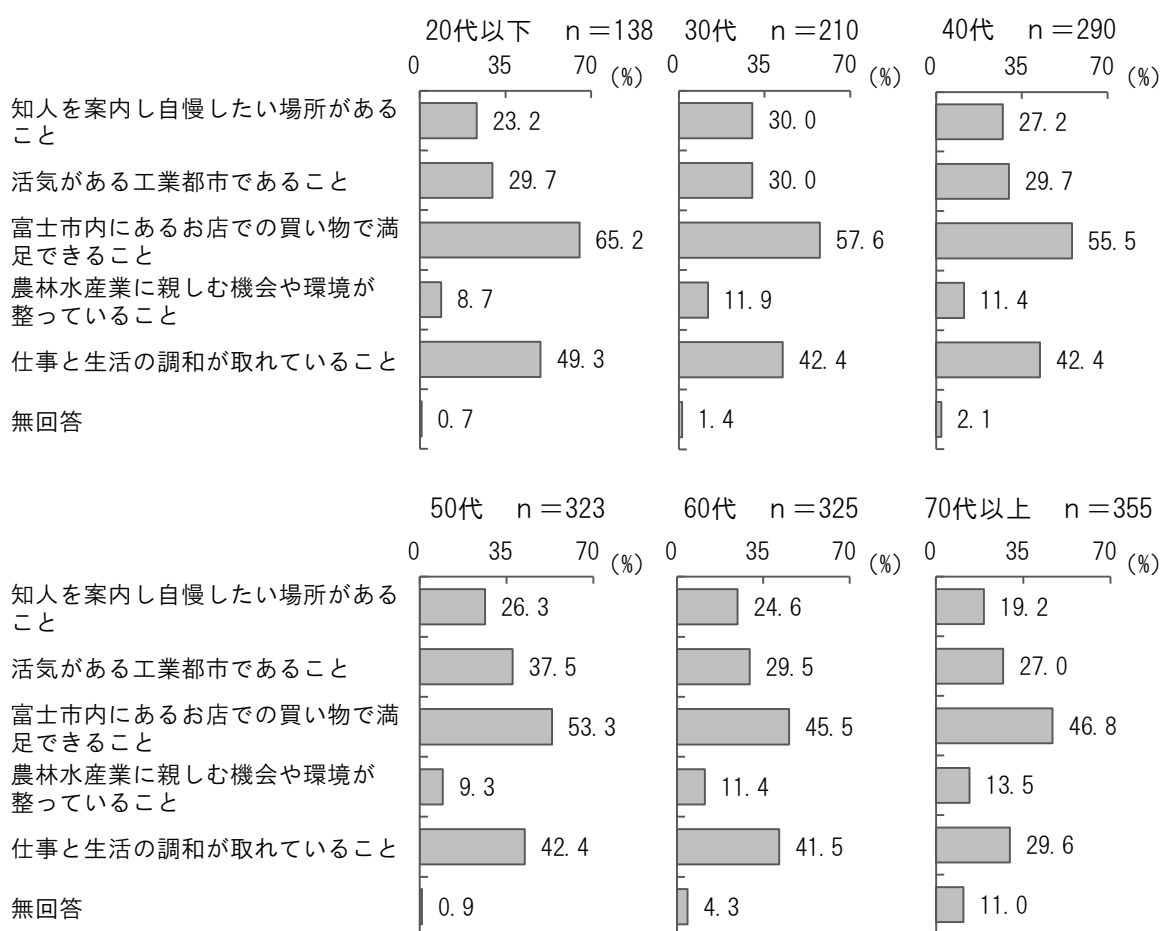


【3章 産業】において重要だと思える施策は、「富士市内にあるお店での買い物で満足できること」が52.2%と最も多く、次いで「仕事と生活の調和が取れていること」が39.9%、「活気がある工業都市であること」が30.7%などとなっている。

<性別>



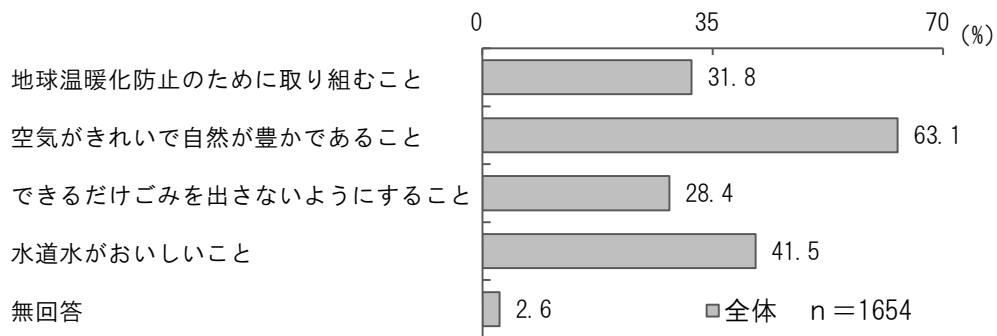
<年代別>



性別で見ると、男性において「仕事と生活の調和が取れていること」が43.0%と多くなっている。女性においては「富士市内にあるお店での買い物で満足できること」が55.4%と多くなっている。

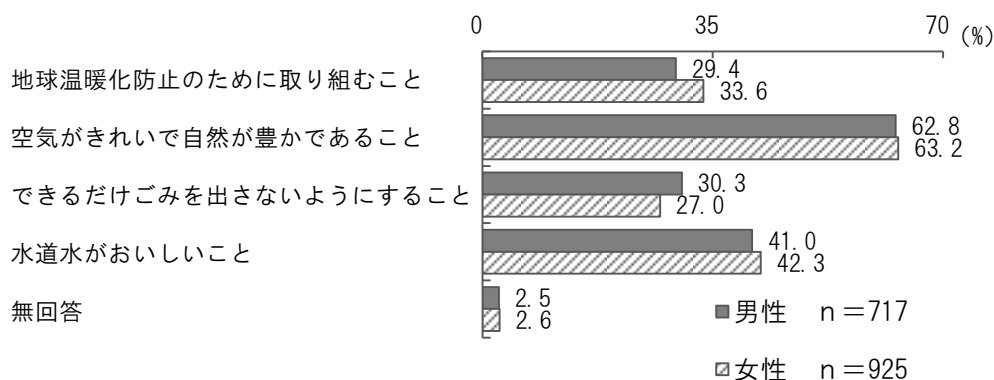
年代別で見ると、20代以下において「富士市内にあるお店での買い物で満足できること」が65.2%、「仕事と生活の調和が取れていること」が49.3%と多くなっている。50代においては「活気がある工業都市であること」が37.5%と多くなっている。70代以上においては「仕事と生活の調和が取れていること」が29.6%と少なくなっている。また、年代が低くなるほど、「仕事と生活の調和が取れていること」と回答する割合が多くなっている。

【4章 環境】人と自然が共生し環境負荷の少ないまち

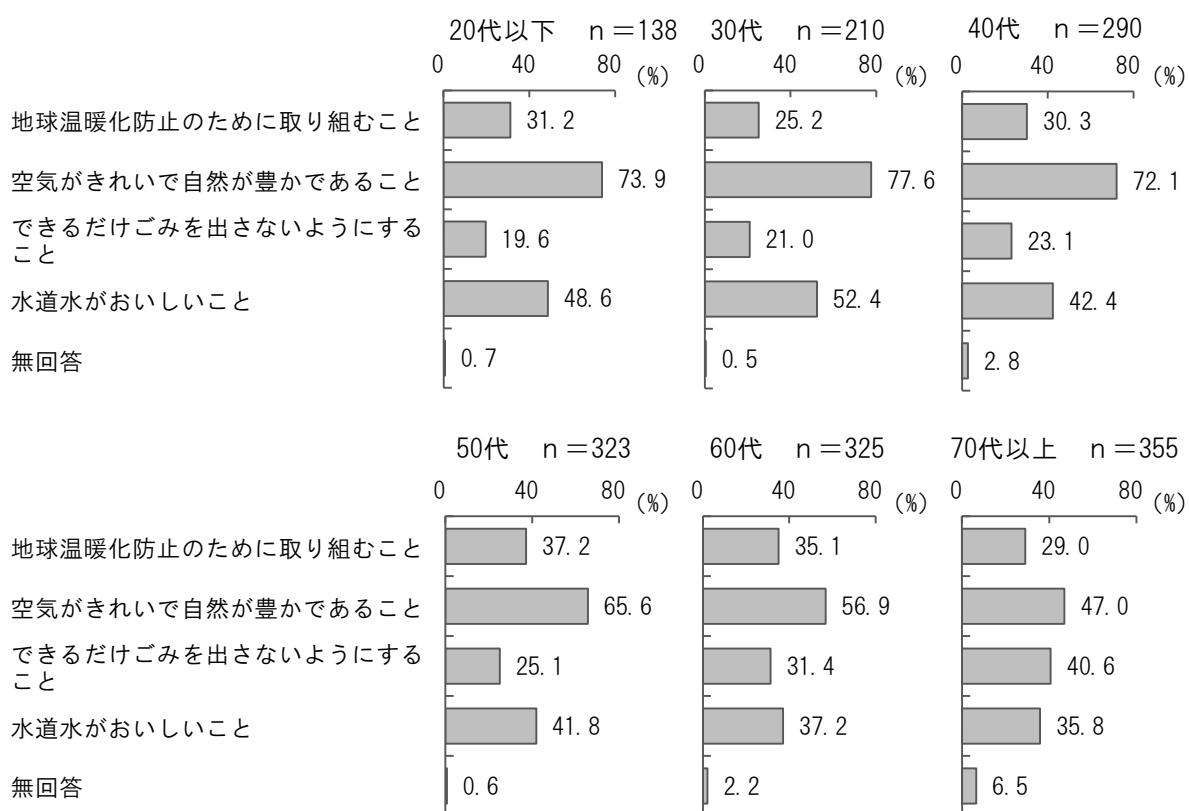


【4章 環境】において重要だと思う施策は、「空気がきれい自然が豊かであること」が63.1%と最も多く、次いで「水道水がおいしいこと」が41.5%、「地球温暖化防止のために取り組むこと」が31.8%などとなっている。

<性別>



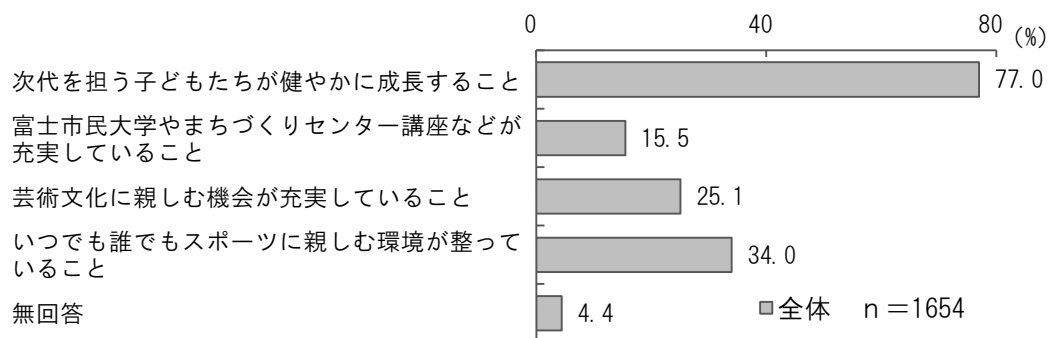
<年代別>



性別で見ると、大きな差異はみられない。

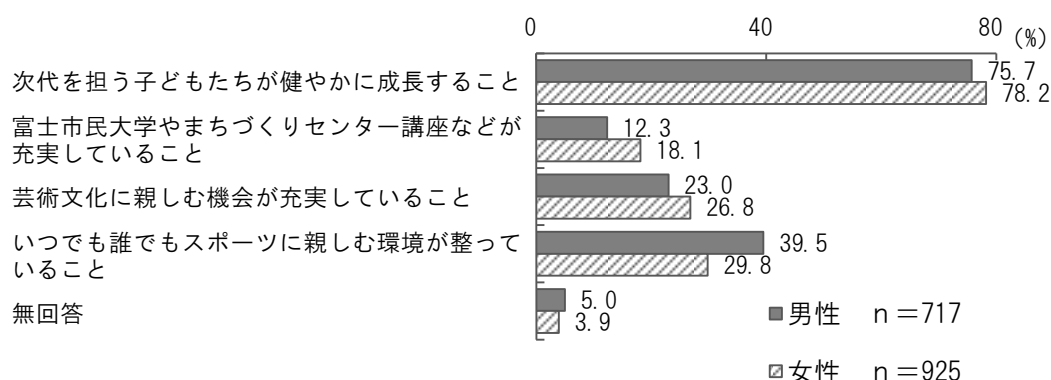
年代別で見ると、70代以上において「できるだけごみを出さないようにすること」が40.6%と多く、「空気がきれいで自然が豊かであること」が47.0%と少なくなっている。また、年代が高くなるほど、「できるだけごみを出さないようにすること」と回答する割合が多くなっている。

【5章 教育・文化】魅力ある教育を実現するまち

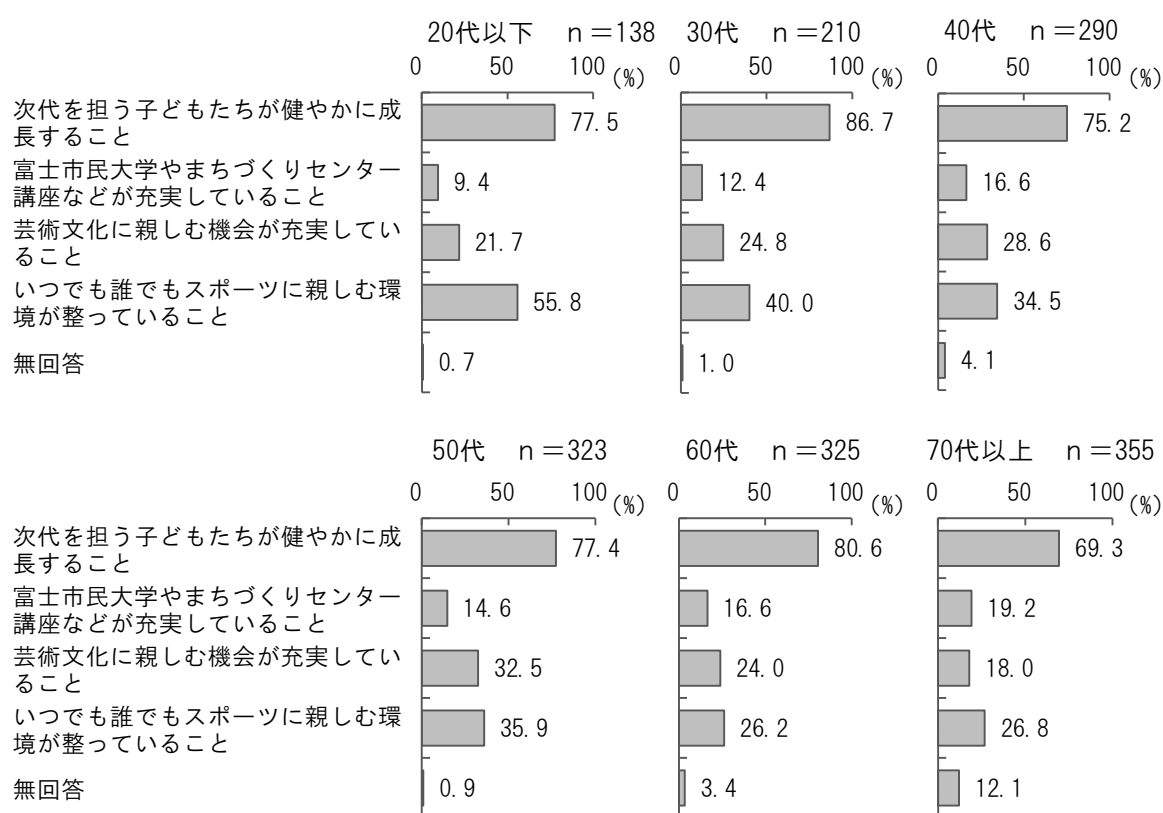


【5章 教育・文化】において重要だと思う施策は、「次代を担う子どもたちが健やかに成長すること」が77.0%と最も多く、次いで「いつでも誰でもスポーツに親しむ環境が整っていること」が34.0%、「芸術文化に親しむ機会が充実していること」が25.1%などとなっている。

<性別>



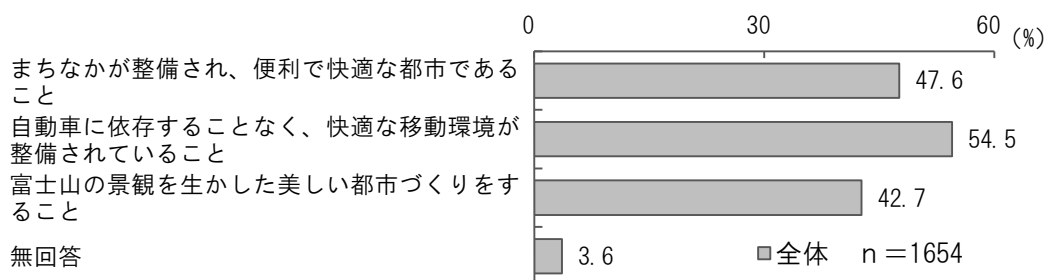
<年代別>



性別で見ると、男性において「いつでも誰でもスポーツに親しむ環境が整っていること」が39.5%と多くなっている。女性においては「富士市民大学やまちづくりセンター講座などが充実していること」が18.1%と多くなっている。

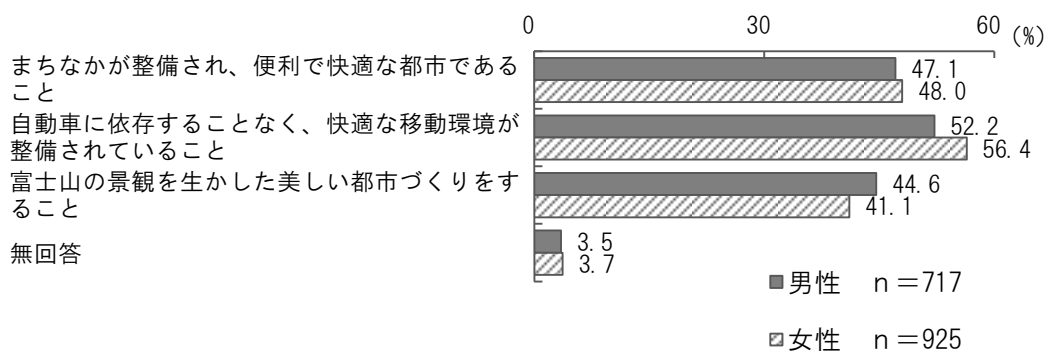
年代別で見ると、20代以下において「いつでも誰でもスポーツに親しむ機会が充実していること」が55.8%と多くなっている。30代においては「次代を担う子どもたちが健やかに成長すること」が86.7%と多くなっている。70代以上においては「次代を担う子どもたちが健やかに成長すること」が69.3%と少なくなっている。

【6章 都市基盤】人にやさしい便利で快適なまち

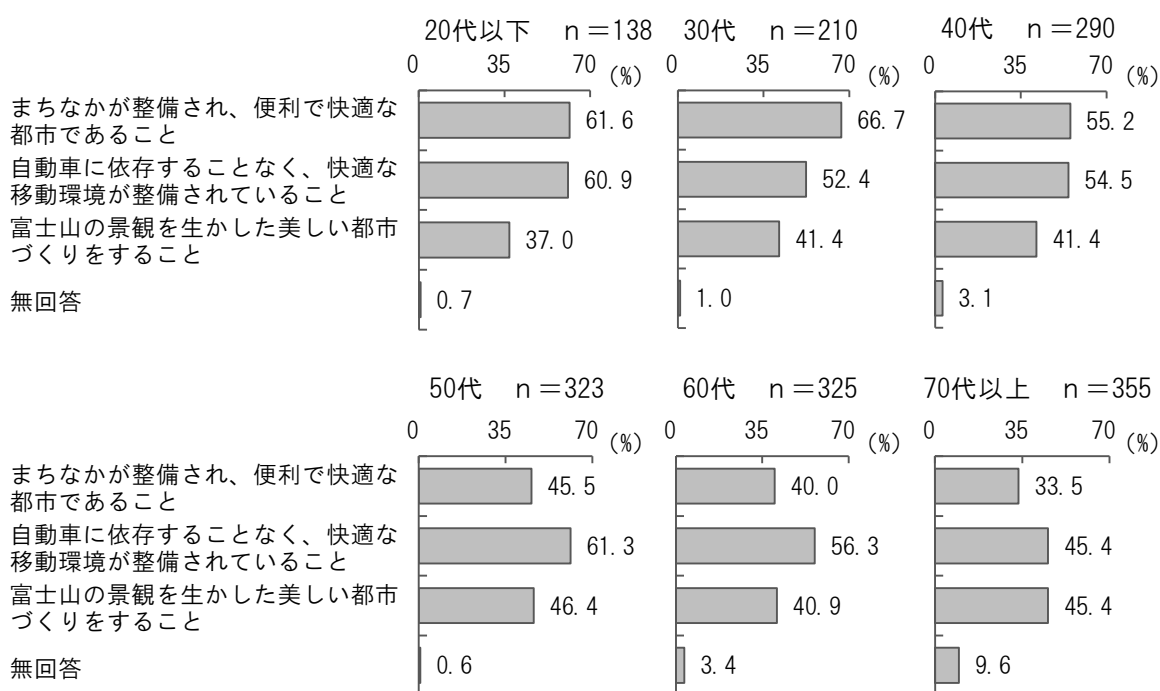


【6章 都市基盤】において重要だと思ふ施策は、「自動車に依存することなく、快適な移動環境が整備されていること」が54.5%と最も多く、次いで「まちなかが整備され、便利で快適な都市であること」が47.6%、「富士山の景観を生かした美しい都市づくりをすること」が42.7%となっている。

<性別>



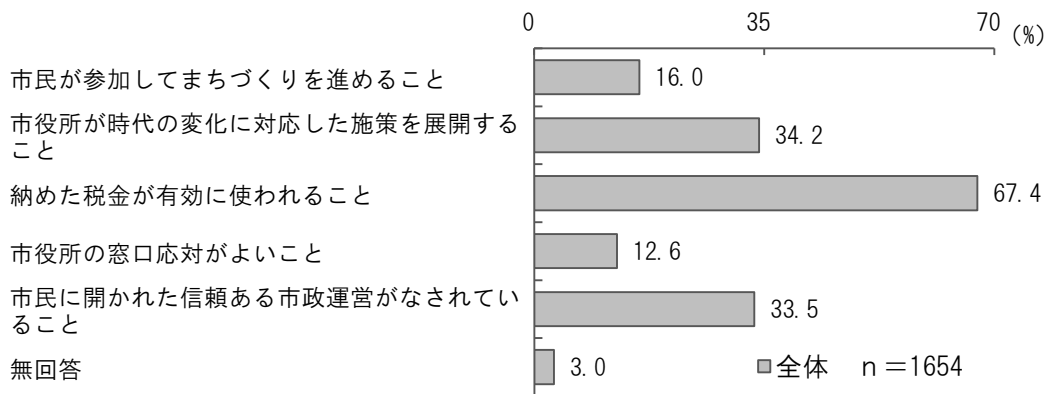
<年代別>



性別でみると、大きな差異はみられない。

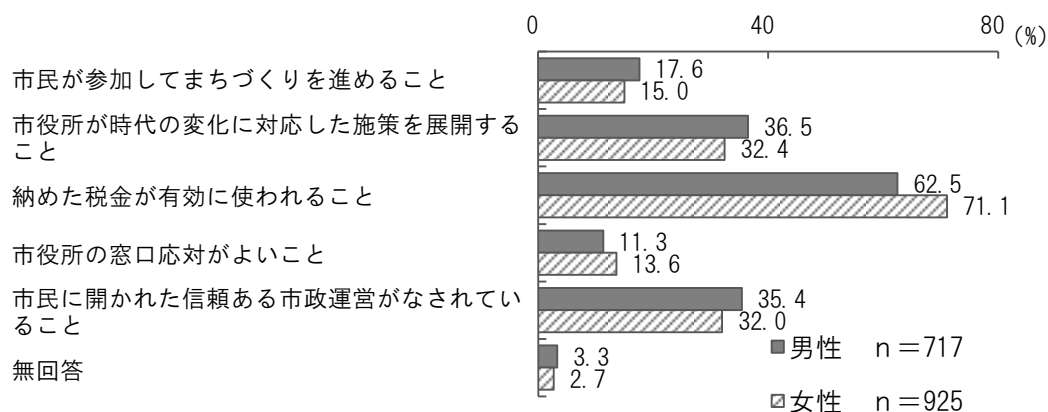
年代別でみると、30代において「まちなかが整備され、便利で快適な都市であること」が66.7%と多くなっている。70代以上においてはまちなかが整備され、便利で快適な都市であることが33.5%、「自動車に依存することなく、快適な移動環境が整備されていること」が45.4%と少なくなっている。

【7章 都市経営】 市民と創る新たなまち

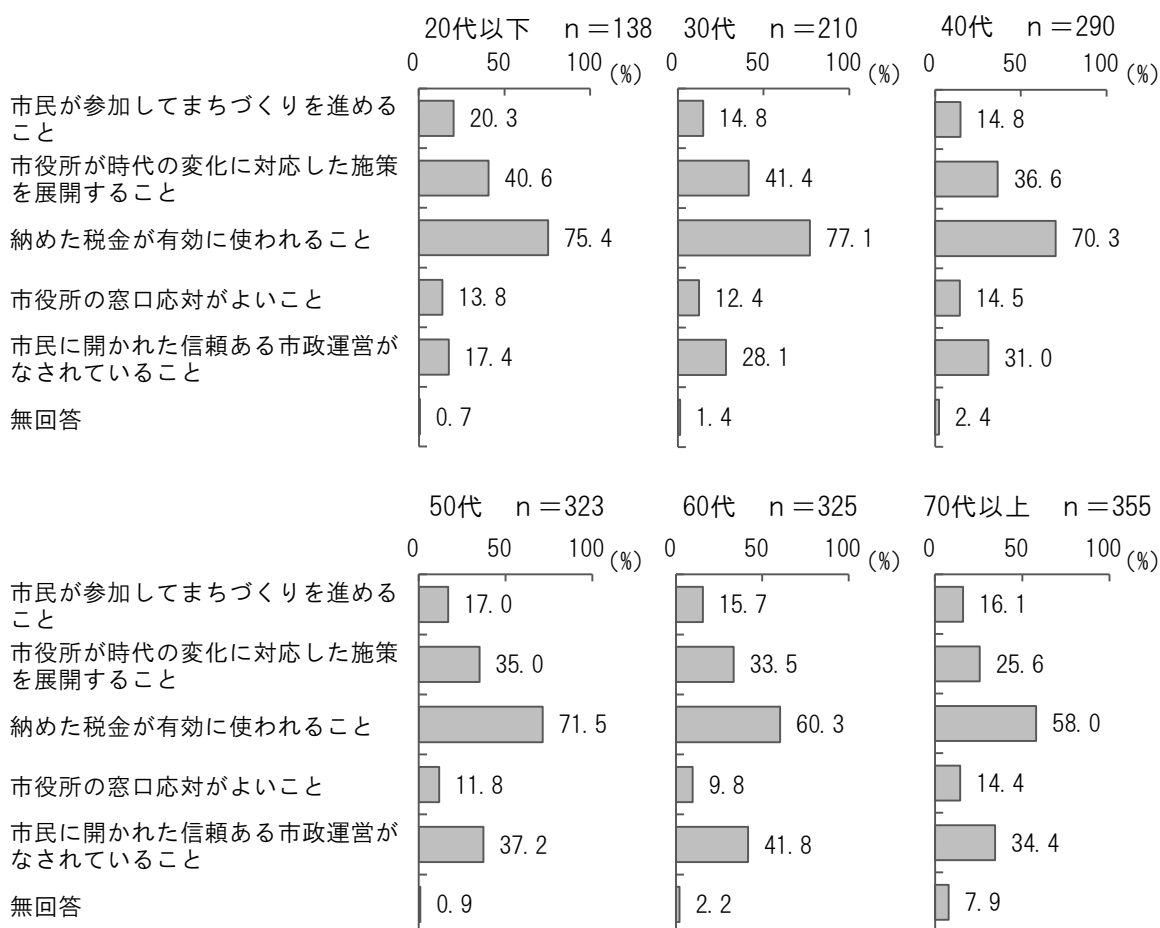


【7章 都市経営】において重要だと思える施策は、「納めた税金が有効に使われること」が67.4%と最も多く、次いで「市役所が時代の変化に対応した施策を展開すること」が34.2%、「市民に開かれた信頼ある市政運営がなされていること」が33.5%などとなっている。

<性別>



<年代別>

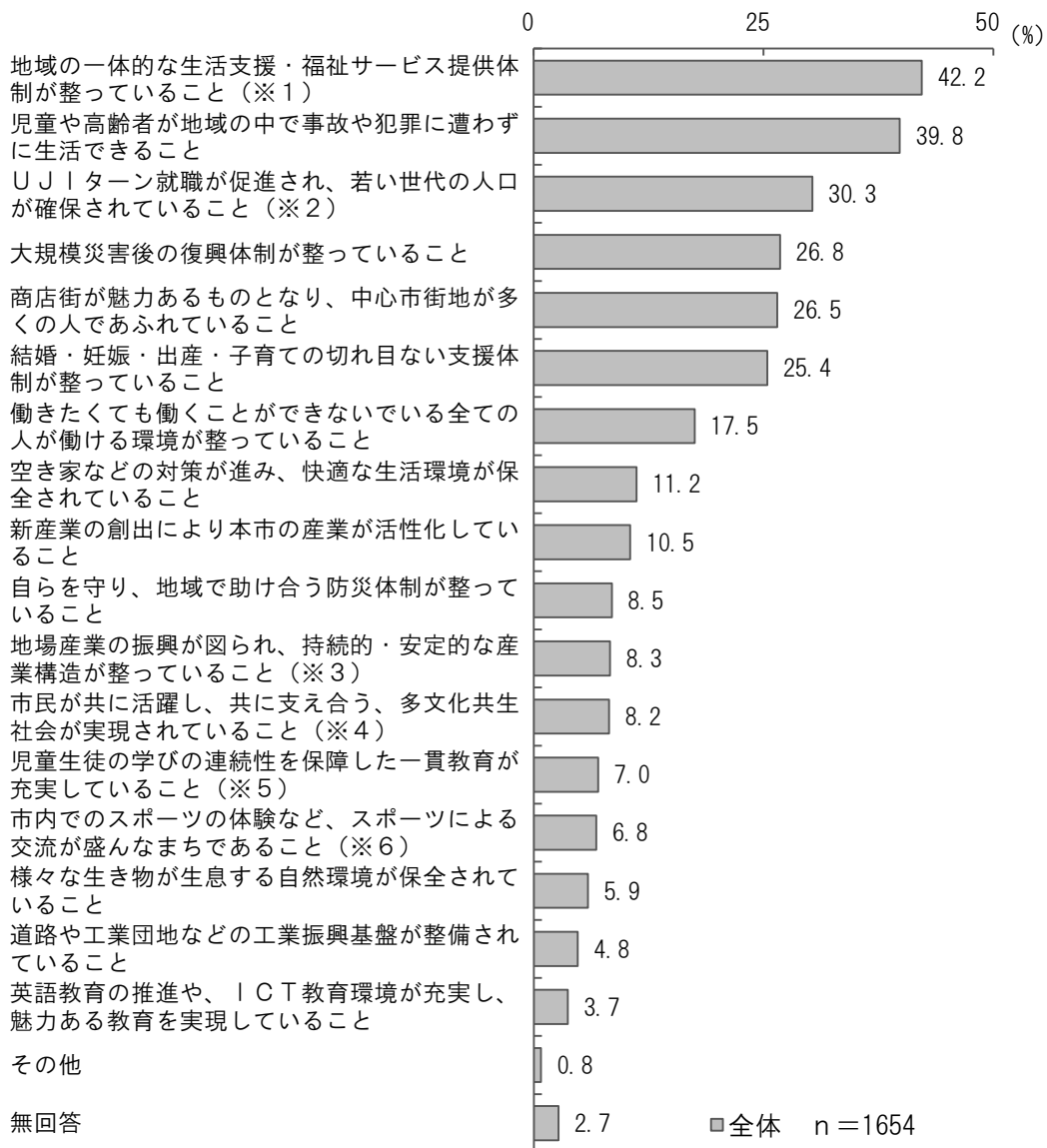


性別で見ると、女性において「納めた税金が有効に使われること」が71.1%と多くなっている。

年代別で見ると、20代以下において「市民に開かれた信頼ある市政運営がなされていること」が17.4%と少なくなっている。70代以上においては「市役所が時代の変化に対応した施策を展開すること」が25.6%と少なくなっている。

(7) 10年後、より住みやすいまちであるために、特に必要だと思うもの

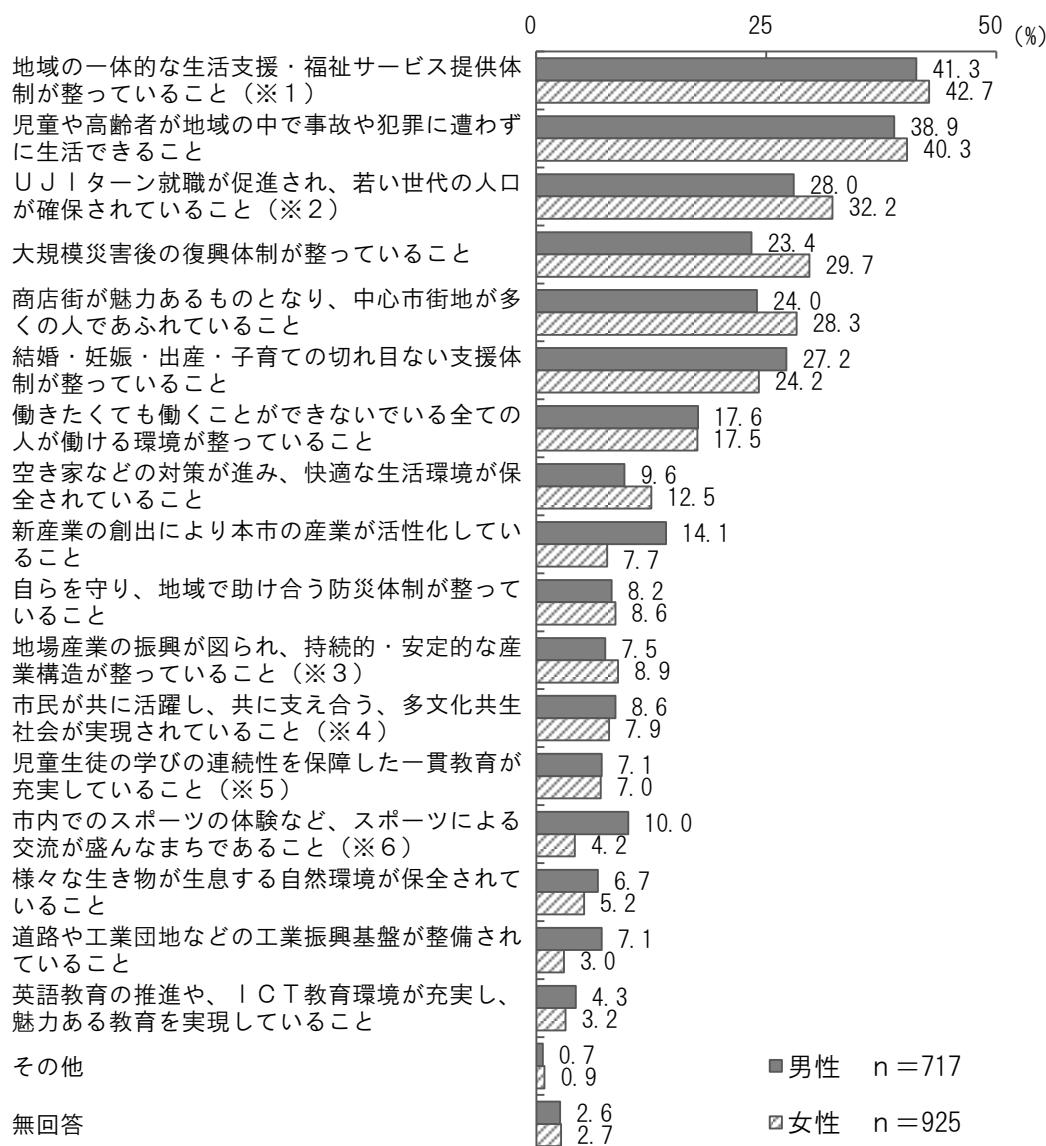
問9 人口減少や少子高齢化の進行、防災・減災への対応など、本市を取り巻く状況は厳しく、変化が激しくなっております。10年後、より住みやすいまちであるために、あなたが特に必要だと思うものを次の中から3つ選んで○をつけてください。



- ※1 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の一体的な生活支援・福祉サービス提供体制が整っていること
- ※2 大学生・高校生のUJIターン就職が促進され、若い世代の人口が確保されていること
- ※3 「ふじのお茶」・「田子の浦しらす」・「富士ヒノキ」など地場産業の振興が図られ、持続的・安定的な産業構造が整っていること
- ※4 多様な市民が共に活躍し、共に支え合う、多文化共生社会が実現されていること
- ※5 義務教育9年間を一体として捉え、児童生徒の学びの連続性を保障した一貫教育が充実していること
- ※6 市内でのスポーツの全国大会や国際大会の開催、合宿の誘致、スポーツの体験など、スポーツによる交流が盛んなまちであること

10年後、より住みやすいまちであるために、特に必要だと思うものは、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の一体的な生活支援・福祉サービス提供体制が整っていること」が42.2%と最も多く、次いで「児童や高齢者が地域の中で事故や犯罪に遭わずに生活できること」が39.8%、「大学生・高校生のUJIターン就職が促進され、若い世代の人口が確保されていること」が30.3%などとなっている。

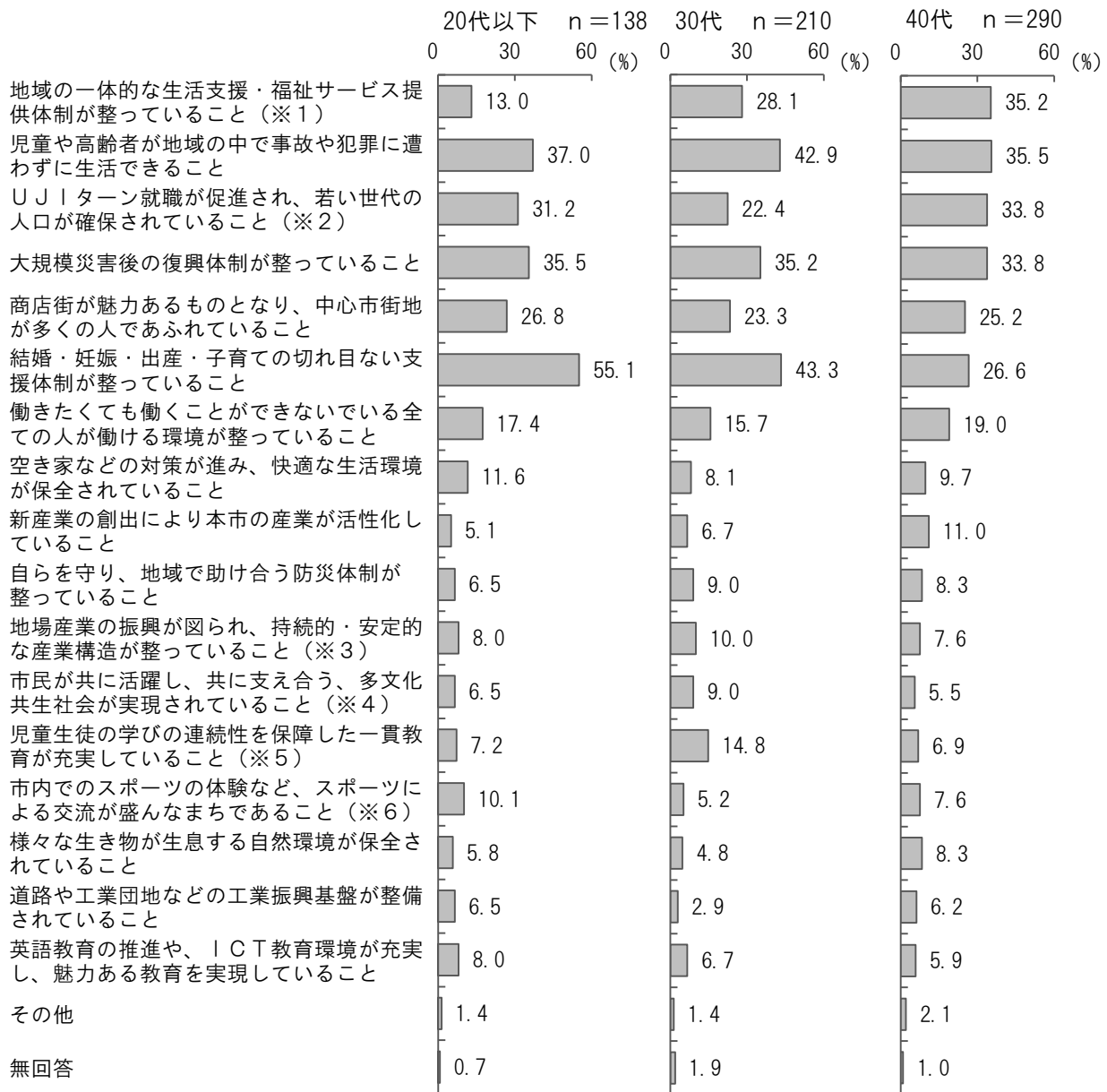
＜性別＞



- ※1 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の一体的な生活支援・福祉サービス提供体制が整っていること
- ※2 大学生・高校生のUJターン就職が促進され、若い世代の人口が確保されていること
- ※3 「ふじのお茶」・「田子の浦しらす」・「富士ヒノキ」など地場産業の振興が図られ、持続的・安定的な産業構造が整っていること
- ※4 多様な市民が共に活躍し、共に支え合う、多文化共生社会が実現されていること
- ※5 義務教育9年間を一体として捉え、児童生徒の学びの連続性を保障した一貫教育が充実していること
- ※6 市内でのスポーツの全国大会や国際大会の開催、合宿の誘致、スポーツの体験など、スポーツによる交流が盛んなまちであること

性別でみると、男性において「新産業の創出により本市の産業が活性化していること」が14.1%、「市内でのスポーツの全国大会や国際大会の開催、合宿の誘致、スポーツの体験など、スポーツによる交流が盛んなまちであること」が10.0%と多くなっている。女性においては、「大規模災害後の復興体制が整っていること」が29.7%と多くなっている。

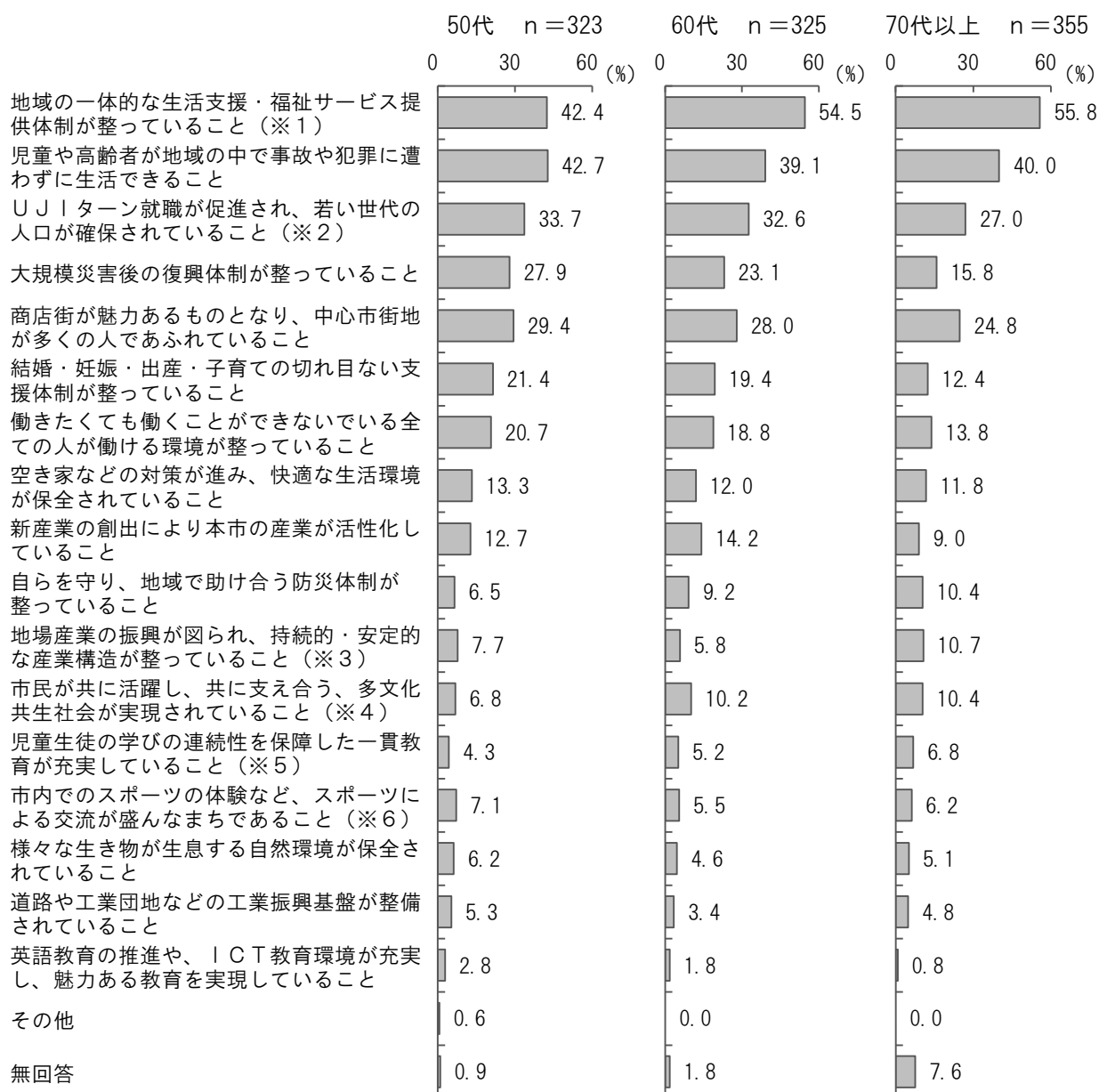
<年代別①>



- ※1 高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の一体的な生活支援・福祉サービス提供体制が整っていること
- ※2 大学生・高校生のUJIターン就職が促進され、若い世代の人口が確保されていること
- ※3 「ふじのお茶」・「田子の浦しらす」・「富士ヒノキ」など地場産業の振興が図られ、持続的・安定的な産業構造が整っていること
- ※4 多様な市民が共に活躍し、共に支え合う、多文化共生社会が実現されていること
- ※5 義務教育9年間を一体として捉え、児童生徒の学びの連続性を保障した一貫教育が充実していること
- ※6 市内でのスポーツの全国大会や国際大会の開催、合宿の誘致、スポーツの体験など、スポーツによる交流が盛んなまちであること

年代別でみると、20代以下において「結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制が整っていること」が55.1%と多く、「高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、地域の一体的な生活支援・福祉サービス提供体制が整っていること」が13.0%と少なくなっている。30代においては「義務教育9年間を一体として捉え、児童生徒の学びの連続性を保障した一貫教育が充実していること」が14.8%と多くなっている。70代以上においては「大規模災害後の復興体制が整っていること」が15.8%、「結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援体制が整っていること」が12.4%と少なくなっている。

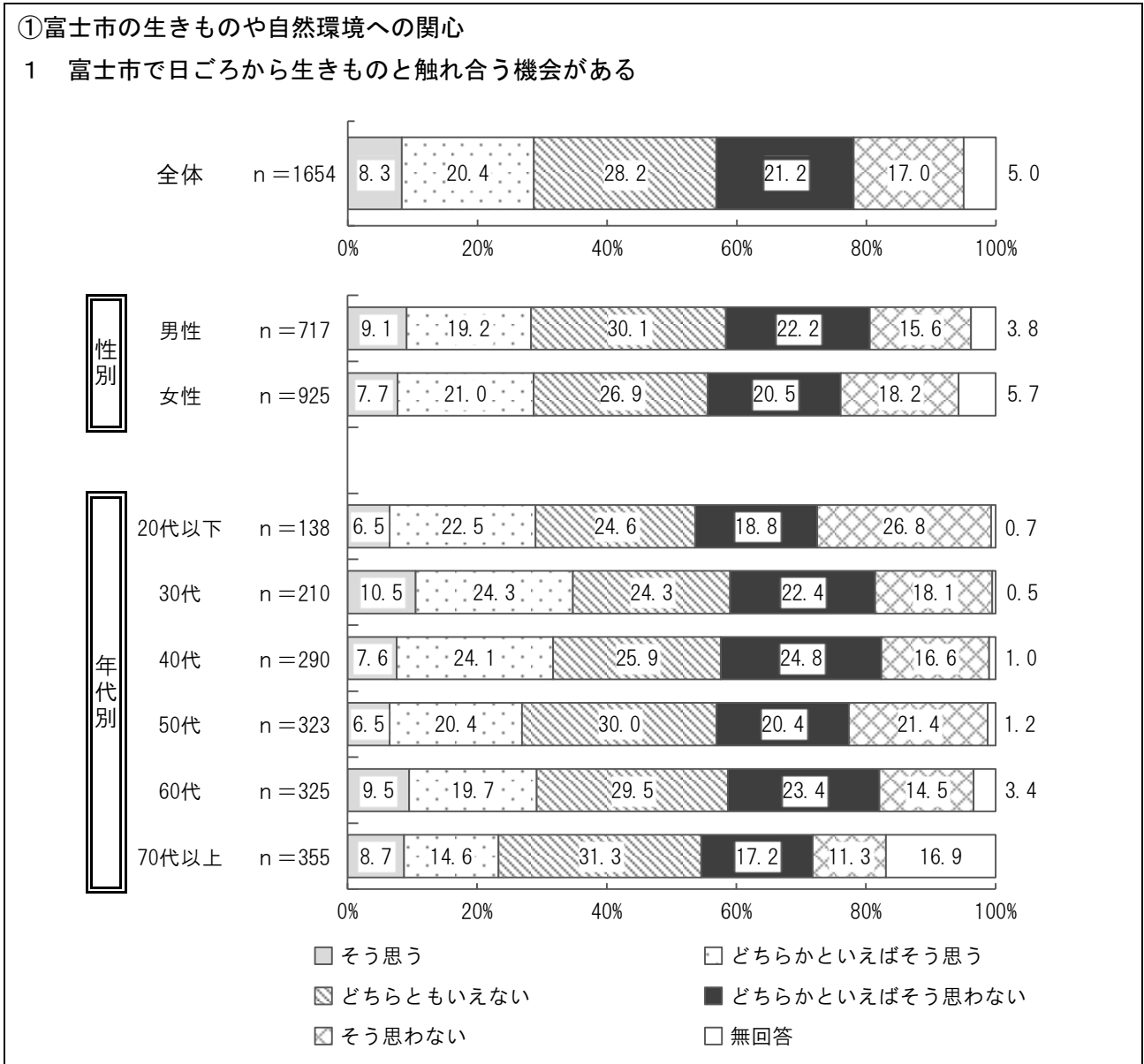
<年代別②>



■生物多様性について

(1) 富士市の生きものや自然環境への関心度

問11 自然環境について、以下の項目ごとにあなたのお気持ちに近いものを1つずつ選んで○をつけてください。

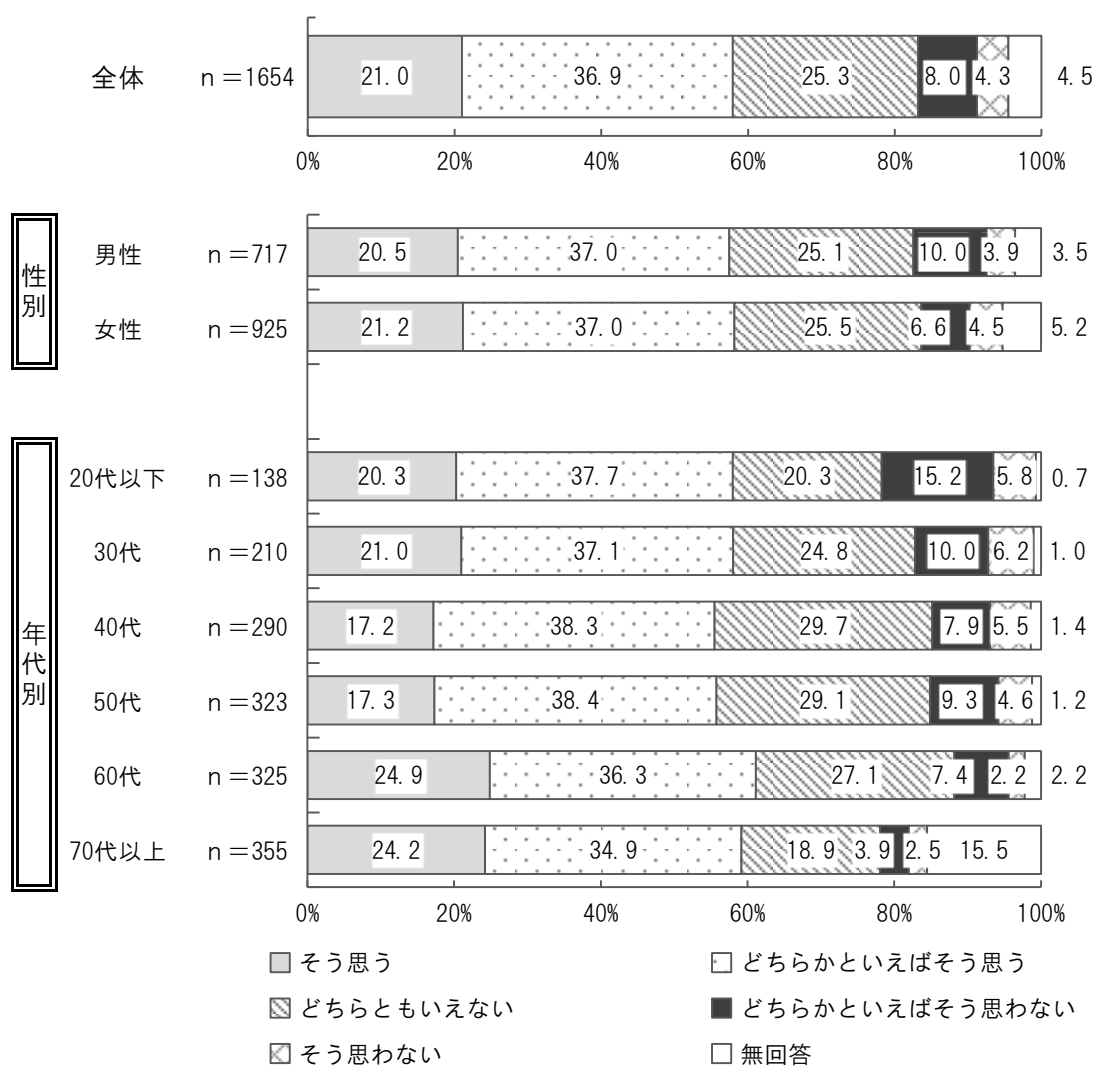


「富士市で日ごろから生きものと触れ合う機会がある」という問については、『そう思う』（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」）が28.7%、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」＋「そう思わない」）が38.2%となっている。

性別でみると、大きな差異はみられない。

年代別でみると、20代以下において「そう思わない」が26.8%と多くなっている。

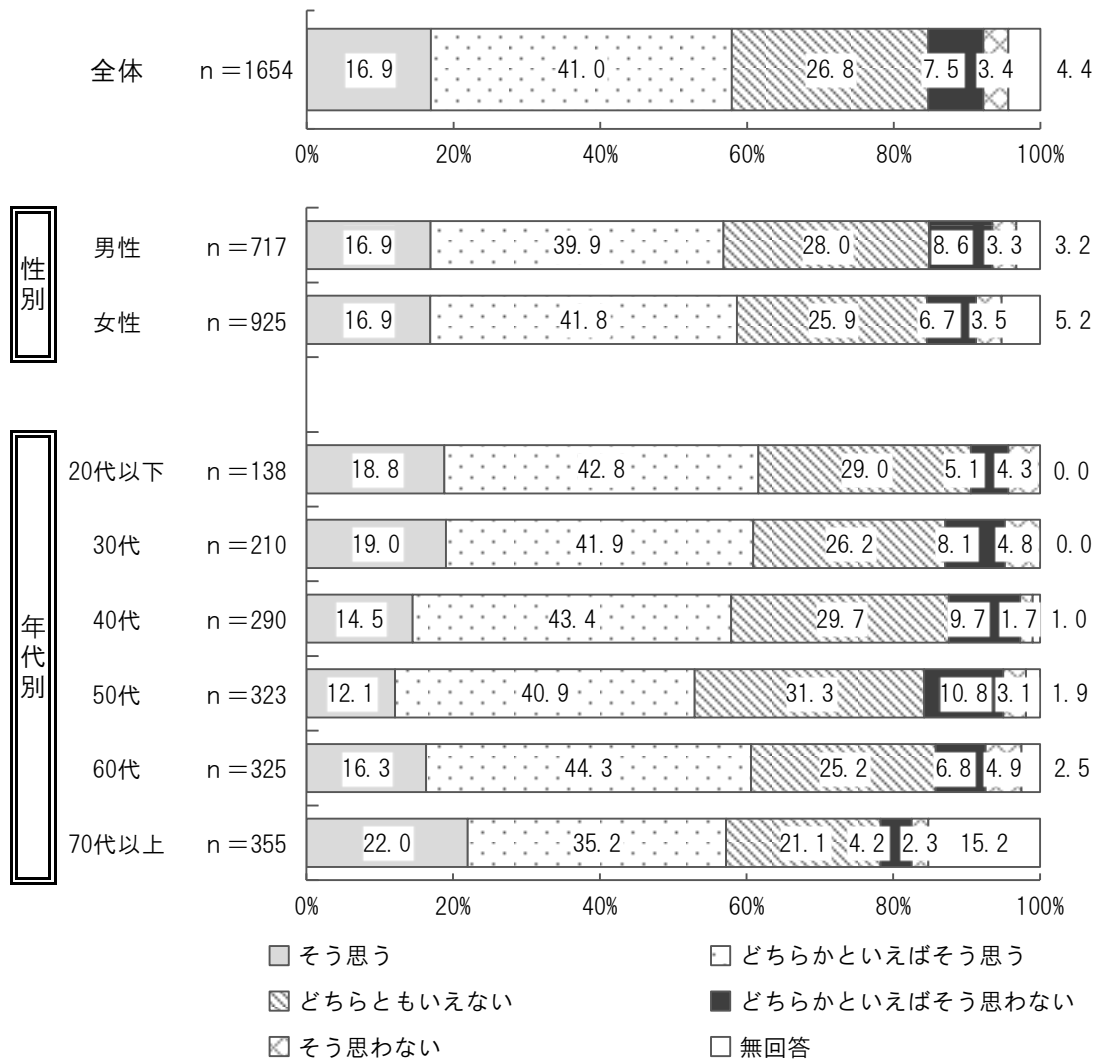
2 富士市の自然の中で過ごすことが好きである



「富士市の自然の中で過ごすことが好きである」という問については、『そう思う』が 57.9%、『そう思わない』が 12.3%となっている。

性別でみても、年代別でみても、大きな差異はみられない。

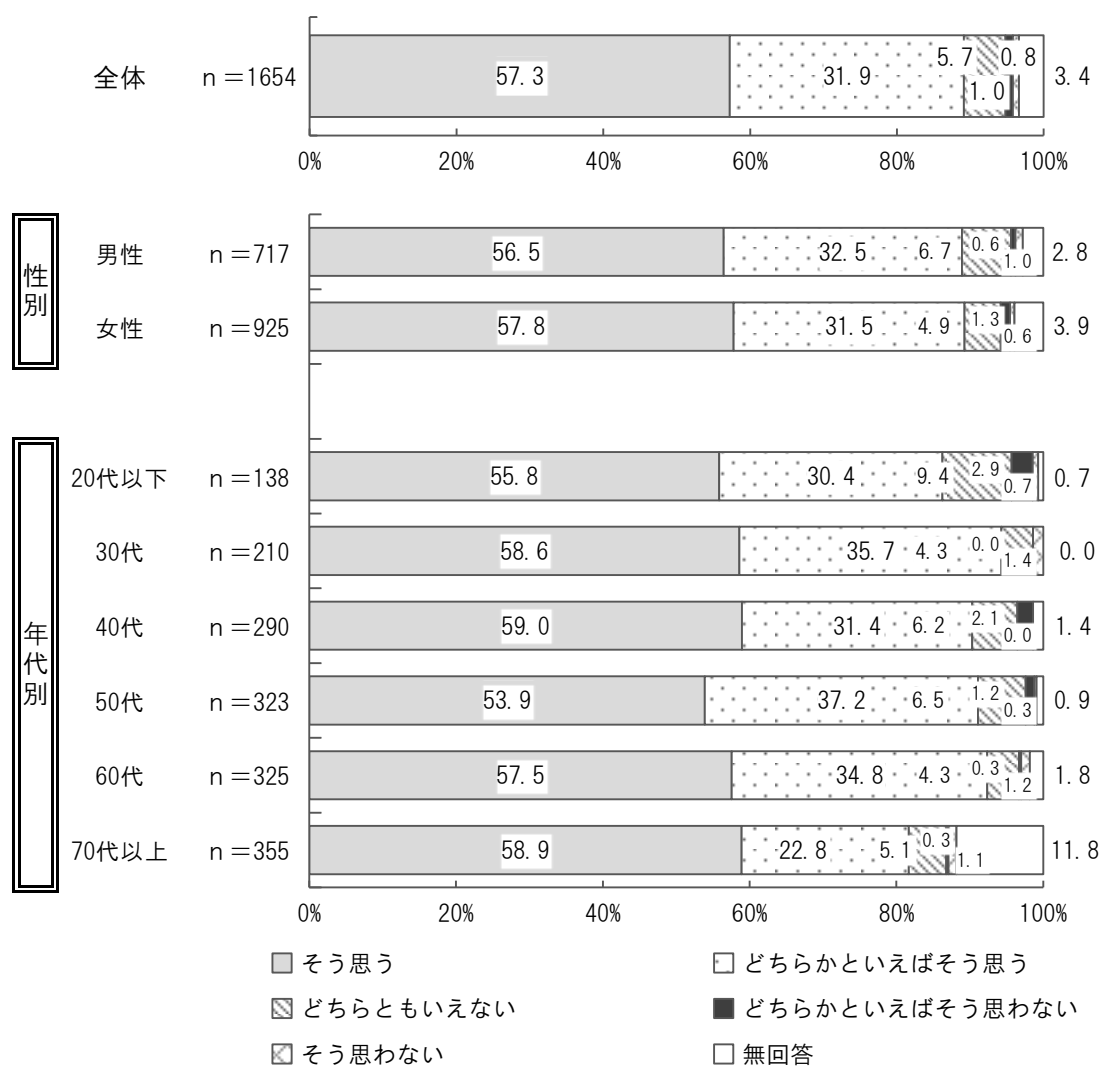
3 富士市の自然は豊かである



「富士市の自然は豊かである」という問については、『そう思う』が 57.9%、『そう思わない』が 10.9%となっている。

性別でみても、年代別でみても、大きな差異はみられない。

4 富士市の自然を守り、後世に残していく必要がある



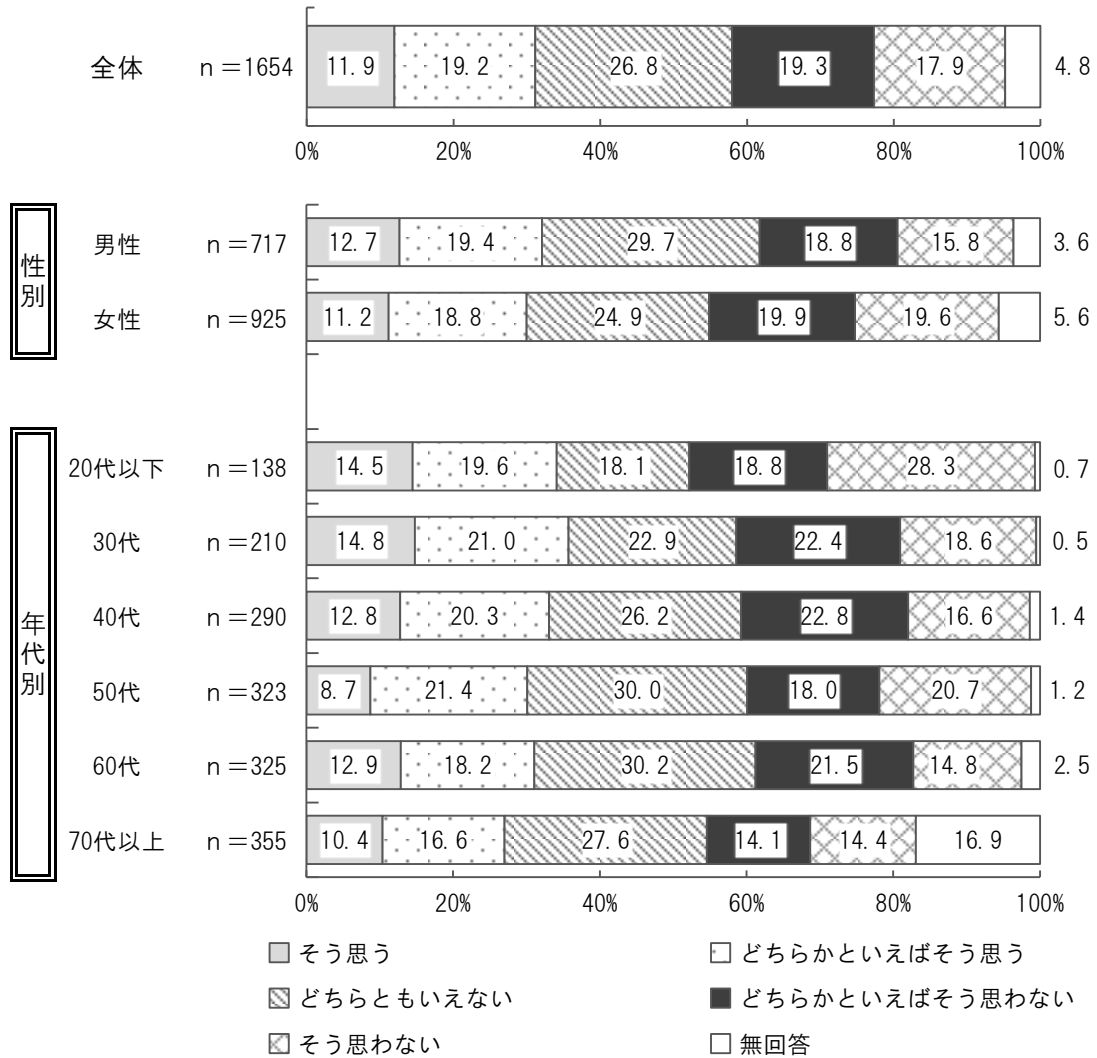
「富士市の自然を守り、後世に残していく必要がある」という問については、『そう思う』が89.2%、『そう思わない』が1.8%となっている。

性別でも、年代別にみても、大きな差異はみられない。

(2) 生きものや自然環境全体への関心度

②生きものや自然環境全体への関心

1 日ごろから生きものと触れ合う機会がある

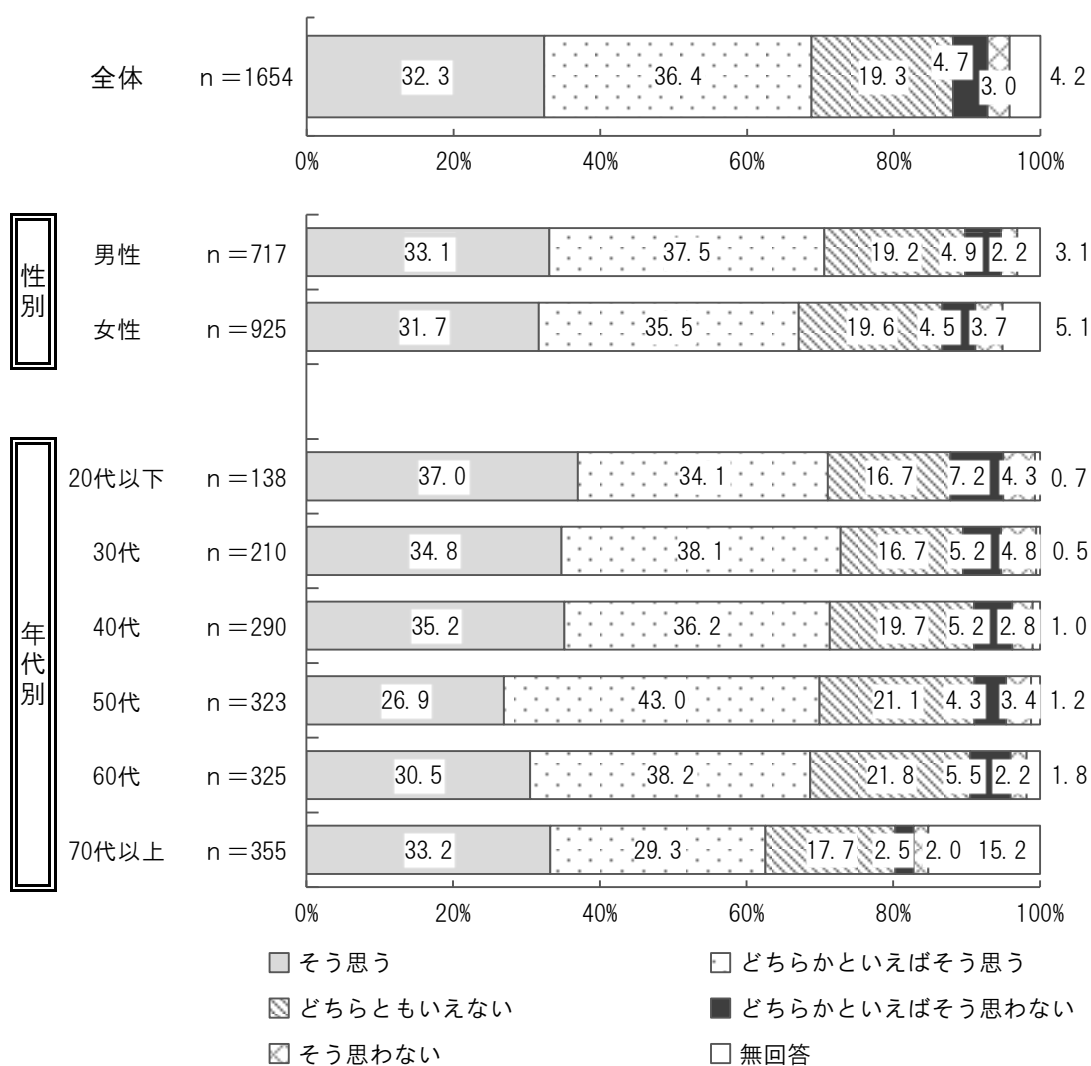


「日ごろから生きものと触れ合う機会がある」という問については、『そう思う』が31.1%、『そう思わない』が37.2%となっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

年代別で見ると20代以下において「そう思わない」が28.3%と多くなっている。

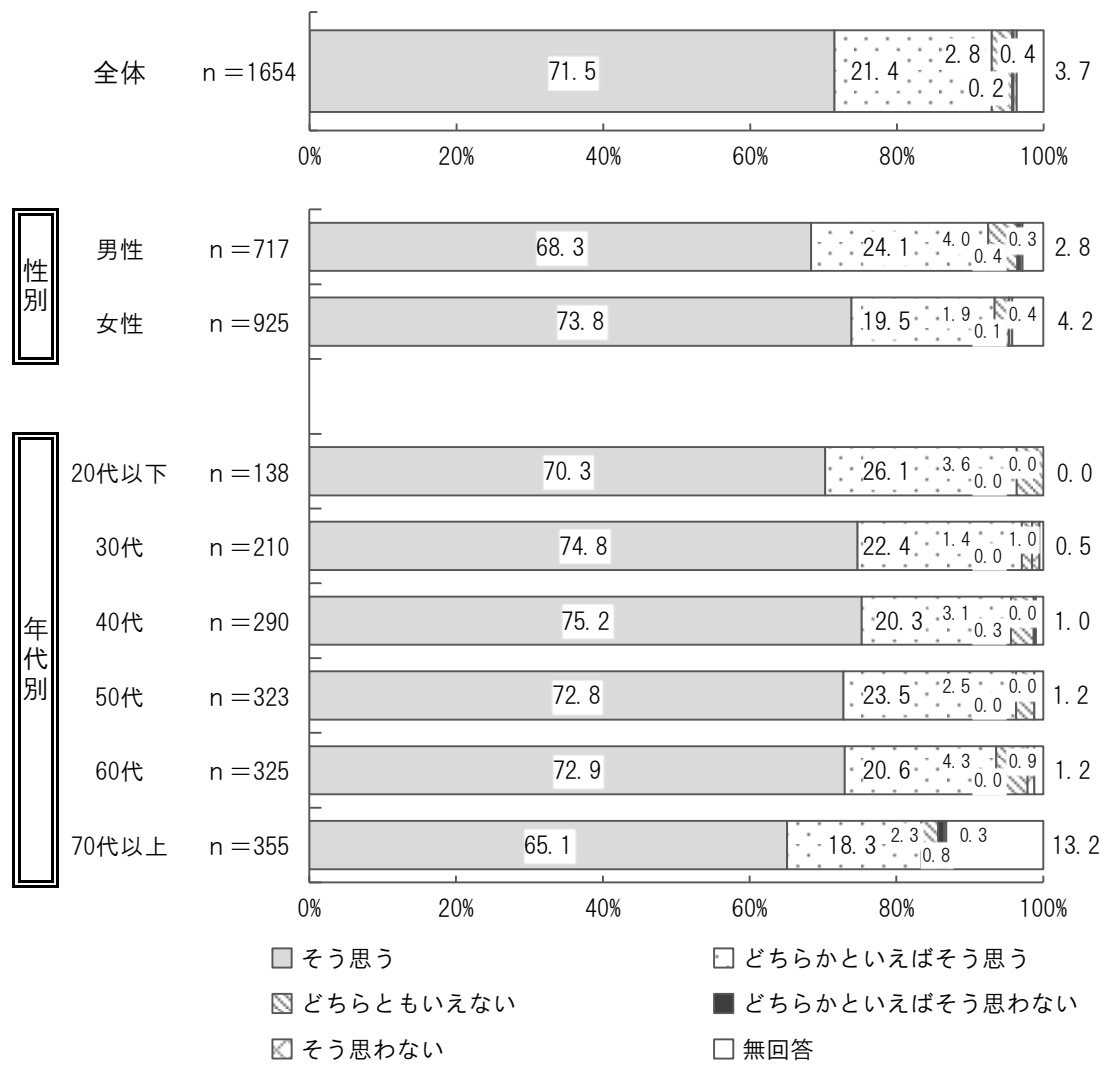
2 自然の中で過ごすことが好きである



「自然の中で過ごすことが好きである」という間については、『そう思う』が68.7%、『そう思わない』が7.7%となっている。

性別でみても、年代別でみても、大きな差異はみられない。

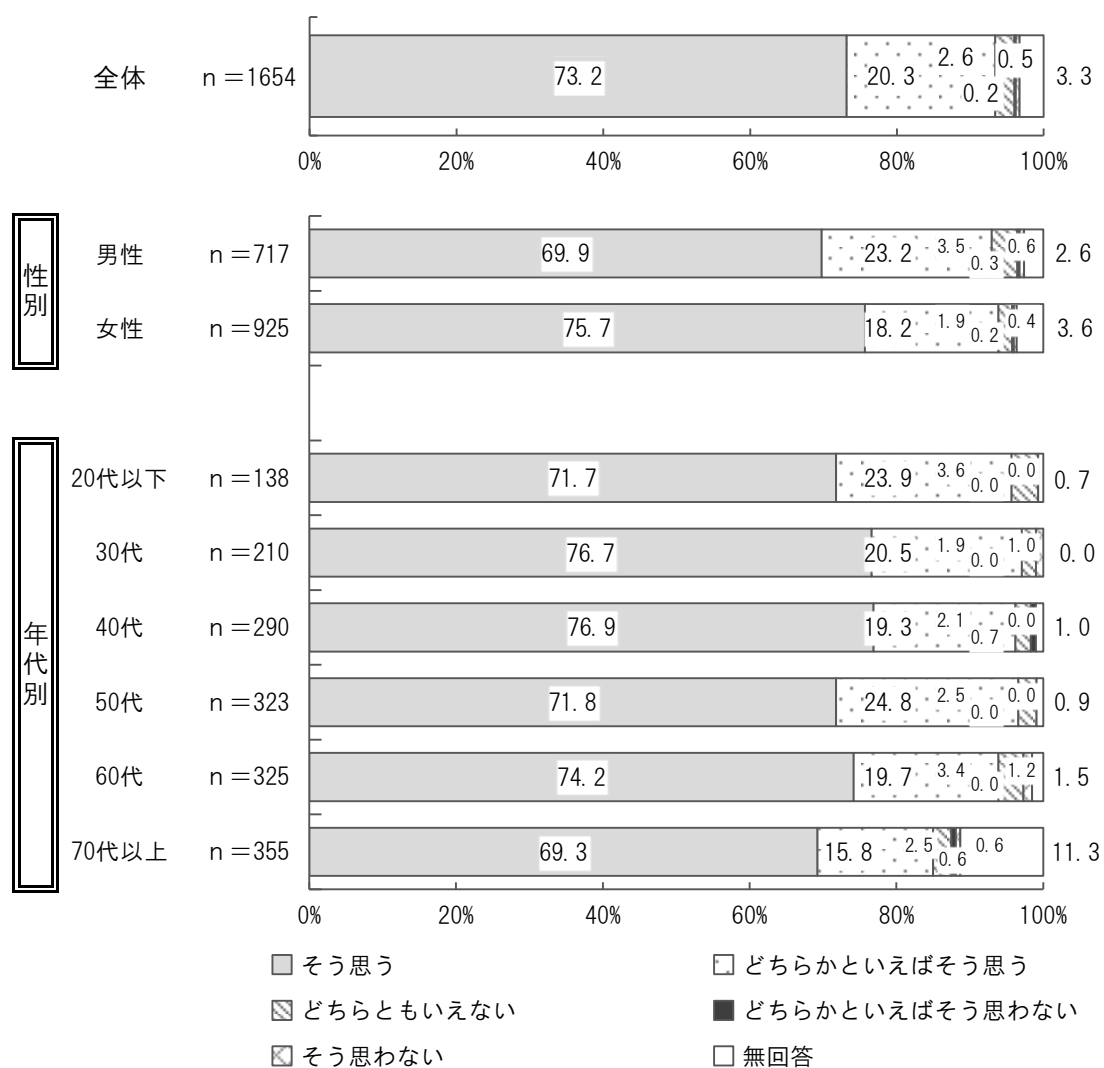
3 自然は大切である



「自然は大切である」という問については、『そう思う』が92.9%、『そう思わない』が0.6%となっている。

性別で見ると、女性において「そう思う」が73.8%と多くなっている。

4 自然を守る必要がある



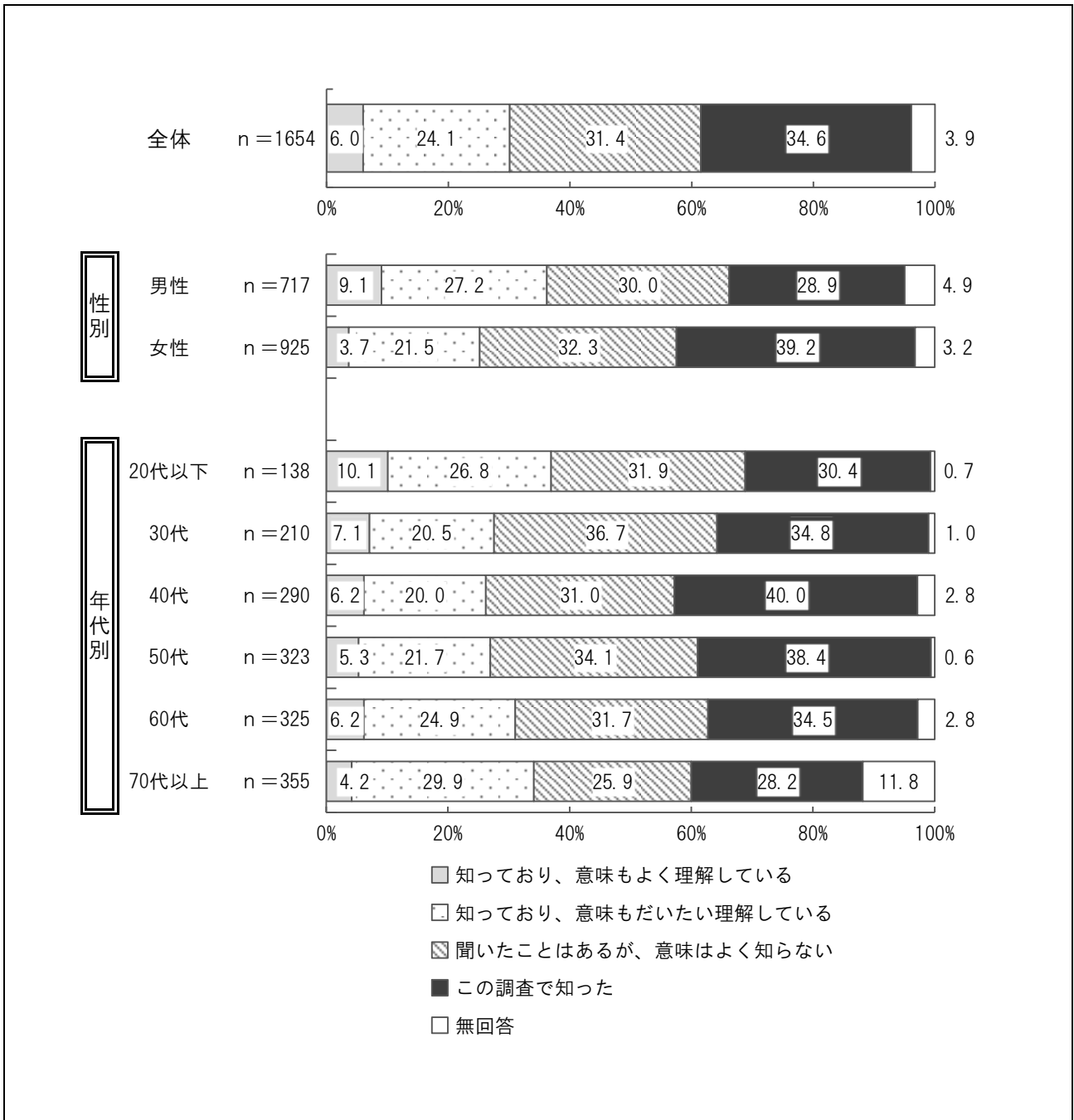
「自然を守る必要がある」という問については、『そう思う』が93.5%、『そう思わない』が0.7%となっている。

性別で見ると、女性において「そう思う」が75.7%と多くなっている。

年代別で見ると、大きな差異はみられない。

(3) 生物多様性の認知度

問12 生物多様性という言葉を知っていましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



生物多様性という言葉の認知度は、「この調査で知った」が34.6%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」が31.4%、「知っており、意味もだいたい理解している」が24.1%などとなっている。また『知っている』（「知っており、意味もよく理解している」+「知っており、意味もだいたい理解している」）は30.1%となっている。

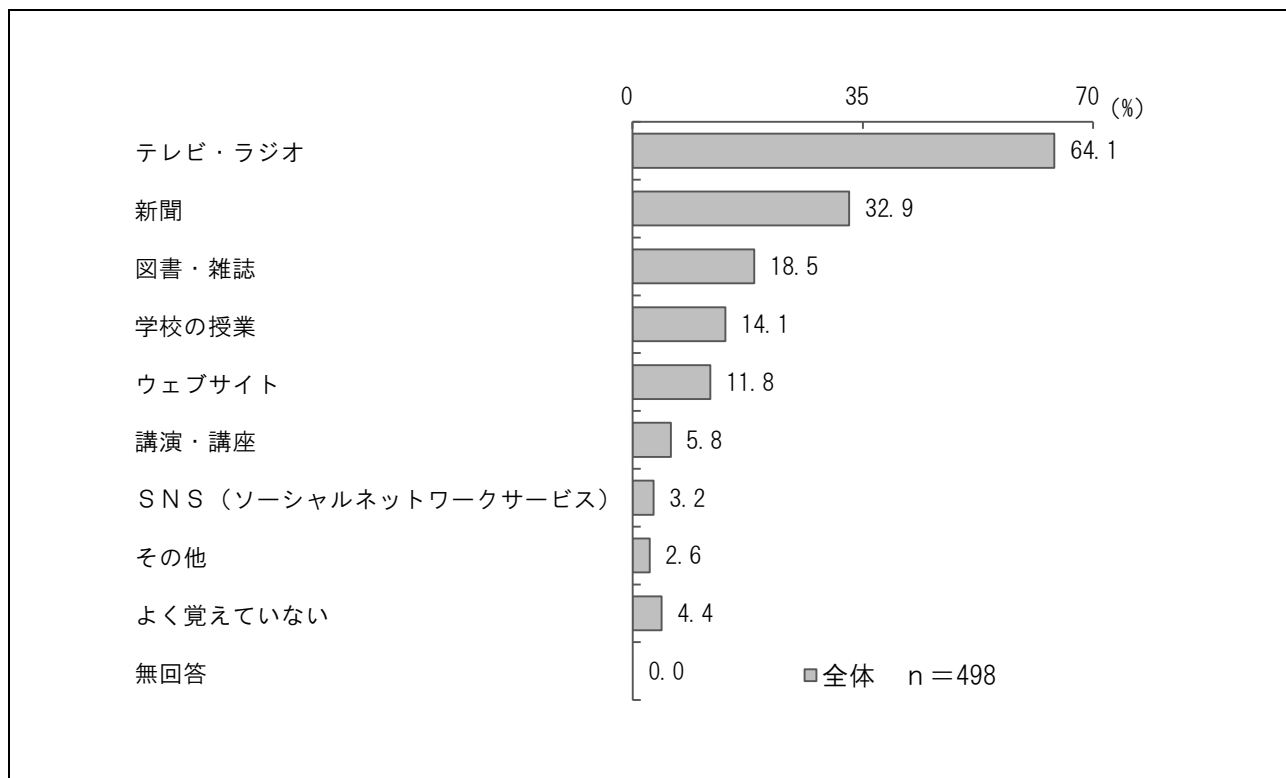
性別でみると、男性において「知っており、意味もよく理解している」が9.1%、「知っており、意味もだいたい理解している」が27.2%と多くなっている。また『知っている』も、男性において36.3%と多くなっている。女性においては「この調査で知った」が39.2%と多くなっている。

年代別でみると、『知っている』は、20代以下が36.9%と最も多くなっている。

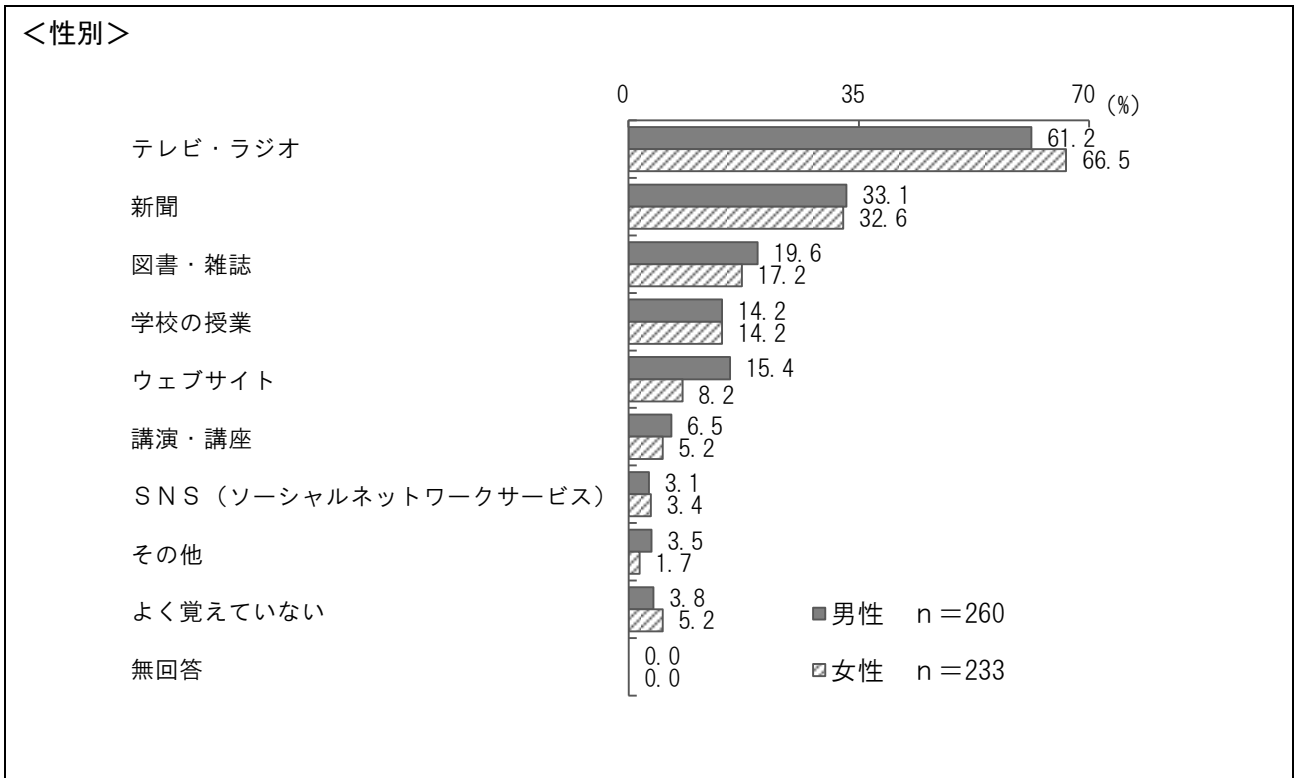
(4) 「生物多様性」という言葉の認知経路

問12で「知っており、意味もよく理解している」または「知っており、意味もだいたい理解している」と回答した方に伺います

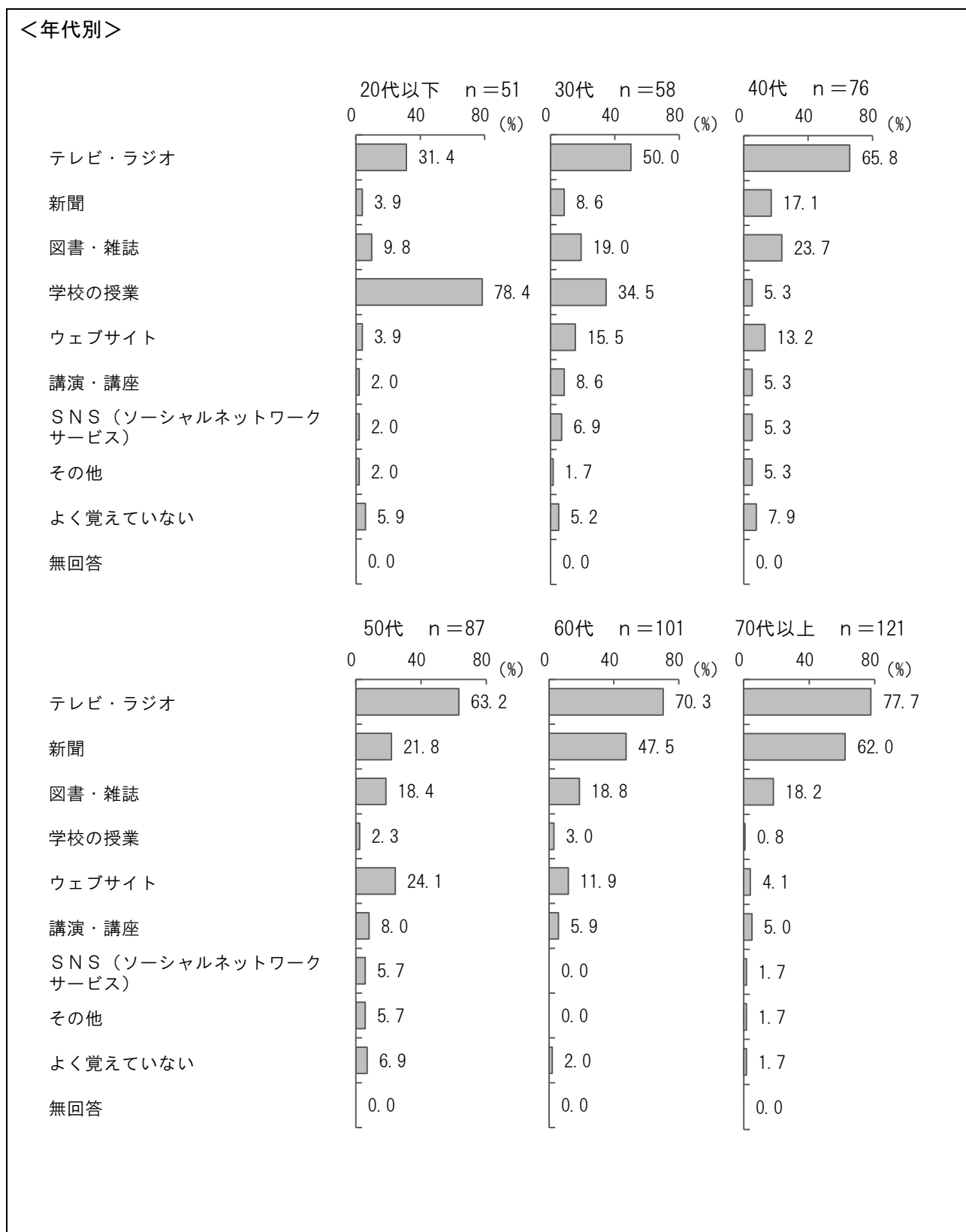
問12-1 あなたが、「生物多様性」という言葉を何で知ったかを次の中から2つ以内で選んで○をつけてください。



「生物多様性」という言葉の認知経路は、「テレビ・ラジオ」が64.1%と最も多く、次いで「新聞」が32.9%、「図書・雑誌」が18.5%などとなっている。



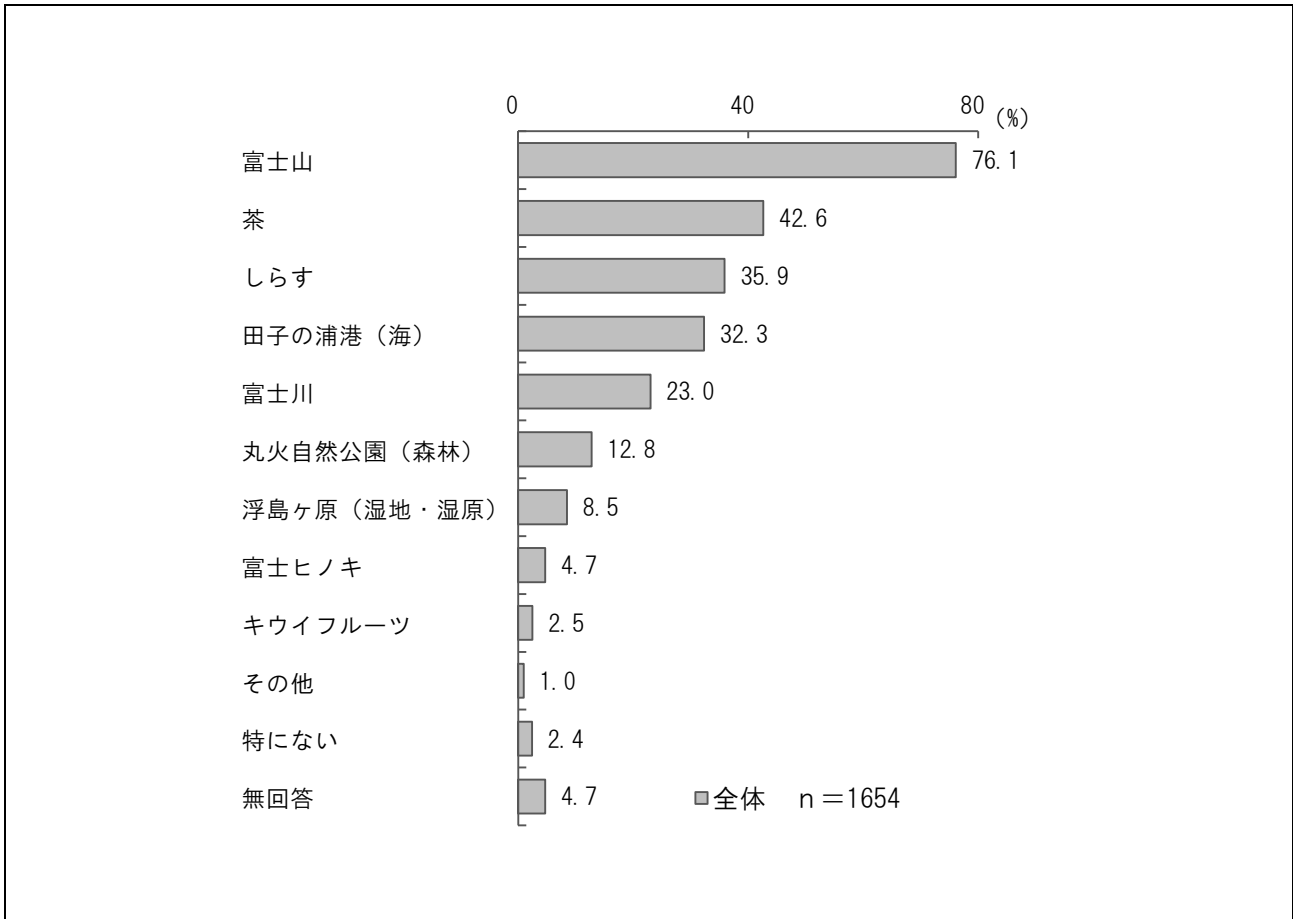
性別で見ると、男性において「ウェブサイト」が15.4%と多くなっている。女性においては「テレビ・ラジオ」が66.5%と多くなっている。



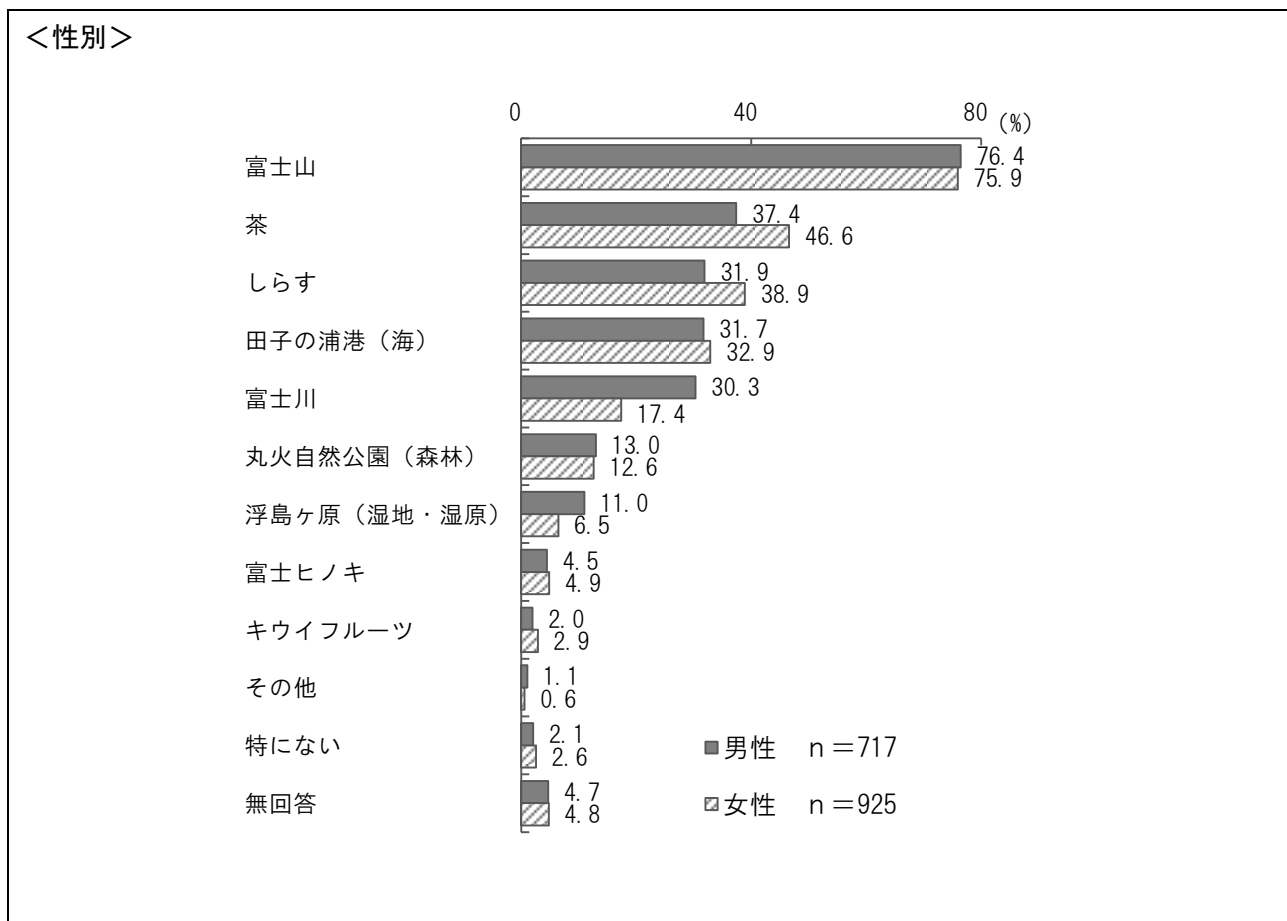
年代別で見ると、20代以下において「学校の授業」が78.4%と突出して多くなっている。50代においては「ウェブサイト」が24.1%と多くなっている。70代以上においては「テレビ・ラジオ」が77.7%、「新聞」が62.0%と多くなっている。

(5) 富士市民として生物多様性の恵みを受けていると思う場所や特産品

問13 生物多様性は、「生態系サービス」として私たちに多くの恵みを与えています。あなたが、富士市民として恵みを受けていると思う場所や特産品を次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。

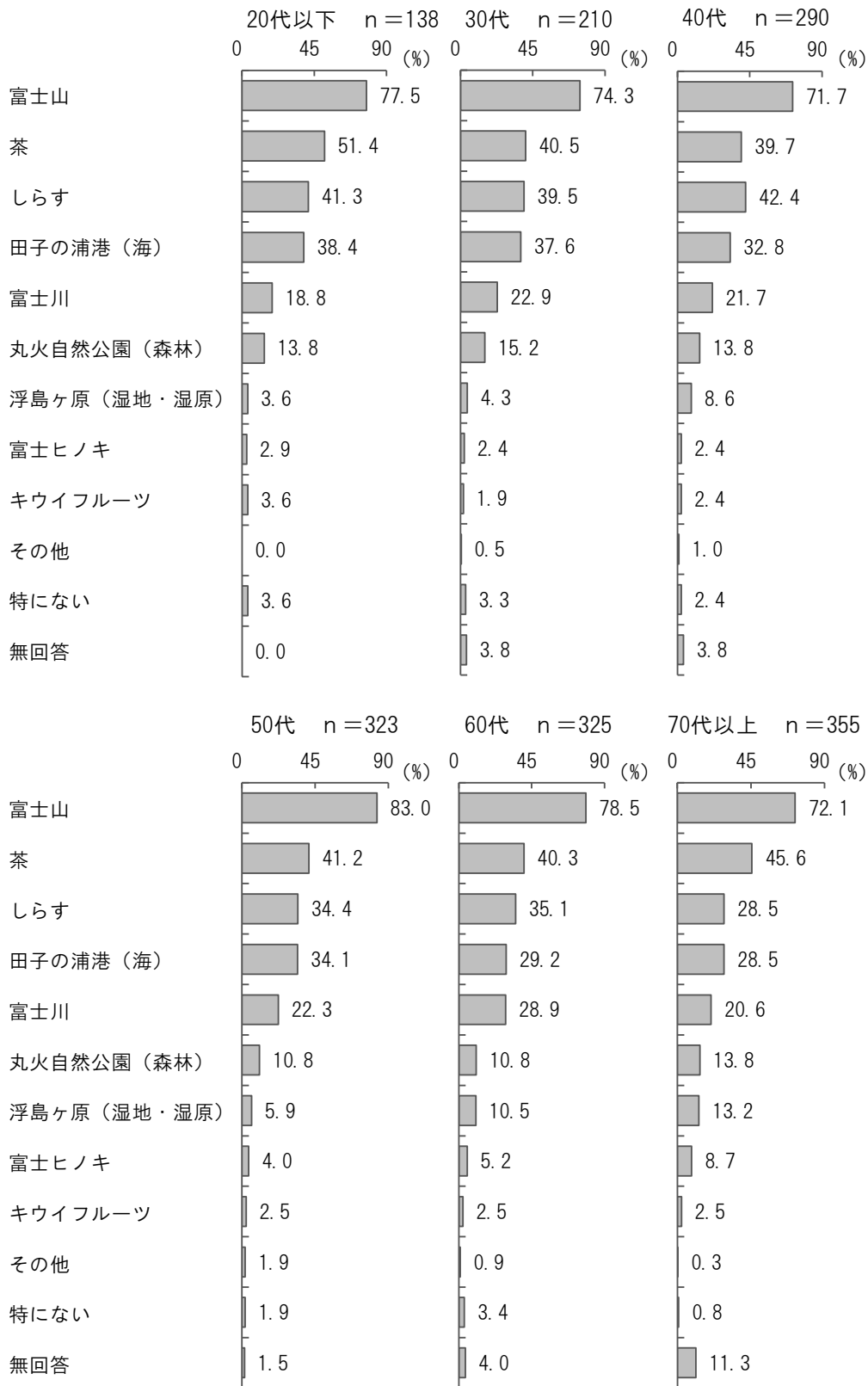


富士市民として生物多様性の恵みを受けていると思う場所や特産品については、「富士山」が76.1%と最も多く、次いで「茶」が42.6%、「しらす」が35.9%などとなっている。



性別で見ると、男性において「富士川」が 30.3%と多くなっている。女性においては「茶」が 46.6%、「しらす」が 38.9%と多くなっている。

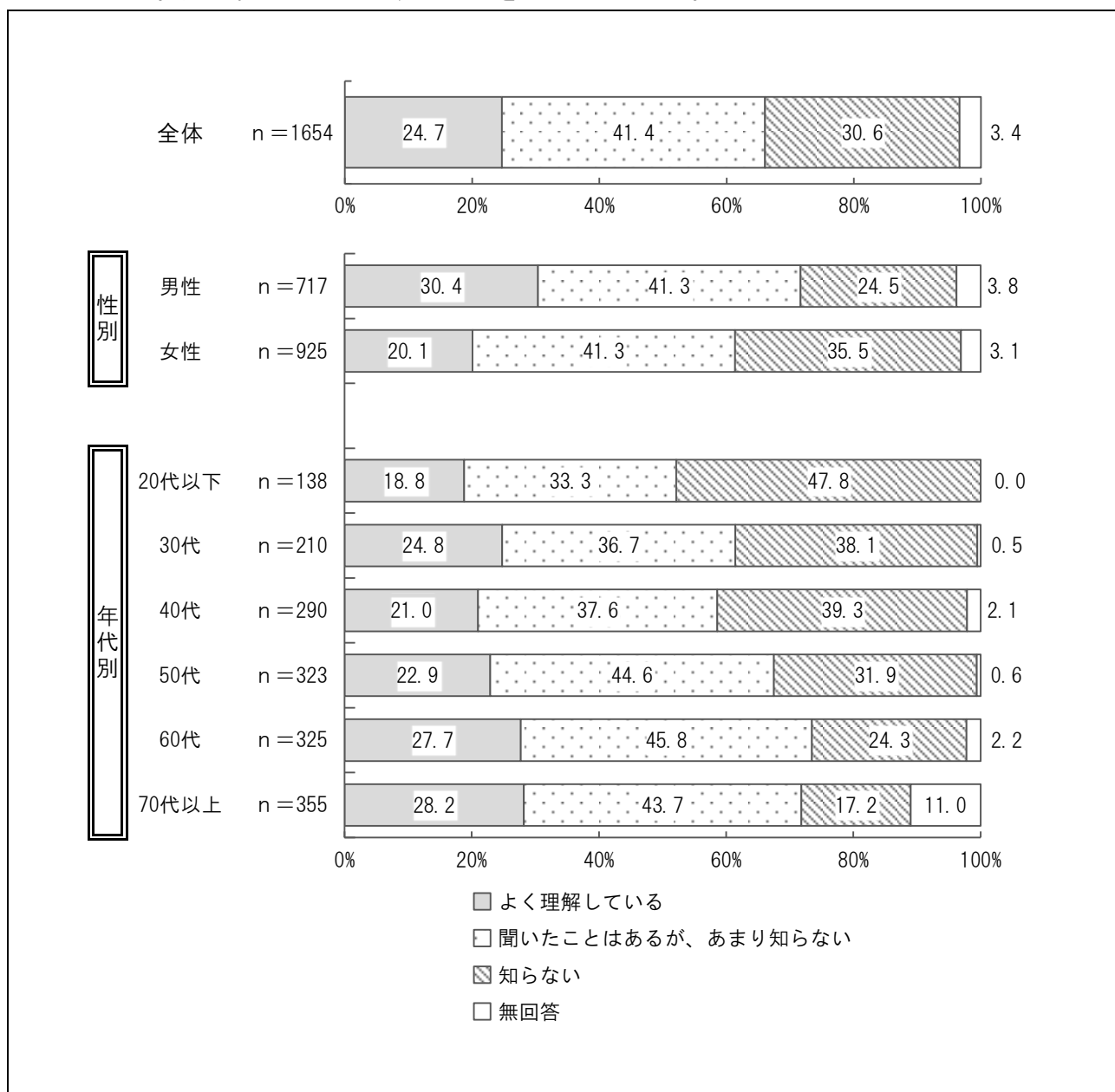
<年代別>



年代別で見ると、20代以下において「茶」が51.4%と多くなっている。60代においては「富士川」が28.9%と多くなっている。

(6) 里地里山にいる生きものが絶滅の危機にあることの認知度

問14 あなたは、里地里山にいる生きもの（メダカなど）が絶滅の危機にあることを知っていましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



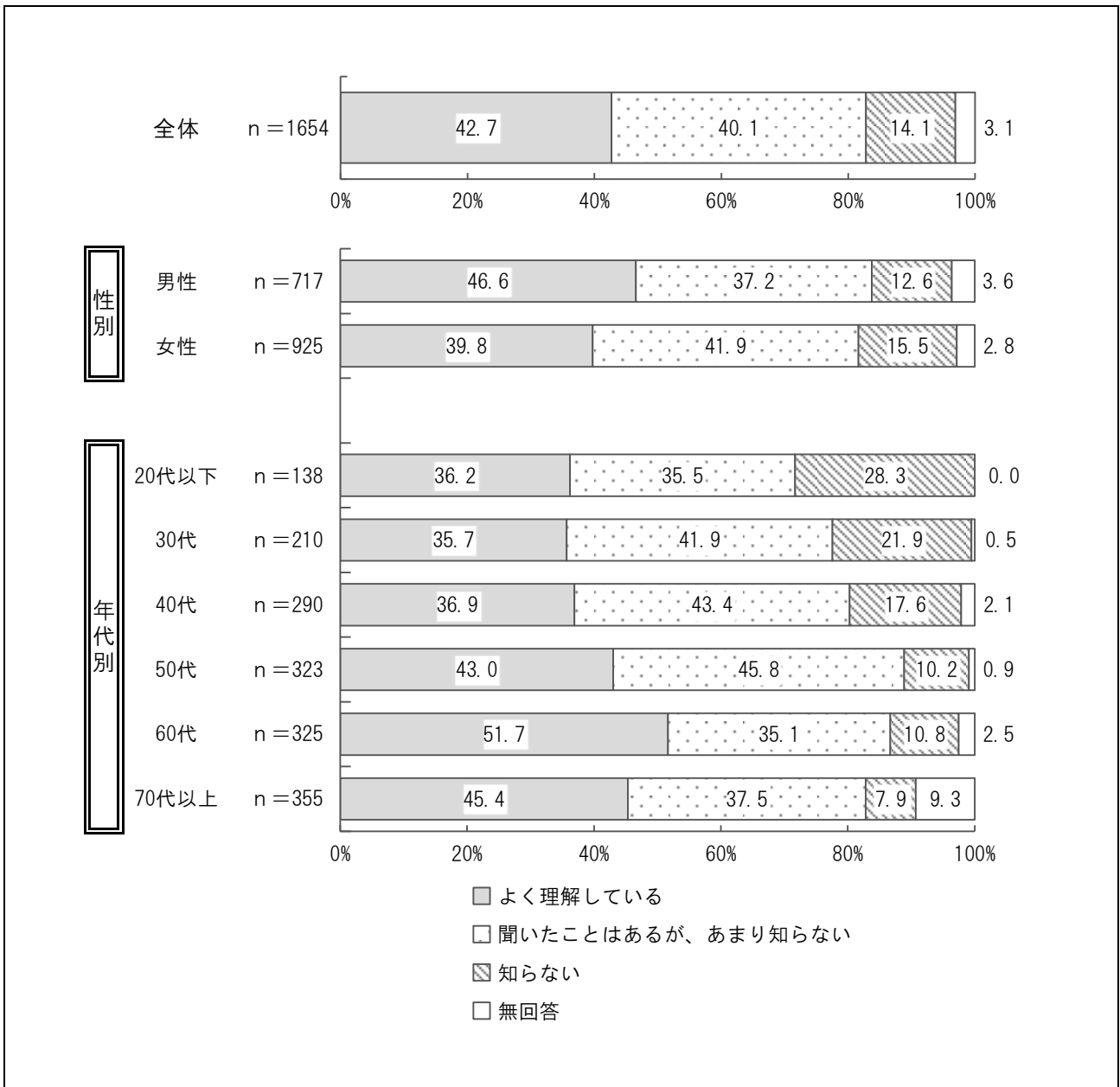
里地里山にいる生きものが絶滅の危機にあることの認知度については、「聞いたことはあるが、あまり知らない」が41.4%と最も多く、次いで「知らない」が30.6%、「よく理解している」が24.7%となっている。

性別でみると、男性において「よく理解している」が30.4%と多くなっている。女性においては「知らない」が35.5%と多くなっている。

年代別でみると、20代以下において「知らない」が47.8%と多くなっている。

(7) 市内における人間と生きものとの間の問題の認知度

問15 あなたは、市内において人間と生きもの（シカ、イノシシなど）との間に問題があることを知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



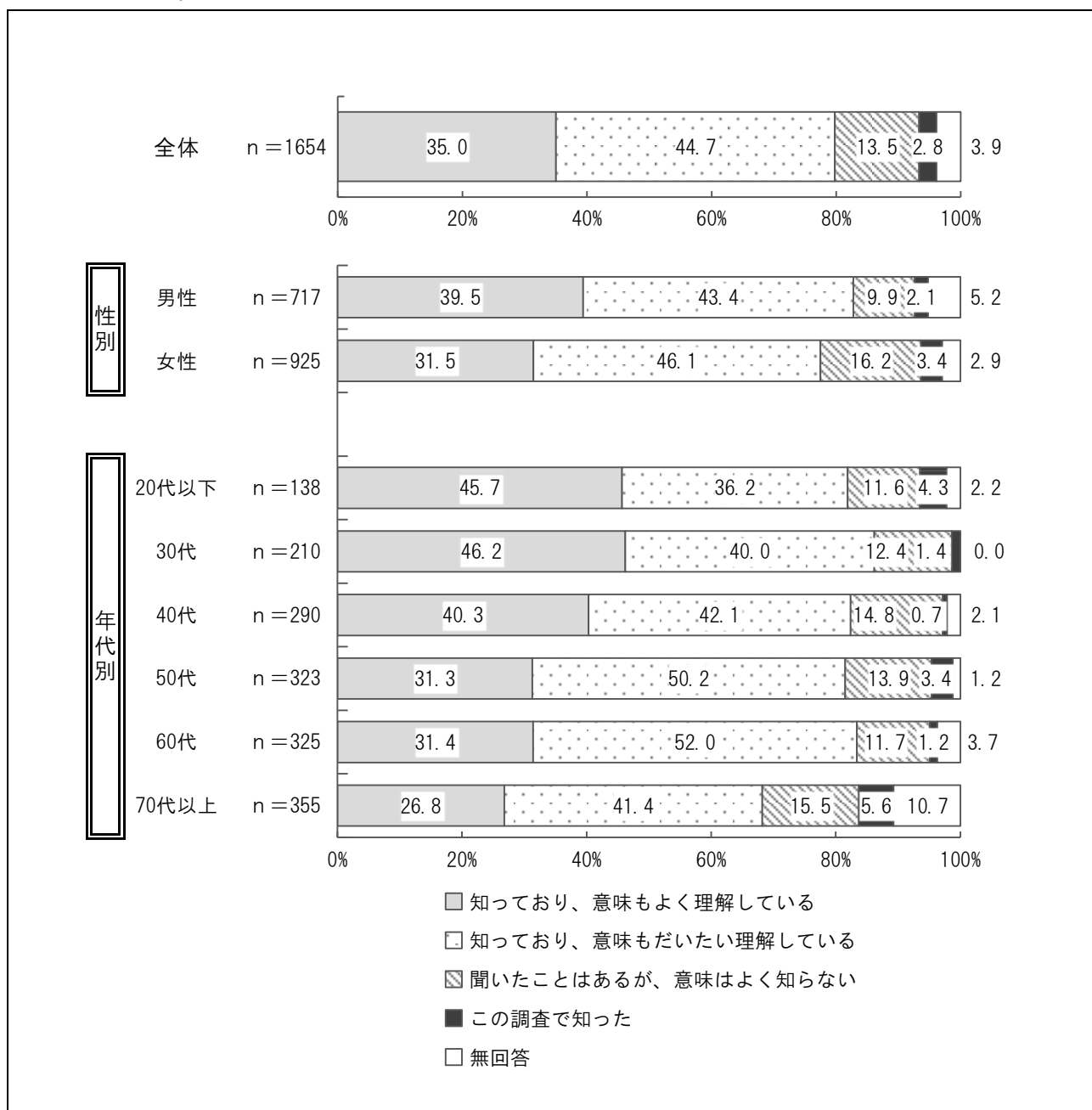
市内における人間と生きものとの間の問題の認知度については、「よく理解している」が42.7%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、あまり知らない」が40.1%、「知らない」が14.1%となっている。

性別でみると、男性において「よく理解している」が46.6%と多くなっている。

年代別でみると、20代以下において「知らない」が28.3%と多くなっている。60代においては「よく理解している」が51.7%と多くなっている。

(8) 外来種の認知度

問16 あなたは、外来種という言葉を知っていましたか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



外来種という言葉の認知度は、「知っており、意味もだいたい理解している」が44.7%と最も多く、次いで「知っており、意味もよく理解している」が35.0%、「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」が13.5%などとなっている。

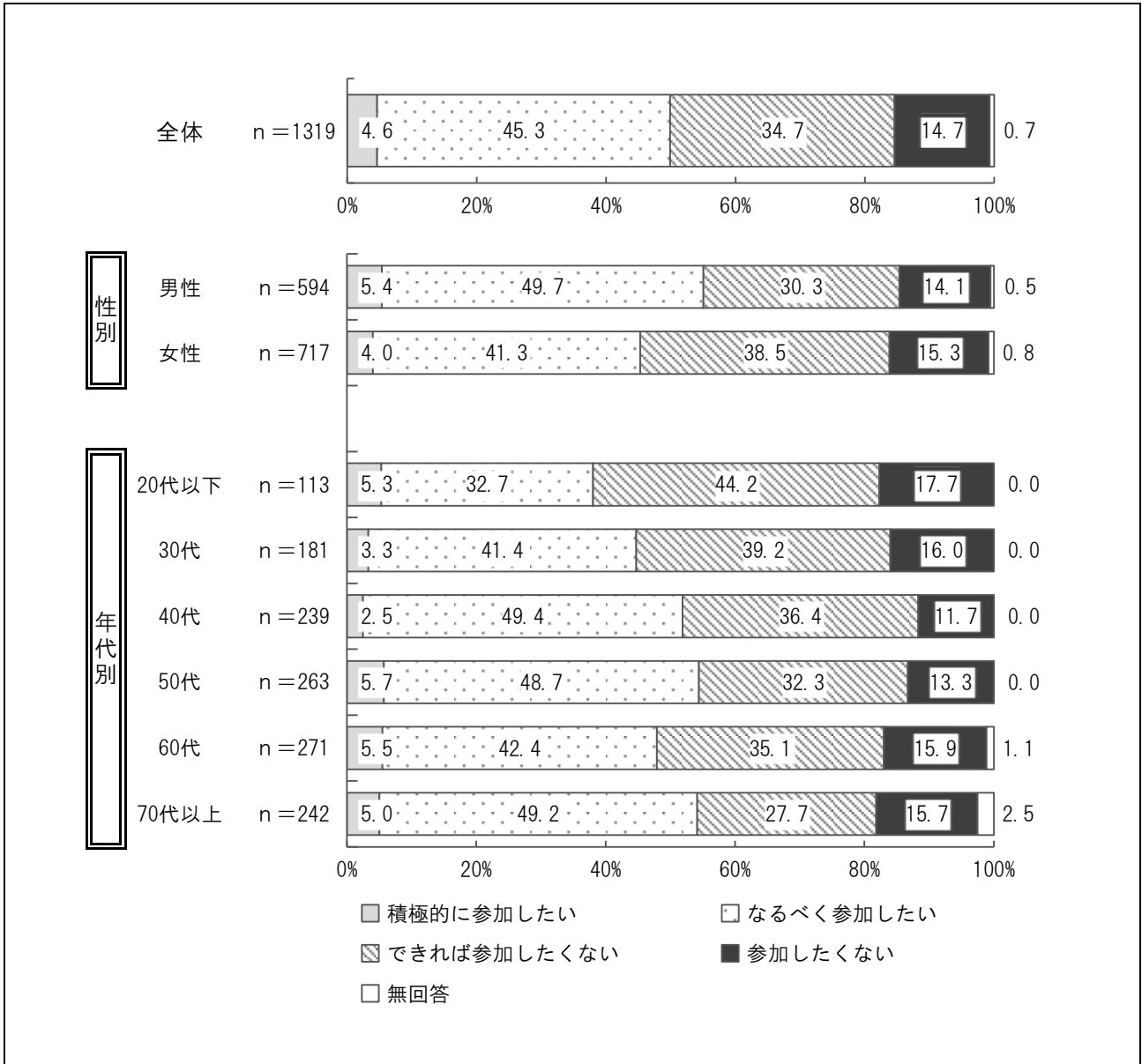
性別でみると、男性において「知っており、意味もよく理解している」が39.5%と多くなっている。女性においては「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」が16.2%と多くなっている。

年代別でみると、年代が高くなるほど、「知っており、意味もよく理解している」と回答する割合が少なくなっている。

(9) 特定外来生物のうち、植物に限定した駆除活動への参加意向

問16で「知っており、意味もよく理解している」または「知っており、意味もだいたい理解している」と回答した方に伺います

問16-1 富士市内でも特定外来生物の存在が確認されています。あなたは、ご自身がこれらの特定外来生物のうち、植物に限定した駆除活動に参加することについてはどう思われますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



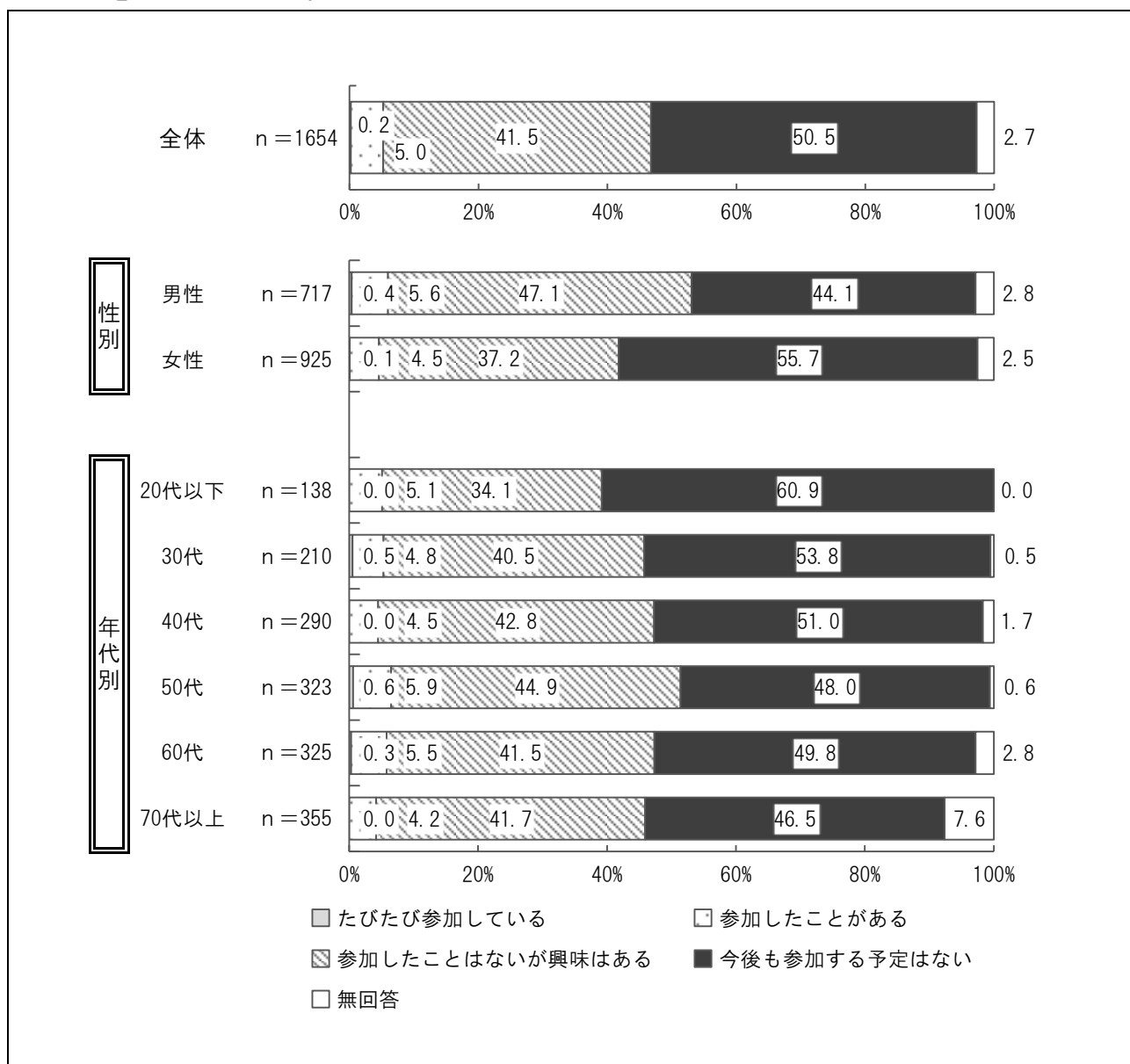
植物に限定した特定外来生物の駆除活動への参加意向については、『参加したい』（「積極的に参加したい」＋「なるべく参加したい」）は49.9%、『参加したくない』（「できれば参加したくない」＋「参加したくない」）は49.4%と拮抗している。

性別で見ると、『参加したい』は、男性において55.1%と多くなっている。

年代別で見ると、『参加したくない』は、20代以下において61.9%と多くなっている。

(10) 生物多様性保全活動の参加状況

問17 あなたは、生物多様性保全活動に参加したことがありますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



生物多様性保全活動の参加状況については、「今後も参加する予定はない」が50.5%と最も多く、次いで「参加したことはないが興味はある」が41.5%、「参加したことがある」が5.0%などとなっている。

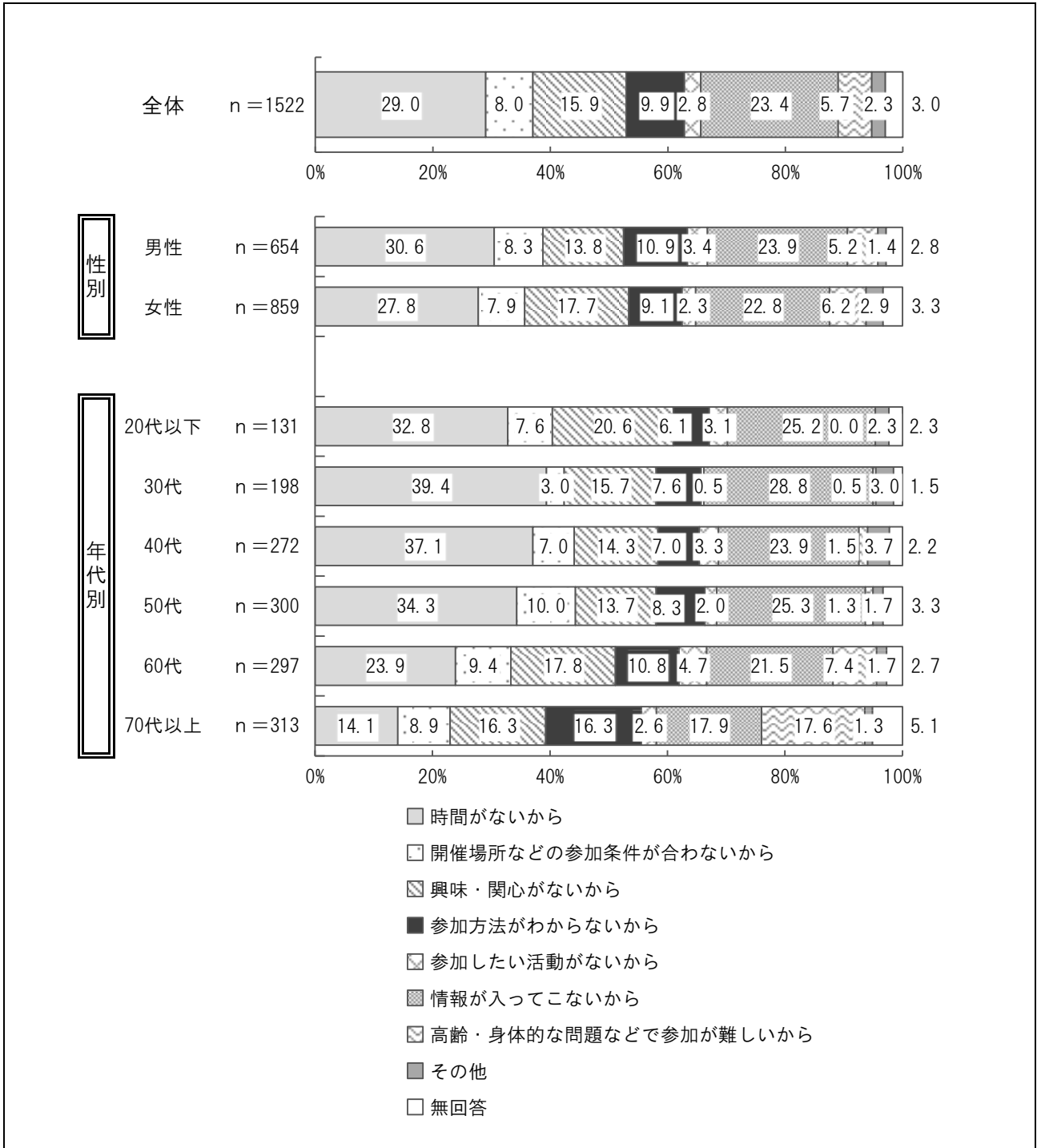
性別で見ると、男性において「参加したことはないが興味はある」が47.1%と多くなっている。女性においては「今後も参加する予定はない」が55.7%と多くなっている。

年代別で見ると、20代以下において「今後も参加する予定はない」が60.9%と多く、「参加したことはないが興味はある」が34.1%と少なくなっている。

(11) 参加しない主な理由

問17で「参加したことはないが興味はある」または「今後も参加する予定はない」と回答した方に伺います

問17-1 参加しない主な理由を次の中から1つだけ選んで○をつけてください。



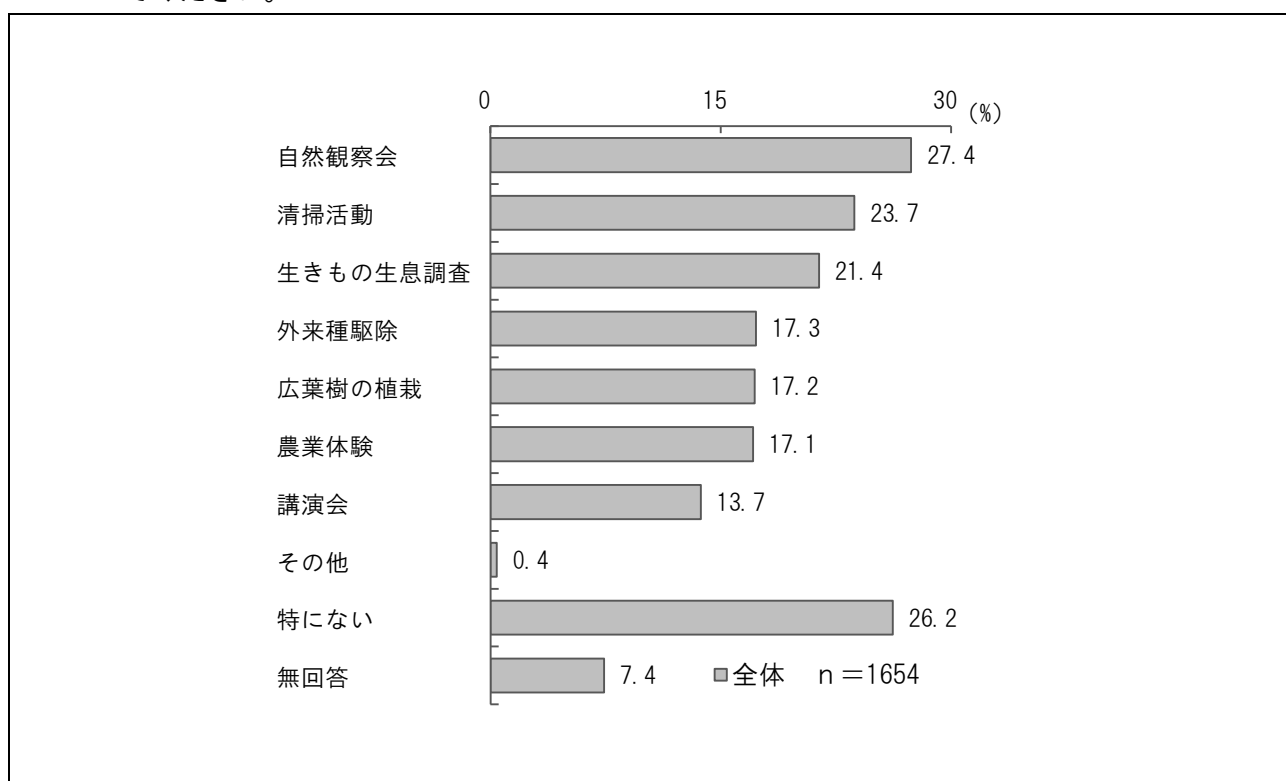
参加しない主な理由は「時間がないから」が29.0%と最も多く、次いで「情報が入ってこないから」が23.4%、「興味・関心がないから」が15.9%などとなっている。

性別で見ると、大きな差異はみられない。

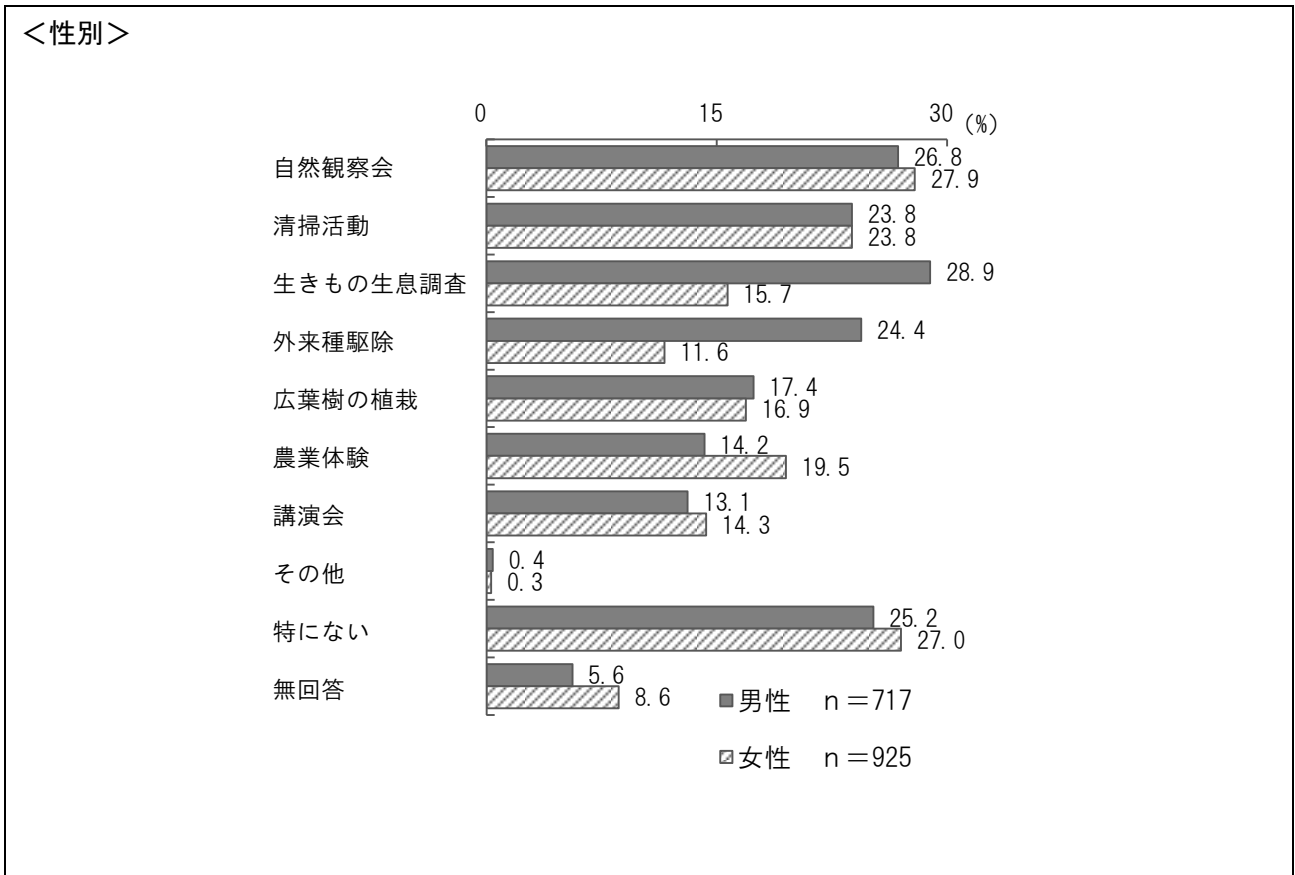
年代別で見ると、70代以上において「高齢・身体的な問題などで参加が難しいから」が17.6%、「参加方法がわからないから」が16.3%と多く、「時間がないから」が14.1%と少なくなっている。

(12) 生物多様性保全のために参加したい活動

問18 あなたが、生物多様性保全のために参加したい活動を次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。

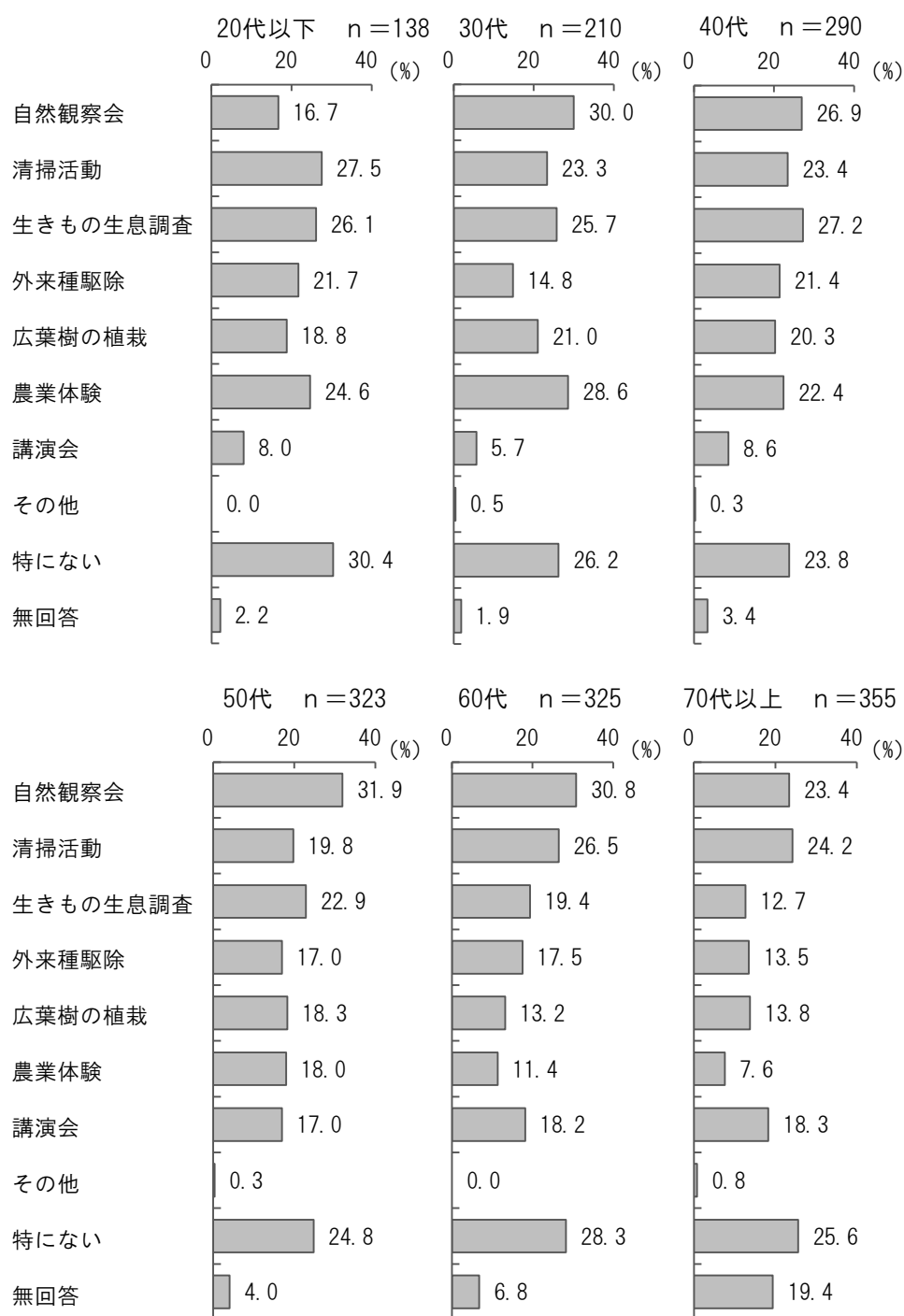


生物多様性保全のために参加したい活動は、「自然観察会」が 27.4%、「清掃活動」が 23.7%、「生きもの生息調査」が 21.4%などとなっている一方、「特にない」も 26.2%に上っている。



性別で見ると、男性において「生きものの生息調査」が28.9%、「外来種駆除」が24.4%と多くなっている。女性においては「農業体験」が19.5%と多くなっている。

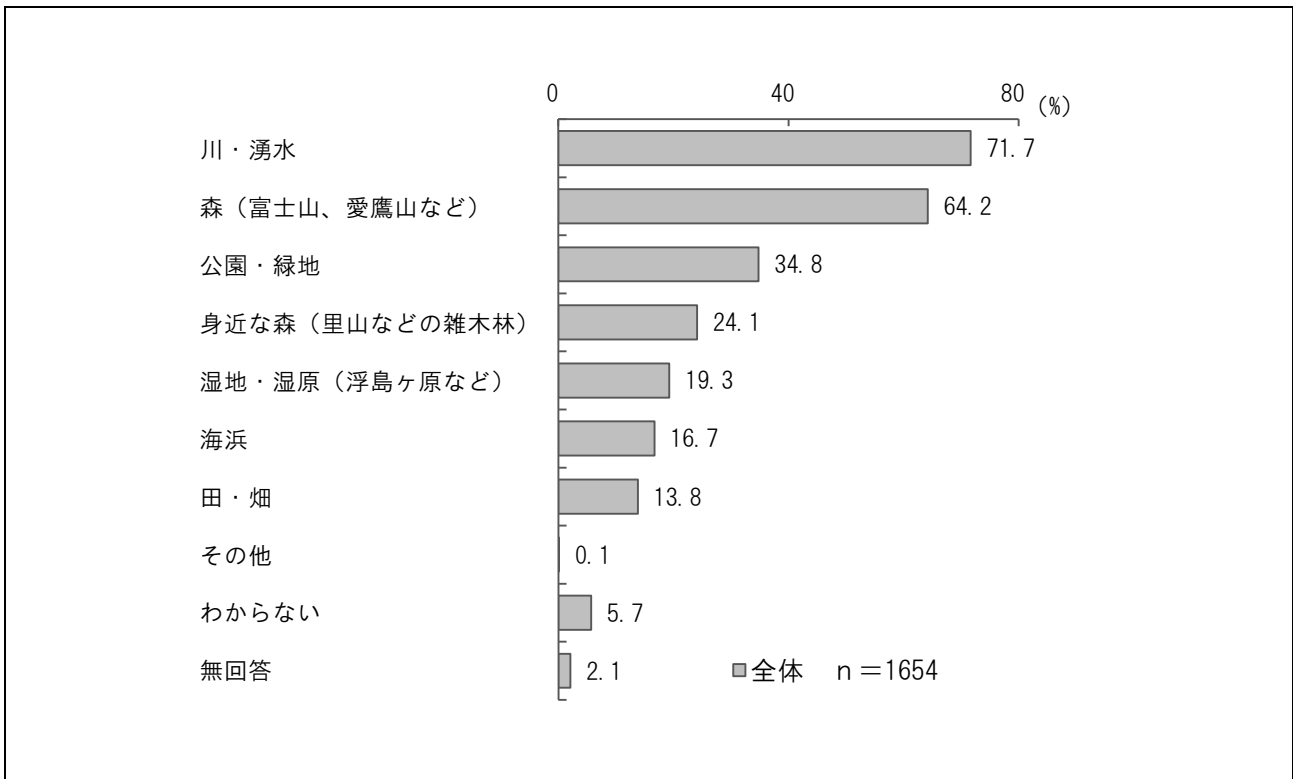
<年代別>



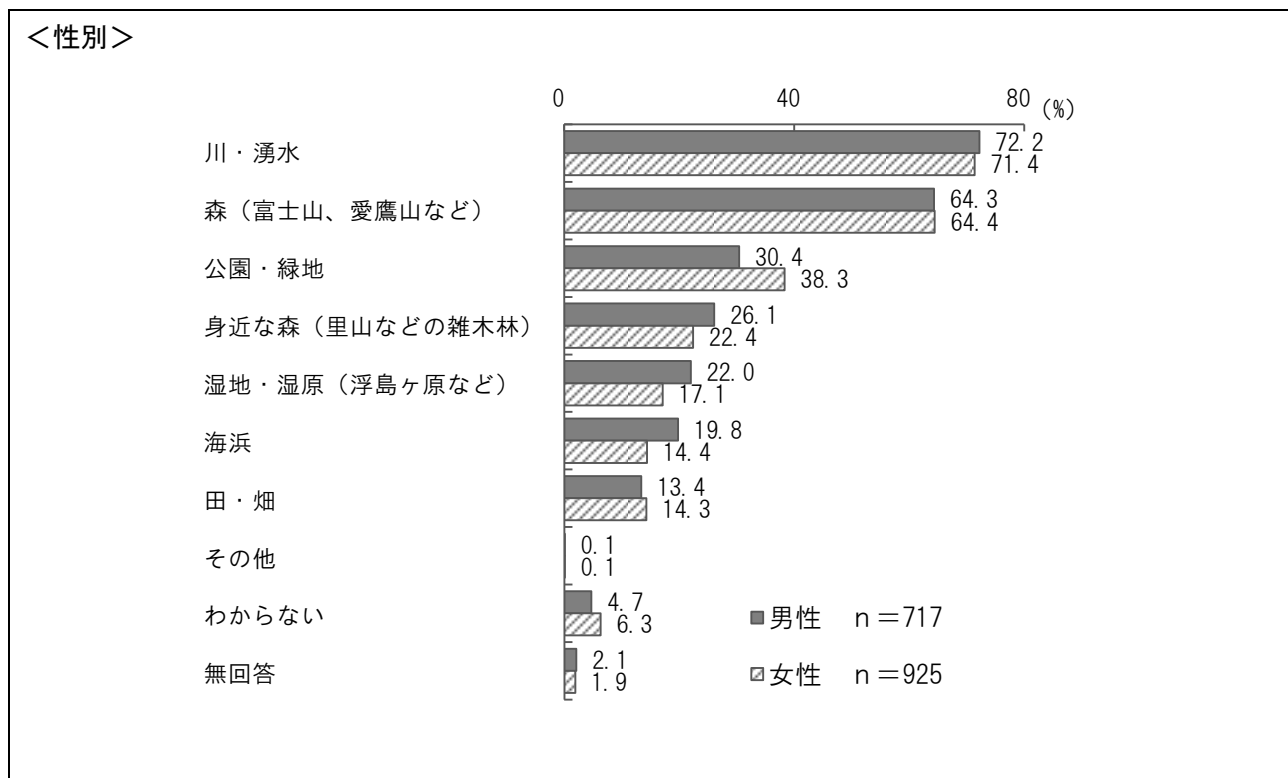
年代別でみると、20代以下において「自然観察会」が16.7%と少なく、「特にない」が30.4%と多くなっている。

(13) 富士市における生きものの生息地で保全が望ましいと思う場所

問19 富士市における生きものの生息地の中で、あなたが保全していくことが望ましいと思う場所を次の中から3つ以内で選んで○をつけてください。

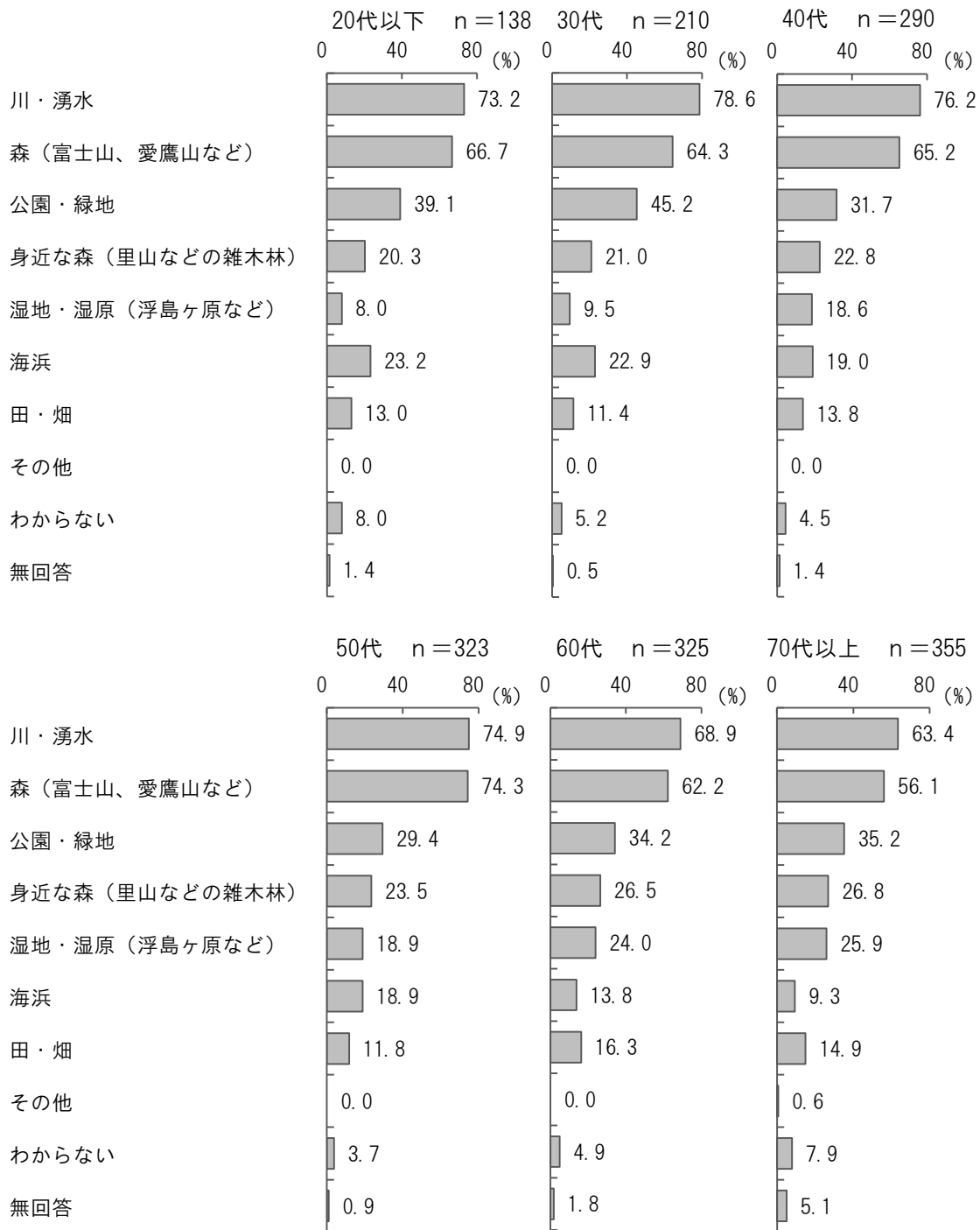


富士市における生きものの生息地で保全が望ましいと思う場所は、「川・湧水」が71.7%と最も多く、次いで「森（富士山、愛鷹山など）」が64.2%、「公園・緑地」が34.8%などとなっている。



性別で見ると、男性において「海浜」が19.8%と多くなっている。女性においては「公園・緑地」が38.3%と多くなっている。

<年代別>



年代別で見ると、30代において「公園・緑地」が45.2%と多くなっている。50代においては「森（富士山、愛鷹山など）」が74.3%と多くなっている。また、年代が高くなるほど、「湿地・湿原（浮島ヶ原など）」と回答する割合が多くなっている。